

2019  
No.107

冬季号

# 広報 ほねつぎ

公益社団法人 長野県柔道整復師会機関誌

グラビア

四地区親睦交流会

目次

表紙『1月1日元旦、駒ヶ根市西駒ヶ岳(2,612m)』

柔道整復師とは

巻頭挨拶	2	高田保会長・酒井正彦副会長・安藤恒久副会長・柏木久明副会長・後藤茂之衆議院議員・宮下一郎衆議院議員・務台俊介衆議院議員・吉田博美参議院議員・小松裕長野県参議院選挙区支部長・若林健太顧問
グラビア	14	平成30年度 第33回四地区親睦交流会
特集	19	平成30年度長野県地震総合防災訓練の見学 20 平成30年度 日本赤十字社長野県支部合同災害救護訓練 22 平成30年度 長野県総合防災訓練 24 平成30年度安曇野市防災訓練 29 平成30年度 松本市医療救護訓練
レポート	30	自由民主党長野県柔道整復師 支部発足30年にあたり 31 (公社)日本柔道整復師会 第37回東京学術大会に参加して 35 腰痛予防研修会の講演について 42 第6回健康柔体操指導者養成講習会を受講して 45 諏訪地区中体連救護講習会 47 『長野びんずる』臨時救護活動の報告 49 介護予防等推進研修会・報告 51 災害復興支援チャリティー 第45回日整親善ゴルフ静岡大会 52 JIMTEF災害医療研修ベーシックコースに参加して 54 南信地区学術大会・学術講演会(市民公開講座) 56 第2回長野県柔道連盟理事会・第3回長野県柔道連盟理事会 57 第1回フレイル予防推進検討会・参加報告 58 第27回日本柔道整復接骨医学学会学術大会 60 第23回醍醐敏郎杯全国少年柔道錬成大会 61 第28回柔整連合研究会学術大会に参加して 63 長野県競技力向上対策本部合同専門委員会 報告 65 第3回日本赤十字社長野県支部・赤十字救護隊・(公社)長野県柔道整復師会赤十字特殊奉仕団との懇談会 67 北信越ブロック親善ゴルフ大会 68 第42回厚生労働大臣旗争奪 日整全国柔道大会 第27回 文部科学大臣杯争奪 日整全国少年柔道大会 第8回 文部科学大臣杯争奪 日整全国少年形競技会 平成30年 全国柔道整復師高段者大会 74 平成30年度 独立法人日本スポーツ振興センター学校安全業務運営会議 75 平成30年度 中信柔道整復接骨学会 78 第26回 日整学術・生涯学習講習会 80 I J ゴルフコンペ
県事業報告	81	第36回NJSゴルフコンペ 83 平成30年度 新入会員研修会・保険説明会・生涯学習講演会 85 平成30年度 スポーツ医科学サポート会議 86 平成30年度 生活習慣病予防健診 87 (公社)長野県柔道整復師会 平成30年度保険講習会 88 介護予防事業報告(平成30年1月~6月) 97 救護・トレーナー派遣状況報告 105 平成30年度 健康保険組合連合会長野連合会と(公社)長野県柔道整復師会との懇談会
北信越ブロック報告	106	日本柔道整復師会北信越ブロック会長会報告 107 日本柔道整復師会北信越ブロック会長会報告 108 平成30年度 日本柔道整復師会北信越ブロック理事会(秋)報告
地区だより	109	北信地区・中信地区・南信地区
私的研究会の紹介	113	北信地区・南信地区
会員のひろば	115	東信地区・北信地区・中信地区
街かどあれこれ	119	南信地区
新入会員紹介	120	東信地区・北信地区・中信地区・南信地区
部会報告	130	保険部・学術部・IT広報部
会務報告	137	新入会員・会員の異動 139 広告
編集後記	146	146 表紙写真説明

# 柔道整復師とは

平成24年9月16日に日本医療福祉新聞社の発行した「営業法の解説」に、厚生省としての正式な見解を述べている。(これは昭和23年に厚生省の医務課現在の医事課で作成されたものの現代語版)

結論として、「本来は医師が当然行うべき医業の一部を免許により行うものである」こと、その業務は免許範囲内のものに限られる。営業法第一条は、国民医療法第一項に対する例外法、あるいは特別法として業務の範囲内において、医業の一部をなし得ることを規定している。

ここにいう免許は、医療禁止の一部解除を内容とする国家の行為であり、免許を受けた者は、夫々の業務の範囲内で医業の一部を行うことが許されることになる。そこで柔道整復師は、医業の一部を免許によって国から許された国家資格者である。

すなわち、柔道整復師は医業の一部を免許によって国から許されている柔道整復術について、国民が医療選択肢の一つとして理解できるように、自分たち柔道整復師も行政の行動を待つのではなく自分たちから情報発信するものである。

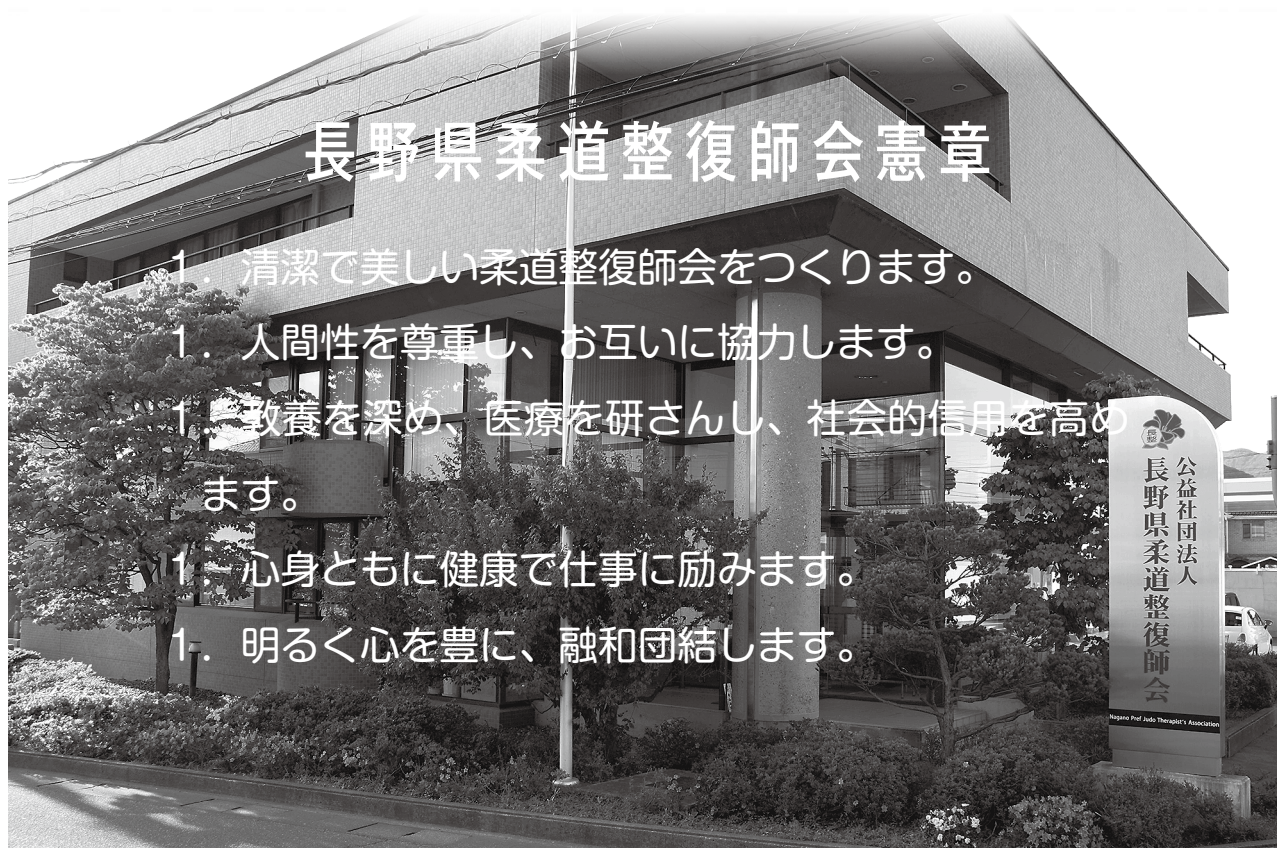
2014年の医療法の改正によって、医療法第6条の2の3項に「国民の責務」が盛り込まれた。

「国民は、良質かつ適切な医療の効率的な提供に資するよう、医療提供施設相互間の機能の分担及び業務の提携の重要性についての理解を深め、医療提供施設の機能に応じ、医療に関する選択を適切に行い、医療を適切に受けるように務めなければならない。」

よって、国民が責任を負わされていることから、行政は国民のために、この条文に記載されている責務を果たすための必要かつ正確な情報提供を発信しなければならない。

## 長野県柔道整復師会憲章

1. 清潔で美しい柔道整復師会をつくります。
1. 人間性を尊重し、お互いに協力します。
1. 教養を深め、医療を研さんし、社会的信用を高めます。
1. 心身ともに健康で仕事に励みます。
1. 明るく心を豊に、融和団結します。





## 新年のご挨拶

公益社団法人長野県柔道整復師会 会長 高田 保

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様が健やかで新しい年をお迎えになられましたことを心よりお喜び申し上げます。旧年中は本会の防災活動・スポーツボランティア活動・介護予防事業などで多くの方々にご協力を頂き活発な事業展開ができました。公益社団としての使命を全うできましたことに御礼申し上げます。

昨年は大阪や北海道をはじめ全国各地で大きな自然災害が発生し甚大な被害をもたらしました。被災された皆様には心よりお見舞い申し上げますと共に早く平穏な暮らしに戻られることをお祈りいたします。

業界としましては、学校改革に取り組んだ結果、養成学校のカリキュラムの増加、臨地研修の増設、施術管理者になる要件として3年間の実務研修および2日間の受講などが必須事項となりました。これにより柔整師激増の抑止力と資質向上の担保になることを期待しています。本会としましては保険関係では、こども医療の取り扱いや労災書類の提出方法など、県内における制度改革に取り組んでいます。

現状問題としては、代行業者による行き過ぎた患者照会が、真面目に仕事をしている多くの柔整師を苦しめています。これに対処するには公益社団がリードして社会から信頼され求められる柔整師像を構築することが必要です。法令順守は勿論のこと、日々学術技術を研鑽し良質な医療を患者さんに提供することが肝心です。

それには業界が一丸となって前進しなくてはなりません。お陰様で本県会員は全国で日本柔道整復接骨医学会の加入率が群を抜いています。これは、向学心の表れであり誇りに思っています。今後はさらに多くの会員が認定柔道整復師になっていただきたいと願っております。

接骨師協同組合におきましては、運営面を再検討し、指定業者とは新たな契約を取り交わしましたので今後も指定業者の利用をお願いいたします。

ところで、今年には新元号を迎えますが、柔道整復術公認100周年と本会の社団設立50周年に当たる記念すべき年でもあります。同時に本会が新体制となることから7月7日（日）長野市において記念式典を開催致します。当日は多くの皆様に参加していただき長野県柔道整復師会会員であることを誇りに思える一日になるよう準備を進めてまいります。

年ごとに厳しさを増す柔整業界ですが、本年も行政や保険者及びに医師会等関係諸団体の皆様とさらなる信頼構築に努めると共に、政治への積極的な働きかけを行い本会の発展に努めてまいります。どうか皆様のご協力をお願いいたします。

結びに、会員そしてご家族の皆様方の益々のご健勝とご発展をご祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。



## 新年のご挨拶

公益社団法人長野県柔道整復師会  
副会長 酒井 正彦

会員の皆様におかれましては、清々しい初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、漢字一文字で表すと「災」であった様に、大変災害の多い年でありましたが、本年は安寧な年になるよう願うばかりです。

柔道整復師会も昨年は、平成24年から始まった社会保障審議会医療保険部会柔道整復検討専門委員会において開かれた形で様々な検討がなされ、結果として、教育改革、施術管理者の要件、柔道整復師の施術に係る算定基準の一部改正等々が矢継早に厚生労働省から発出され時代の潮目に立っていることを実感した年でもありました。

ほんの僅かではありますが、その一部を見てきた者として、大正9年に公認を受けてから100年にならんとするこの間の先達のご苦労を決して忘れてはならないと思う昨今であります。

長年、我々の重荷となっていた保険者による患者照会（受診抑制）は、平成24年の四課長通知によりさらに拍車がかかり減収の一途をたどっておりますが、あまりに酷い保険者の患者照

会による受診抑制に対し、厚生労働省が昨年5月24日付で四課長名による事務連絡という形で保険者に改善を促しました。

その主な内容は、下記の通りです。

1. 患者等への紹介は、施術期間・実日数及び負傷の原因・箇所のみ限定すること。
2. 申請書と患者照会の回答が一致しないときは、保険者は、不正が明らかな場合を除き、必ず施術者に照会をしなければならないこと。
3. 施術者に照会する場合も、疑義の解消に必要な範囲のみの紹介に限定すること
4. 保険者の不適切な患者照会について、厚生労働省に相談窓口ができたこと。

日整現執行部の長年に亘る交渉の成果でありますから、是非とも活用して頂きたいと思えます。

本年は、平成から新しい元号に変わる年でもあります。我々柔道整復師会にも新たな風が吹くこと、会員の皆様に幸多きことを祈念し新年のご挨拶とさせていただきます。本年もよろしくお願いたします。



## 新年のご挨拶

公益社団法人長野県柔道整復師会  
副会長 安藤 恒久

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、ご家族お揃いで清々しい初春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は、西日本豪雨災害、台風21号による災害、北海道胆振東部地震等数多くの災害が発生しました。自然災害の脅威を改めて痛感されました。被災された方々の、一日も早い復興を強く願ってやみません。

災害に対して本会は、長野県、日本赤十字社長野県支部、安曇野市と防災協定を締結し、日本赤十字社長野県支部に（公社）長野県柔道整復師会特殊奉仕団として、男519名、女65名合計584名を登録して、対応できるようにしております。

4月22日（土）日赤救護隊・特殊奉仕団合同研修会を長野県消防学校にて救護活動とボランティア活動について実習行動訓練を実施。

7月7日（土）日本赤十字社長野県支部、救護隊、本会正副会長、事業部、長野DJATと顔の見える関係を構築するため、懇談会を開催し今後について意見交換をしました。

8月4日（土）日赤の要請により「第48回長野びんずる」臨時救護所で午後3時から午後10時30分まで救護活動を実施。

9月3日（月）県庁西庁舎において平成30年度長野県地震総合防災訓練を、医師会のご厚意により見学することが出来ました。

震源松本牛伏寺断層震度7が発送という想定で訓練が始まり、情報の収集、各部署への支持、県知事を本部長とする会議が行われました。

9月22日（土）日本赤十字社長野県支部合同災害訓練を川西赤十字病院で実施しました。傷病者受入訓練、傷病者の搬送、緑色エリアにおける傷病者の応急手当など実施。

10月21日（日）長野県防災総合訓練が塩尻市中央スポーツ公園ほかで開催されました。糸魚川一静岡構造線断層帯を震源とする地震の被害 境峠・神谷断層帯を震源とする地震による被害 山林火災の発生 異臭発生による被害等が行われました。傷病者の搬送、黄色エリアの対応、緑色エリアの応急手当等活動実施。

日本赤十字社に於いては、災害時ボランティア活動時柔整師の職能が生かせるトリアージの緑色エリアで活動できますのも、安曇野赤十字病院 上條幸弘先生、藤田正人先生のご指導、ご理解、ご支援の賜物だと深く感謝申し上げます。

平成30年度は、柔整療養費の統一審査基準の作成、審査会の権限強化と卒後研修制度、施術管理者の条件設定が確立されました。

公的審査会の審査は、全ての請求件数から施術所単位の傾向審査を行い、疑義案件を抽出しています。しかし、民間の調査会社では、請求されたレセプト全件に対し如何なる正当な理由があるか等に関係なく受診抑制に繋がるような調査をした、二次調査が行われています。公的審査会にて厳正に審査されたレセプトが、あたかも不正であるかのような調査が行われている事が受診抑制に繋がってしまっています。

柔道整復師を取り巻く環境は、厳しさを増す一途であります。法令を遵守し適正な保険請求を行い、職能を活かして社会貢献し必要とさ

れる柔道整復師をめざしたいと思います。  
最後に、会員皆様方の今年一年のご健勝と

益々のご活躍を心からご祈念申し上げ、新春の  
ご挨拶とさせていただきます。



## 新年のご挨拶

公益社団法人長野県柔道整復師会  
副会長 柏木 久明

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては御家族お揃いで新しい年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

一昨年の役員改選で公益社団長野県柔道整復師会の副会長・保険部長を拝命いたしました。保険部には介護班が組み込まれ伊藤 睦介護班長を迎え介護事業はお陰様で順調な滑り出しと円滑なる展開を致しております。

さて、保険部関係療養費の公的・国保両審査会は適正・正確に機能しております。事例によっては善意ある解釈をいただいております。事例によっては有難いことでもあります。

特に公益社団の会員の皆様には引き続き適正なる保険請求をお願いいたします。

昨年度より審査会の権限強化という事で疑義ある者は呼び出し、状況・事情説明を受けることが可能となり、日整では倍旧の明確な呼び出しのガイドライン作成に着手し完成しております。不相当と思われるレセプト申請の排除は当然のことです。昨年も挨拶申し上げましたよう悪貨が良貨を駆逐するようなことはあつてはなりません。

また、近年の重要問題であります民間保険調査会社等による理不尽・執拗な調査、返戻に対して日整では全国各地より情報報告を受け厚労省内に開設頂いた相談窓口へ情報提供を行って

おります。無論、本県においての不当と思われる調査、返戻の実例を取りまとめて日整に報告しております。今後、新たな展開があるものと思っております。

以上が日整対応ですが本県では理不尽・執拗な返戻について会員よりの問い合わせにより事例によっては各健康保険組合・調査会社の担当等に直接連絡し抗議・改善依頼を申し入れております。詳細は申し上げますが健康保険組合・レセプト審査会社の担当にご理解いただけるという成果もありました。間違いなく会員の皆様に申し上げられることは支給基準に則った請求が不支給にはなり得ないという事です。

私は機会あるごとに会員の皆様には申し上げます。とにかく合法的に多くの患者さんを施術してほしいと思っております。多くの患者さんに必要とされている。請求レセプトの増加、結果的にそれだけ地域住民の皆さま、国民の支持を得ているという事の証です。多くの国民福祉に胸を張って貢献しましょう。

本年も公益社団法人長野県柔道整復師会・副会長・保険部長として微力ではございますが尽力いたしますのでご指導ご協力をお願いいたしまして新しい年のご挨拶とさせていただきます。





## 年頭のごあいさつ

自民党政調会長代理  
社会保障制度調査会事務局長  
衆議院議員 後藤 茂之

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年中は、長野県柔道整復師会の皆様方には大変お世話になり、厚く御礼申し上げます。高田保会長をはじめとした、これまでの貴会のご尽力により、柔道整復師が自らの技量や専門知識を十分に発揮し活躍できる環境が整えられてきたことに感謝しております。また、柔道整復術により、国民が日々の生活を健康的に暮らすことについても、その大きな貢献について、大変ありがたく思っております。

我が国は高齢化がさらに進んでいくことが予想されており、医療資源を次代に引き継ぎ、世界に冠たる保健医療システムを保持・発展させるためには、効率的な医療提供を進めていくなど、継続的な努力を怠ってはなりません。

また、高齢化が進む中、柔道整復術の重要性が増しており、柔道整復師の果たす役割や、柔道整復師に対する国民の期待は、今後ますます大きくなっていくものと考えます。

こうした時代の要請に対応できるよう、これまで以上に高い資質の柔道整復師の養成が求められており、今般、総単位数の見直しや臨床実習の拡充等を盛り込んだ新たな柔道整復師学校養成施設カリキュラムによる教育が始まったと聞いております。

このような状況の中、貴会が柔道整復師の資

質向上のために積極的な取組を進められていることを、大変心強く思います。こうした取組を通じて、高い資質を持った柔道整復師が養成され、良質な施術が提供されることを願っております。

また、療養費制度をめぐるさまざまな課題については、厚生労働省の専門委員会で議論され、平成29年10月より、各都道府県の協会けんぽや国保連にある「柔整審査会」について、権限を強化し、しっかりと調査を行えるようにするとともに、地方厚生局においても、保険者から不正請求について客観的な証拠が複数あるもの等の通報を受けた場合には、優先して個別指導や監査を行うことや、また、昨年4月より、受領委任を取り扱う施術管理者について、質の向上を図るため、1年間の実務経験と、2日間程度の研修を受講することを要件とすることとしたと聞いております。これらを取り組むことにより、適正な保険請求が推進される仕組みが構築され、国民がこれまで以上に安心して施術を受けられる制度となることを期待しています。

私としましても、本年も皆様方とともに、柔道整復師が活躍できるような環境を整えられるよう、これからも努力を重ねたいと思います。皆様方にとって、この新しい年がより佳き年でありますよう、心から祈念して新年のご挨拶とさせていただきます。



## 年頭のご挨拶

衆議院議員 宮下 一郎

長野県柔道整復師会の先生方には、日頃より、温かいご指導・ご支援を頂いており、心より御礼を申し上げます。特に、先生方が自民党に対して、一貫して力強いご支援を頂いておりますことに対し、深く感謝をしております。

お陰様で私も、衆議院予算委員会理事、衆議院決算行政監視委員会与党筆頭理事、自民党政調会長代理（経済産業・厚生労働担当）、自民党農林役員などの立場で元気に活動しております。

安倍内閣が発足して6年、GDPが名目・実質ともに3年連続で過去最高を更新するなど経済成長が続いている一方で、少子化による人口減少をはじめとする様々な課題への対応が求められています。女性・高齢者の活躍や生産性向上、外国人材受入れなどによる人手不足への対応、消費税引き上げによる社会保障財源の確保、防災・減災と国土強靱化、中小企業・小規模事業者への支援、TPP等への対応などが課題であり、年末にはこうした観点から平成31年度税制改正や平成30年度補正予算及び平成31年度予算の編成が行われました。

昨年は、北陸豪雪、大阪北部地震、西日本豪雨災害、夏の猛暑、台風21号や24号、北海道胆振東部地震など、誠に多くの災害に見舞われました。これに対しては、平成30年補正予算、平成31年度と平成32年度の当初予算で国土強靱化のための3か年緊急対策を進めてまいります。税制改正では、昨年の法人の事業承継税制に引き続き、個人事業者のための事業承継税制が新

たに創設されました。これにより、事業用の土地だけでなく、建物や医療機器などにかかる税金も100%納税が猶予されることとなります。また、10月の消費税率引き上げに伴う駆け込み需要や消費の落ち込みをできるだけ発生させないよう、住宅ローン減税の延長や自動車税の減税なども決定されました。10月からは、消費税における軽減税率の導入も行われますが、これに対応したレジスターの導入補助金なども予算に盛り込んでおります。

伊那谷においても、リニア中央新幹線や三遠南信自動車道などの交通網整備、治山・治水・砂防事業を通じた防災・減災対策、土地改良事業の推進や中山間地農業の振興、中小企業における研究開発や設備投資支援などを着実にを行うとともに、交流人口増加や海外観光客の受け入れに積極的に取り組み、地域経済の底上げを図ることが必要です。私は、予算委員会の理事として、予算の早期の成立に向けて努力してまいります。

同時に、健康長寿の長野県を支えて頂いている長野県柔道整復師会の先生方がさらにご活躍いただけるよう、制度問題などにも取り組んでまいります。

また本年は、統一地方選挙や参議院選挙が行われる重要な年でもあります。

結びに、先生方の益々のご活躍と長野県柔道整復師会のご発展をお祈りするとともに、今年が素晴らしい一年となることを心から願い、年頭に当たってのご挨拶とさせていただきます。



## 地域資源の可能性が 輝く年に

衆議院議員 務台 俊介

平成最後の年の冬は皆様にとって良き年の幕開けになることをお祈り申し上げます。本年5月には新天皇陛下の御即位を控え、日本中が期待感に胸を膨らませているように感じます。特に、天皇にご即位の皇太子殿下におかれては、こよなく山を愛され、北アルプスの山々にもお登りになられ、信州には特に縁が深いと思っています。私も、最初の「山の日」記念式典が松本市で開催された際にご臨席頂いた殿下の警咳に接した折に、改めて殿下が信州の山々をこよなく愛しておられることに感じ入りました。

殿下に負けないようにと、この数年、私も地元のアルプスに登るように努めています。燕岳、蝶ヶ岳、西穂高岳、槍ヶ岳と登り、一昨年は白馬岳、昨年は小遠見山、岩岳、雨飾山などの北アルプス北部の山々を登りました。

山に登ることで小さな悩みは吹き飛ばような気持ちになります。医師で登山家の今井通子先生によれば、医学的に山の空気を吸うことで健康になることは証明されているとのこと。幅広い年代の皆様が山に親しむ姿を見て、日本人は本当に山に親しむ気持ちが強いのだと確信します。

その北アルプス山岳地域の可能性を引き出す民間プロジェクトが各地で展開しています。特にこれまで交通の利便性に乏しいとされていた大北地域においては、梅池の新たなアミューズ

メント、岩岳のマウンテンハーバー、白馬のグランピング、小谷の古民家復活、大町市の水ビジネス、地ビールなど、圧倒的な自然資源と高品質の水のといった地域の宝の潜在可能性を開花させるプロジェクトが一斉に開花しようとしています。

こうした民間の取り組みを後押しする意味でも、社会インフラ整備は欠かせません。松糸道路、中部縦貫自動車道といった高規格幹線道路については地域連携の背骨として整備を急がなければなりません。山岳地域特有の課題である高瀬川渓谷沿いのダム堆砂、上高地地域の梓川上流部河床上昇についても土砂搬出という抜本的対策を打っていかねばなりません。

国の内外から多くの皆様にアルプスのスキー場に来てもらえることに加え、冬以外のグリーンシーズンの観光客誘致としての自転車への注目、障害者スポーツの誘致といったことにも注視していく必要があります。

地域に無いものを求めるのではなく、地域にあるものの価値を最大限発揮するための政策を、地元国会議員としてしっかり打っていくことに今年も取り組んで行くことをお約束申し上げ、併せて、親愛なる柔道整復師の皆様とともに何れかの山に登ってみたいなあとお夢し、ご挨拶とさせていただきます。



## 新春のご挨拶

参議院議員 吉田 博美

明けましておめでとうございます。

年頭にあたり、長野県柔道整復師会の皆様方に新年のご挨拶を申し上げます。

まず、本年は5月1日に皇位継承が行われる歴史的な年です。新たな元号がスタートするという事は、言わば新たな時代の幕開けです。G20首脳会議やラグビーW杯といった大きなイベントもありますし、統一地方選や参院選など、重要な選挙が続く年でもあります。

私も自民党参議院幹事長という立場で、責任を持って諸政策・課題を解決し、前に進めていきます。

さて、去年は、総選挙時に皆様とお約束した諸政策を実現していく年と位置づけ、政府・与党で一体となってそれらに取り組んでまいりました。

例えば、「少子高齢化」という大きな課題を、国としてどう乗り越えていくのかという事に対しては、「人づくり革命」「生産性革命」「働き方改革」といった政策を打ち出し、それぞれを推進するために、法律や予算を成立させることができました。

そして、どの法律もそうですが、成立させることで終わりではありません。それぞれの法律で、施行する迄の期間や、実際に運用をしていく中で、引き続き課題を整理し、責任政党としてそれらを着実に解決していく所存です。

また、年末に発表された「今年の漢字」が、「災」であったように、去年は豪雨や地震、台

風、猛暑と、自然災害の多い年でありました。

国会においては、1月に予定の二次補正予算で「防災・減災」の予算をしっかりと確保し、その後の本予算では丁寧な審議の上で、各会派の賛同を得ながら国会の意志として成立させていくことを目指します。

さて、柔道整復師の先生方の業界にとっても、去年は「変化の年」と言えるものだったのではないのでしょうか。

施術管理者の要件強化や、養成校のカリキュラム変更など、大きな改正がありましたが、これらが時を経て振り返ったときに、まさに国民からのさらなる信頼に繋がった大きなポイントであったと言えるものであって欲しいと、私も切に思います。

また、そのためにも、私たちが先生方より要望やご意見を頂き、今後もより良いルール作りに生かしていく事が出来ればと考えております。

今年度の国の予算は初めて100兆円を突破する予定です。そのうち約35兆円が社会保障費になる見込みで、増加の一途を辿っております。

「国民の健康」という一番根本的なところを地域で支えて下さっているのが、まさに柔道整復師の皆様であります。

人生を過ごしていく中での幸福度にも大きく影響する「健康寿命」を延ばしていくためにも、先生方のお力は欠かせないものです。

また、その活躍の範囲も、介護・福祉の分野やスポーツなどでも役割を担い、ますます広が

ってきております。

来年、我が国で開催のオリンピック・パラリンピックが近づき、国民的なスポーツへの関心・期待も高まる中、先生方の更なるご活躍が期待されます。

結びになりますが、本年が素晴らしい一年になることをお祈り申し上げ、私の新年のご挨拶とさせていただきます。



## 新たなる挑戦！

長野県参議院選挙区支部長 小松 裕

新年明けましておめでとうございます。皆さまには新しい年を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年の10月28日に開催されました自民党長野県連合会議におきまして、今夏の参議院議員選挙で長野県区から挑戦することが了承され、党本部で公認が決定いたしました。私を支え続けていただいている長野県柔道整復師会の先生がたに感謝を申し上げ、自民党の参議院長野県区の議席を守り抜くという重大な使命に向け、必死になって信州を走り回っております。

6年前の公募で、小坂憲次先生の後任として国会に送り出していただきました。二期5年にわたる衆議院議員時代には、健康、社会保障、スポーツ、障がい者支援、女性など分野で、様々な役割を与えていただき、政策立案に取り組んできました。

これからも自分の足で一人でも多くの方とお会いし、様々なご意見をお聞きしながら、小松ゆたかの思いや信念をご理解いただけるよう、また私を政治家として育てていただいた皆様のご恩に報いることができるよう、国政復帰に向けて活動してまいります。

今の日本を取り巻く最大の課題は、少子高齢化の到来です。特に高齢化による病気の増加、医療需要、介護需要の増加があり、一方で、少子化の影響で働き手が減っています。少ない働き盛りの人口が減少する中で、高齢者を支えていく必要があります。持続的な社会保障制度を確立し、誰もが安心して暮らすことのできる社会を

構築していかなければなりません。

地域包括ケアシステムでは、柔道整復師は地域医療を担う部分医療従事者だけでなく、介護予防支援や生活支援サービスや地域支援事業の担い手として、さらには介護保険サービスにおける機能訓練指導員や認知症の初期支援においてもその活躍が期待されています。特別養護老人ホームでは「機能訓練指導員」を配置しなければなりません。その「機能訓練指導員」になるためには、柔道整復師や看護師などの国家資格が必要です。高齢化が進み、介護事業は日に日に拡張しているため、今後更に需要が高まる可能性があります。このほか健康ブームによって健康関連施設やスポーツ関連施設も増えていますから、そうした施設でも活躍していただくかなければなりません。柔道整復師の皆様は地域でもっと力を発揮していただくための仕組みを作っていく必要があります。

また、様々な柔道整復師会が抱える課題、無資格者の誇大広告や、レセプトの通知調査などの課題にも取り組み、医師会とお互いに連携しあいながら国民、県民の健康を創るために、柔道整復師の先生がたがより一層活躍できる環境づくりに取り組んでまいります。一緒に「健康長寿長野モデル」を全国に発信して、長野の活性化につなげてまいりたいと思います。

結びに本年が長野県柔道整復師会の皆様にとって素晴らしい一年となることを祈念し、年頭のご挨拶とさせていただきます。



## 年頭のご挨拶

公益社団法人長野県柔道整復師会 顧問 若林 健太

明けましておめでとうございます。皆様には、新春を健やかに迎え事とお慶び申し上げます。日頃、先生方には、長野県民の健康な生活を向上させるため大いにご貢献されていることに敬意を表します。また、自由民主党職域支部の中でも、常に先頭に立って支援をして頂いています事、心から感謝申し上げます。

昨年10月28日自民党長野県連総務選対職域支部長会議にて、懸案の長野1区支部長について、私が選任を頂き、前支部長の小松ゆたか先生が吉田ひろみ先生の後継指名を受けて今夏の参議院選挙長野県選挙区に立候補する事となりました。お互いの土俵が決まりましたので、協力関係を構築して、参議院選挙勝利と共に、伝統ある長野1区の議席奪還を通じ、保守基盤再生に向けて粉骨砕身取り組んで参ります。今後ともご指導ご支援の程、宜しくお願い申し上げます。

世界は歴史上の大転換期を迎え激動の様相を呈して来ました。世界の覇権を巡る米中貿易戦争はファーウェイ問題などITを巡る領域まで拡大して参りました。EUでは英国の離脱、デモに悩むマクロン大統領率いる仏、地方選挙の敗北から引退するメルケル率いる独など混とんとしています。我が国を取り巻く環境も変化しており、中国との関係改善が進む一方で、米中貿易戦争の影響から中国経済の行方が不安視さ

れています。拉致問題解決を含めた北朝鮮との交渉は遅々として進行せず、徴用工問題により韓国とは戦後最悪の関係に陥っています。そうした中、北方領土問題を含むロシアとの関係改善には、安倍プーチン両首脳の間信頼関係に基づき前進させるべく取組んでおり、戦後70年に渡って凍結していた課題の解決に期待が寄せられています。安倍総理への国内の評価は二分していますが、安定した政治基盤のもと、こうした難しい国際的な課題の解決が期待されています。

柔道整復師会でも、急増する柔道整復師、経験不足で開業するため発生するトラブルや未入会の診療所問題、業界としての質の維持など、取り巻く課題が山積しています。世界の歴史が変わり、日本も、柔道整復師会も様々な課題を抱える中で、政治の果たす役割は重要です。

残念ながら、この大事な時に議席を失っており、お役に立てない事が悔しくてなりません。七転八起。柔道整復師会の先生方には、現在の厳しい時も変わらぬご支援を頂いている事に涙が出るほど嬉しく思い、頂いたご恩に報いていくべく頑張っ参ります。

平素の恩情に心から御礼申し上げ、皆様今年一年のご活躍、健やかな年となりますようにご祈念申し上げて、新春のご挨拶とさせていただきます。

# 平成30年度 第33回四地区親睦交流会

中信事業部 榎藤 俊和

平成30年8月26日（日）第33回 四地区親睦交流会が開催されました。今回は、平成26年9月27日の御嶽山の噴火に伴い、多くの犠牲者や甚大な被害が発生しました木曽地方の復興を目的として、高田保会長のお膝元でもある木曽の地「上松町 ひのきの里総合文化センター」を主会場に開催致されました。

今年は台風が発生が多く前日まで台風20号の影響で雨模様でしたが、皆さんの行いのおかげで当日は暑過ぎるくらいの日差しに恵まれ、遠方にもかかわらず北信35名、東信31名、南信36名、中信43名の各地区会員と事務局職員5名の総勢150名の参加のもと、開会式を上松駅横の御嶽海の垂れ幕が飾られている屋外ステージにて安藤恒久事業部長、宮下厚南信地区長による挨拶が行われました。

その後、午前中は暑い中各競技会場にて

A：赤沢自然休養林 冷沢コース

B：赤沢自然休養林 駒鳥コース

C：マレットゴルフ コース

D：酒蔵見学・ふるさと体験館コース

の4コースに分かれてそれぞれ競技が行われました。

## A 赤沢自然休養林 冷沢コース

前日の雨と酷暑の影響が懸念される中、赤沢美林へと出発しました。駒鳥コースへ向かう参加者や一般の方々とで満杯の森林鉄道トロッコ内は満杯だったものの、流れる風の爽やかさは印象的でした。

終点より冷沢コースに入ると、敷き詰められたウッドチップのおかげで足元の心配も少なく、懇切丁寧なガイドさんの説明に聞き入ると3.1kmの距離も暑さを感じずあっという間に歩ききることが出来ました。楽しいガイドさんの

解説に話が弾み、時間が足りなくなるというハプニングも発生する程でしたが、清々しい空気を堪能しました。

帰りのバス内では勉強した内容とあまり関係のないクイズに四苦八苦しながら、慰労会会場へと向かいました。

## B 赤沢自然休養林 駒鳥コース

前日の雨のため湿度が高めで森の香りが濃く木漏れ日が心地よい中を35名が参加して散策しました。

リラックスコースということでトロッコ鉄道に15分程乗って上の終点まで行きその後、東・北信グループと中・南信グループに分かれガイドさんについて濡れて滑りやすい足元のなかをゆっくりと樹齢ウン百年の樹を見ながら散策して降りてきました。帰りのバス内にて筆記クイズを行い各地区の平均点で順位を決定しました。その結果1位中信、2位北信、3位南信、4位東信となりました。

## C マレットゴルフ コース

平成30年8月26日、四地区親睦交流会にて上松町のねざめホテルでマレットゴルフを行いました。数日前の台風とその後の変わりやすい天候でコンディションが心配されましたが快晴となり、午前中でも暑さに気をつけながらの開催となりました。

今回の競技は、参加者35名中上位20名に得点を与え、1位20点から20位1点の合計得点で地区順位を決定するというルールで行い、優勝、南信地区102点、2位、中信地区、64点、3位北信地区、37点、4位、東信地区、7点と南信地区の圧勝となりました。尚、個人賞はありませんでしたが、個人成績でみると、1位、南信地区宮下会員、2位、中信地区磯部会員、3位



北信地区鶴田会員となりました。炎天下の中でのプレーとなりましたが、大変お疲れ様でした。また、遠方よりお越しいただきありがとうございました。

#### D 酒蔵見学・ふるさと体験館 コース

Dコースはまず中善酒造さんにて酒蔵見学をしました。皆さん興味津々で見学されて酒蔵の方に時間ぎりぎりまで質問していました。

しっかり試飲をしておみやげをたくさん買われました。

次にふるさと体験館にてブローチ製作をしました。輪切りの木製プレートに木の実をボンドで飾りました。スタッフの方々も先生方の作品の出来栄に驚いていました。こちらの作品から採点して、採点結果中信地区の小澤成幸先生が優勝されました。

最後にせせらぎの四季にてご入浴されて、天然炭酸泉で日頃の疲れを癒していただきました。

#### 親睦会

午後は、各会場での競技終了後「ひのきの里総合文化センター」にて親睦会を開催しました。まずは木曾町で開業の今村勇治先生の奥様が指導されている「カナバレエスタジオ」の皆さんの可愛らしい園児から華麗な高校生まで17名によるバレエダンスにて他地区会員の歓迎のダンスを披露して頂きました。

その後、親睦会の柏木久明副会長による開会の辞、高田保会長挨拶に引き続き来賓といたしまして地元 大屋 誠 上松町長より大変有り難い歓迎の辞を戴きました。そして保尊伸昭中信地区会長による歓迎の挨拶に続きまして、皆さん待ちに待った乾杯を磯部栄二顧問のご発声にて和やかな雰囲気です宴会が始まりました。

親睦会の出し物では4年前の中信地区開催の四地区親睦交流会時にも好評でしたジャンケン

大会を開催しました。今回は、勝ち残り負け残りの2回行い1回目勝ち残りでは南信地区の下平寛志会員が優勝、2回目の負け残りでは中信地区の倉科正会員が見事優勝し豪華な景品を手に入れました。

各競技成績は、

Aコース：1位 南信・2位 北信・

3位 中信・4位 東信

Bコース：1位 中信・2位 北信・

3位 南信・4位 東信

Cコース：1位 南信・2位 中信・

3位 北信・4位 東信

Dコース：1位 中信・2位 東信・

3位 北信・4位 南信

という結果でした。

そこへジャンケン大会の結果を合わせて、

最終的な総合結果は、1位:中信・2位:南信・3位:北信・4位:東信となり、中信地区は何年ぶりか忘れてしまうくらいの久しぶりの優勝となりました。

そして親睦会の最後には、次期開催地区会長の西條賢治北信地区会長の挨拶をいただき、安藤恒久副会長の万歳三唱にて親睦会は盛会に終了しました。

今回は会場の都合上ケータリングでの親睦会となりましたが、上松町の地元商店の皆さんのおかげで沢山の料理と飲み放題を低予算にてご提供いただきました。上松町の商店の皆さん大変お世話になりました。

また、木曾地方の会員方々には大変ご尽力をいただきまして感謝申し上げます。

最後に、スケジュールの都合で入浴時間が短く、また親睦会において行き届かない点等有ったと思いますが、今後の反省点として次回開催時にはもっと皆さんに楽しんでいただける親睦会にして行きたいと思います。



御嶽海閣優勝横記念横断幕の前にて参加者全員の記念撮影



赤沢自然休養林 冷沢コース・駒鳥コース参加者



優勝カップ返還



冷沢コース トロッコ乗車



トロッコからの風景



伊勢神宮御神木切り株



マレットゴルフ参加者



木曾谷のマレットゴルフ場



じゃんけん大会



4位 東信



3位 北信



2位 南信



優勝 中



万歳三唱

# 平成30年度長野県地震総合防災訓練の見学

副事業部長 倉科 正

長野県医師会のご厚意により平成30年度長野県地震総合防災訓練を見学してきました。

長野県庁西庁舎302号会議室に於きまして、平成30年9月3日（月）午前8時30分より12時30分まで高田会長、酒井副会長、安藤副会長、柏木副会長、倉科で見学を致しました。

発生状況、糸魚川―静岡構造線断層帯M7.3

の地震（震源：松本牛伏寺断層最大深度7）阪神淡路大震災・熊本地震と同程度、神城断層地震の約8倍のエネルギーという想定の下訓練が開始、訓練が終わるまで、情報の収集、本部で決定、各部署へ指示、メディアへの情報提供等を繰り返し最後反省会で終了いたしました。



## 【緊急時の本部構成員】

本部長（阿部知事）、副本部長（2名）、自衛隊、災害対策本部室長、警察部、企画振興部、長野地方气象台、長野国道事務所、総務部、建設部、県民文化部、健康福祉部、環境部、産業労働部、観光部、農政部、林務部、教育部、県

医師会、DMAT、県社協、NPOセンター、会計部、県LPガス協会、県石油商業組合、倉庫協会、県トラック協会、赤帽、JVOAD（全国災害ボランティア支援団体ネットワーク）物資調整、広域応援、危機管理防錆課長の33名





# 平成30年度 日本赤十字社長野県支部合同災害救護訓練

東信支部 長谷川 寛樹

平成30年9月22日（土）午前9時から午後2時まで、佐久市望月の川西赤十字病院、望月高等学校、望月総合支援センターの隣接した3会場において「平成30年度 日本赤十字社長野県支部合同災害救護訓練」が開催されました。

訓練には、長野、諏訪、安曇野、飯山、下伊那の各赤十字病院、佐久市市民健康部、佐久広域連合消防関連、佐久市、立科町、佐久穂町の各赤十字奉仕団、長野県赤十字救護隊、長野県柔道整復師会赤十字奉仕団、学生ボランティア（佐久大学、小諸看護専門学校）等、総勢約200名の参加者が集まりました。柔整師会からは15名が参加しました。

## 【訓練項目（全体）】

- ① 支部災害救護実施対策本部、支部現地災害救護実施対策本部、病院災害対策本部の設置及び運営訓練
- ② 関係機関との連携訓練
- ③ 参加訓練
- ④ 業務用無線及び衛星電話等を活用した情報収集・伝達訓練
- ⑤ 多数傷病者トリアージ及び応急処置等の訓練
- ⑥ 移動式仮設診療所（dERU）の設置・運用訓練
- ⑦ 被災病院の支援訓練
- ⑧ 血液製剤確保訓練
- ⑨ 避難所巡回診療訓練（発災後48時間後の

想定）

- ⑩ 炊き出し訓練
- ⑪ 検証会

## 【柔整師会 訓練内容】

- ① 傷病者受け入れ訓練の会場設営（エアテント設置及び資機材の搬出等）
- ② 傷病者の搬送（赤タグ黄タグの担架搬送）
- ③ 緑タグの傷病者の応急手当
- ④ 炊き出し（昼食）
- ⑤ 反省会
- ⑥ 会場設営撤収作業

9月22日午前7時30分、佐久市を直下とする震度6弱の地震が発生という想定で訓練を開始。柔整師会は15名を3班に分け、赤十字救護隊と共に資機材搬送、傷病者の応急手当、トリアージ赤タグ、黄タグの傷病者を担架で搬送する訓練をしました。

私自身、このような訓練は4回目なのですが担架搬送のやり方、三角巾の使い方を全く覚えておらずかなり動揺しながら傷病者に接していました。

訓練終了後の反省会では、担架搬送が練習不足の為手際の悪さを露呈しましたが後半は徐々に慣れ落ち着いて搬送ができていました。応急手当が三角巾しかなく、柔整師用のトレーナーバックを用意してはと要望がありました。



# 平成30年度 長野県総合防災訓練

中信地区 権藤 俊和

平成30年10月21日（日）午前8時30分から午後1時まで「平成30年度 長野県総合防災訓練」が主会場を塩尻市中央スポーツ公園、またサブ会場として保健福祉センター、小坂田公園、総合運動場、信州まつもと空港に於いて長野県と塩尻市主催により開催されました。

今年度は日本赤十字社長野県支部から、清水深 事務局長、須藤晴彦 事業推進課長、山崎慎哉 事業推進課救護係長をはじめ救護隊の方々と当会は長野県医師会からの要請で参加の高田保会長、酒井正彦副会長、柏木久明副会長及び長野県柔道整復師会赤十字奉仕団として11名の会員が訓練に参加しました。

## 【訓練概要】

1. 糸魚川―静岡構造線断層帯を震源とする地震による被害  
10月21日 午前7時地震発生し塩尻市内で最大震度5弱を観測
2. 境峠・神谷断層帯を震源とする地震による被害  
10月21日 午前8時地震発生し塩尻市内で最大震度6弱を観測  
建物倒壊し負傷者有り
3. 山林火災発生  
境峠・神谷断層帯地震発生後、倒壊家屋から火災発生し山林火災へと延焼範囲拡大
4. 異臭発生による被害  
境峠・神谷断層帯地震発生後、毒劇物搬送車両と一般車両の衝突事故により異臭事変が発生を想定して行いました。

## 【訓練内容】

1. 日本赤十字社長野県支部救護隊の皆さんと6名ずつ3班編成
2. 簡易ベッド、椅子等を用意し救護所を開設
3. 瓦礫からの負傷者と異臭事案による負傷者がそれぞれ救護所に移動、搬送され医師によるトリアージ後に担架による搬送
4. 緑タグエリアでの負傷者（切創・打撲・捻挫・鎖骨骨折等）への応急処置
5. 更に今年度は、県生涯学習講演会でもご講演戴きました 安曇野赤十字病院第2脳神経外科部長 上條幸弘 先生の指示のもと  
ア. 赤タグエリアでのアンビユー補助  
イ. 黄タグエリアでの大腿、下腿部骨折疑いの負傷者への副木、ソフトシーネ、三角巾、包帯等にて固定処置の訓練を行いました。

実際の災害現場では一人でも多くのマンパワーが必要です。日々の施術所内での施術とは勝手が違い、また物資も不足している中で、いかに私たちの知識・技術を生かせるかが重要となってきます。その為には、普段から災害・防災活動への意識を持つことが大切です。

また、前回までは負傷者の搬送が主でしたが、今回初めて緑タグ負傷者への応急処置を担当し、更には医師の指示のもと赤タグエリアでの補助、黄タグ負傷者への処置まで任されたことは前例のない事であり、我々柔道整復師が今後の災害現場での活動範囲に関わる大きな前身であると考えます。

最後に訓練に参加されました会員におかれましては大変お疲れ様でした。





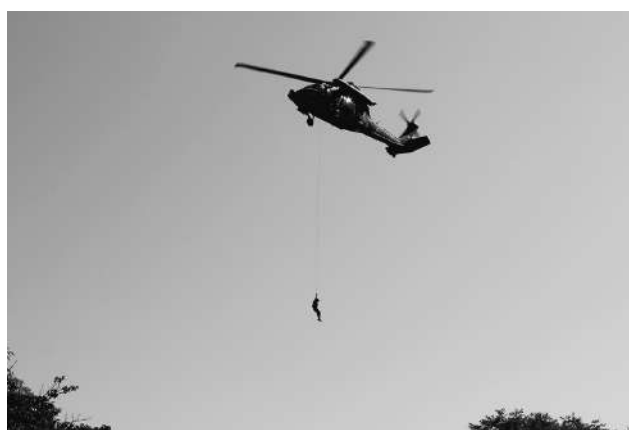
赤十字病院上條先生に教わる会員（アンビュー補助）



大腿骨折応急処置 中村会員・上原会員



捻挫の固定 包帯による固定



航空自衛隊による救助



防災訓練参加者

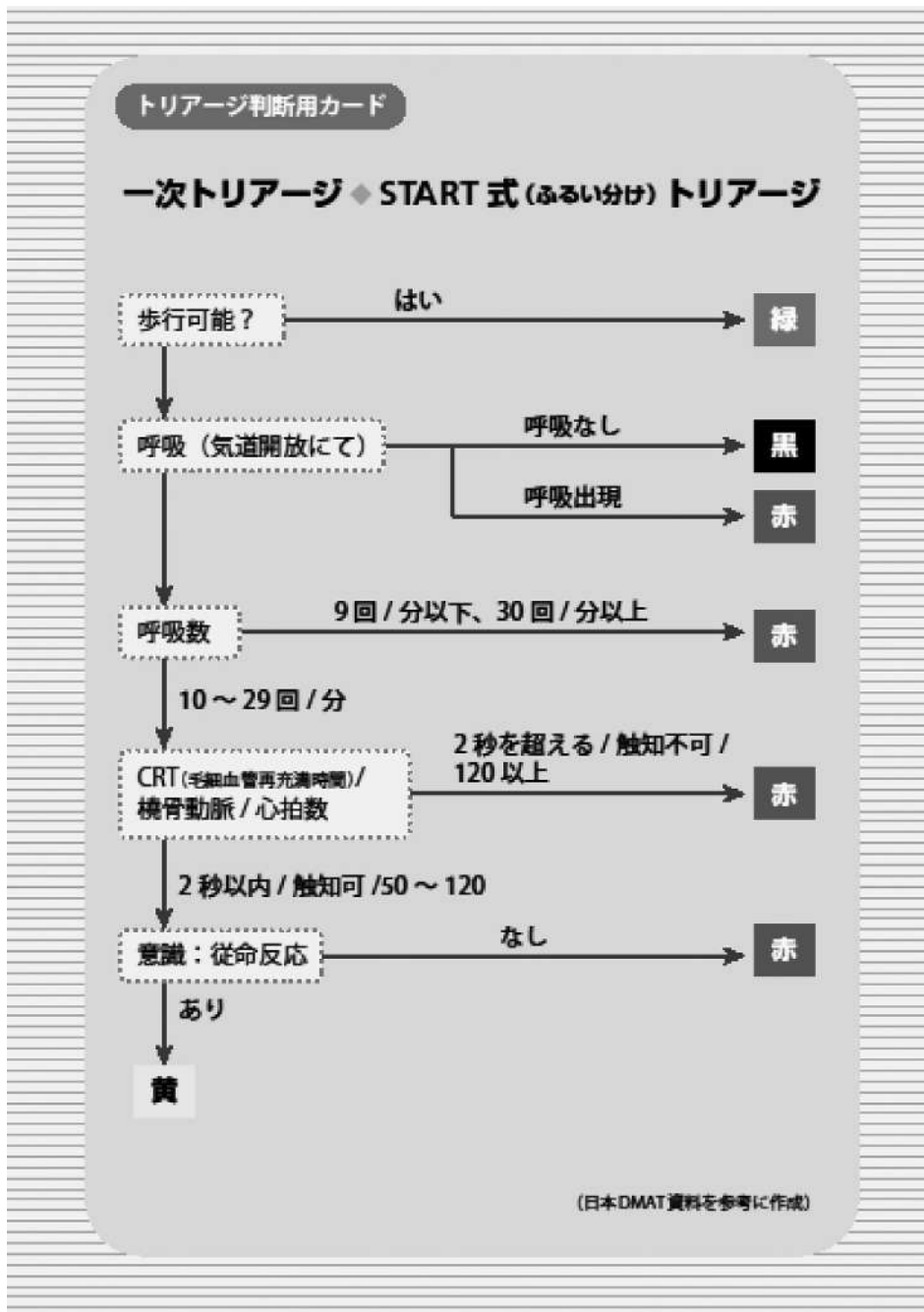
# 平成30年度安曇野市防災訓練

中信地区 倉科 正

平成30年9月2日（火）安曇野市に於きまして防災訓練が行われました。

安曇野市と（公社）長野県柔道整復師会協定が、防災協定を結び3年目の防災訓練となり、8月28日に事前の講習会が行われ、長野県立こ

ども病院総合周産期母子医療センター長兼新生児科部長、廣間武彦先生より「災害時小児周産期リエゾン」という演題にて講義を頂き、その後、各地区に分かれ第1次トリアージを学びました。



当日は、本部（安曇野市役所）・豊科会場・穂高会場・堀金会場・三郷会場・明科会場に分かれ、それぞれ医師会・歯科医師会・薬剤師会・職員と協力し市民が救助者となり本番さながらに防災訓練を行いました。

各地区より感想

【本部】

- ・各会場より、被災者（要救助者 黄タグ・赤タグ）の状況を各会場より無線で受けその後医師の判断により搬送場所を決定し、その指示を各会場に無線にて伝える作業をした。
- ・各地区の担当者の名前・脈拍・年齢・血圧など本来聞かなければいけない情報が抜けていることがあった。



- ・情報を正確に把握し各会場に伝える際どこの会場か忘れてしまったりしたことがあった。
- ・無線が使えない地区があった。（防災電話でカバーをした）
- ・今後の検討課題があり、次回に活かしたい。

【豊科地区】

- ・1次トリアージの際記入に手間取って記入漏れがあった。
- ・ケガではなく、薬を必要とするもの、内科的なものに対しては医師に対応を確認したので、少ない医師の手を煩わせることが多かった。
- ・用意されていた衛生材料にガーゼが無かった。
- ・今回で3回目なので、少し慣れた感はあるが、緑タグの傷病者は多く、待たせる時間が長くなるため、業務範囲外のものの取り扱いをもう少し事前に確認しておきたいと思った。



豊科救護所

【穂高会場】

・救護訓練は滞りなく終了しました。医師会の先生は仕事柄懇意にさせていただいておりますのでとてもスムーズでした。

【三郷地区】

・医師より挨拶の際「参加3年になると顔の見える関係が出来上がってきた」「これからもこのメンバーでやっていきましょう」という言葉をいただきました。

【堀金地区】

・医師より、市民の参加について、実際の災害時の役割についての検討が必要等、意見がありました。  
・実際の災害時に的確に行動できるかは今回のような訓練を経験していくことが重要と思いました。

【明科地区】

・切り傷の処置も多いため柔道整復師だからこそできる、三角巾やシーネを使った固定法などの見せ場があればと思いました。  
・緑は必然的にけが人が多くなるため、人数が足りなければ迅速な行動と正確な判断力が必要になると思いました。  
・医師会の先生方と一緒に、本番さながらの訓練を行うことができ良い経験になったと思います。

【参加者】 8月28日（火）

PM 7時から9時迄

場所 安曇野市医師会館

保尊伸昭、倉科正、中島今朝光、中村吉孝、井出克行、下里泰伸、南雲智則、南雲梢、塩原孝一、森本健雅、矢口修、矢口美穂（12名）

【参加者】 9月2日（日）

AM 8時から12時迄

場所 安曇野市6会場



穂高救護所

保尊伸昭、倉科正、中村吉孝、井出克行、下里肇、下里泰伸、南雲智則、南雲梢、塩原孝一、森本健雅、矢口修、矢口美穂、等々力日菜（13名）

参加されました会員ご苦労様でした。

これからも継続して安曇野市防災訓練が行われます。

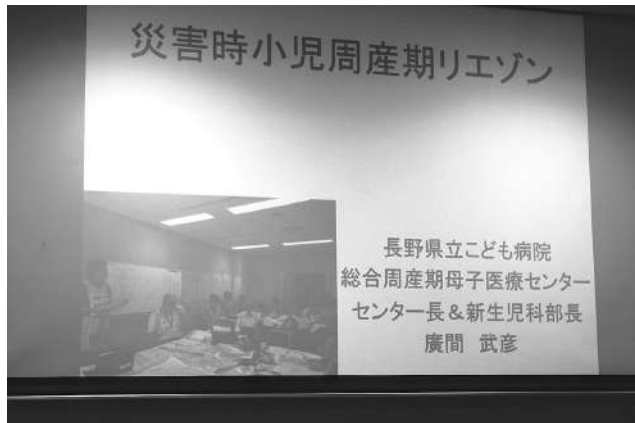
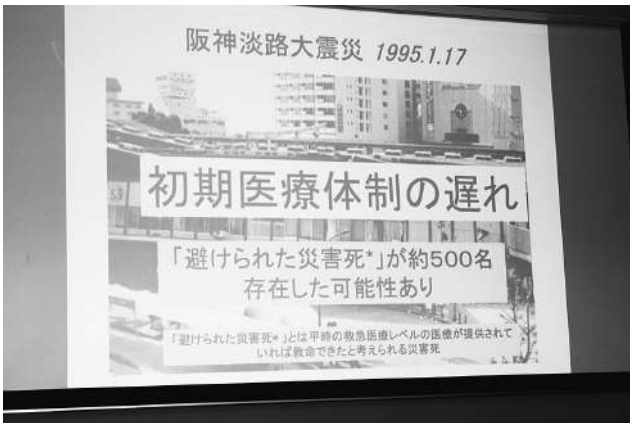
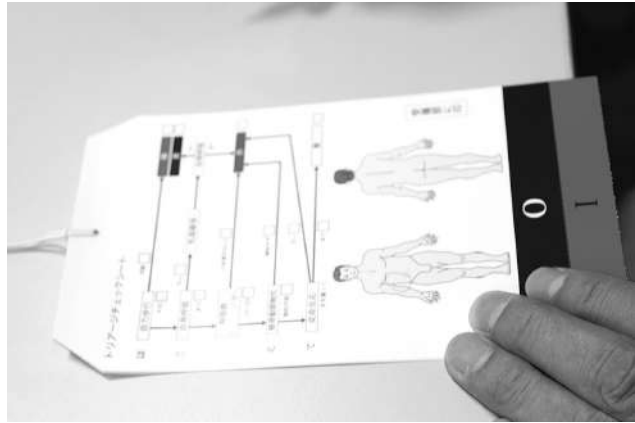
引き続きご協力のお願いをいたします。



本部で情報収集する保尊地区長



救護所



県立こども病院 廣間武彦先生

# 平成30年度 松本市医療救護訓練

中信地区 三澤 茂明

平成30年9月2日（日）（AM 8：00～11：30）に松本市医療救護訓練が行われました。松本市は災害時に23ヶ所の医療救護所を立ち上げますが本年は今井地区と山辺地区で合同訓練を行い残りの14ヶ所中12カ所に合計20名の柔道整復師が参加をしました。

震災の場合、震度6弱にて各医療救護所へ自主的に参集し救護活動を行うことになっています。

参加者は各医療救護所でそれぞれですが、私の参加した清水中学校では医師3名、歯科医師1名、薬剤師2名、柔道整復師1名、市保健師3名、市事務員2名、施設管理者2名、建築士2名の合計16名で訓練を行いました。

訓練内容

- (1) 集合後、迅速な救護所の立ち上げ
- (2) 役割分担の確認
- (3) 備品等の確認
- (4) トリアージ訓練
- (5) 応急処置訓練として下肢の捻挫・打撲等に対する固定訓練
- (6) 記録方法の確認
- (7) 反省会

昨年は応急処置で上肢の固定を三角巾で行いましたが、今年は柔道整復師が日常よく使用する

る材料である包帯やテーピングなどを使い実技を行いました。

訓練結果（反省会の意見等）

- ・近隣の医師、歯科医師、薬剤師等の方々とコミュニケーションがとれ良かった。
  - ・包帯類やテーピングなどの備品を充実してほしい。
  - ・今季は多くの救護所へ参加するために自分の範囲でないところへ参加したが実際の災害の際には入り口や備品の場所などの分からず役に立たないのではないか。
  - ・個人のスキルアップが必要である。
- 等の意見がありましたので次年度の参考にさせていただきます。

また他業種の方からはテーピングの方法が参考になったとの意見も頂きました。

災害の際には多くの業種の方が集まり救護にあたります。年に一回でも集まり訓練をすることで顔が見える状況ができていれば、どの方がどんなスキルを持っているか分かっていますのでスムーズに救護を行えると思います。

会員の皆様方におきましては今後も積極的に防災活動等への協力をして頂けるよう重ねてお願い申し上げます。





## 自由民主党長野県柔道整復師 支部発足30年にあたり

自由民主党長野県柔道整復師支部  
支部長 西條 春雄

新年明けましておめでとうございます。日頃は、自由民主党長野県柔道整復師支部活動にご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

業界と政治の関わりを紐解くと、過去において柔道整復師の療養費が余りにも低価格だった時代がありました。そこで本県から当時自民党政調会長だった小坂善太郎代議士に柔整療養費アップの陳情を行い、療養費が大きく引き上げられました。日本柔道整復師会でも自民党国会議員団に制度改革の要望を積み重ね、今日では医科の診療報酬に準じて療養費が改定されるようになりました。

私が長野県柔道整復師会副会長に就任した時に、「組織の力を集結して政治活動に参画しなければ業界の未来は危うい」と思い、昭和63年5月に職域支部として自民党長野県柔道整復師支部を創設しました。以来30年の月日が流れました。

その間、業界発展のために様々な活動をしてまいりました。その業績が自民党県連から評価され、平成17年1月の自民党全国大会で小泉純一郎総裁から当支部に感謝状が授与されました。また、平成27年3月8日の第82回自民党全国大会では、安倍晋三総裁より優秀賞を頂きました。これもひとえに会員の皆様のご協力によるものと感謝しております。

ところで、先の選挙では若林健太参議院議員と小松裕衆議院議員が議席を失ってしまいました。これは、国民、県民そして我が業界にとりましても大きな損失であります。それを受け、昨年10月28日自民党総務会・選挙対策委員会・職域支部長会議において参議院県区は小松裕氏、衆議院一区に若林健太氏それぞれを推薦と

することが決まりました。

11月に行われた小松裕氏・若林健太氏の緊急役員会議で、吉田博美参議院幹事長は小松裕氏を後継者とすることを発表し、若林健太氏も力を合わせて保守地盤を立て直していくことを誓いました。

今年は、選挙の年とも言われ4月7日の県会議員選挙、7月には参議院選挙が行われます。参議院選挙には、当会顧問の小松裕氏が出馬されます。日本医師会横倉義武会長や長野県医師会の関隆教会長も支援されています。また、日本柔道整復師会工藤鉄男会長は「自民党無くして業界の発展無し」と常日頃申しています。小松裕氏は長野県と我々の業界にとっても無くてはならない政治家で、国民の健康や医療界の発展のために是非活動していただきたいと願っています。

歴代の長野県選出自民党国会議員の著名な先生には、小坂善太郎外務・労働大臣や井出一太郎農林・郵政大臣、唐沢俊二郎郵政大臣、下条進一郎厚生大臣、宮下創平厚生大臣、若林正俊環境・農林水産大臣、小坂憲次文部科学大臣、村井仁国家公安委員会委員長・防災担当大臣・前長野県知事がおられます。この様に多くの先生が日本国そして長野県発展のために国政の場で大活躍されてきました。

そんな長野県ですが、最近は投票率が低迷しており残念でなりません。社会に無関心そして無責任になっている状況を危惧しています。会員の皆様におかれましては、政治に大いに関心を持っていただき、未来ある長野県そして日本を築いてまいりましょう。



# (公社) 日本柔道整復師会 第37回東京学術大会に参加して

学術部長 西條 賢治

平成30年9月23日（日曜日）帝京平成大学池袋キャンパスにおいて（公社）日本柔道整復師会第37回東京学術大会が開催され（公社）長野県柔道整復師会高田保会長の代理として学術部長の立場で参加し勉強をしてまいりました。

会場の帝京平成大学池袋キャンパスを初めて見てやはり大学は違うなと思いました。このような環境で勉強できる学生は幸せだと思いつつもに業界に未来への一条の光を見たような気がいたしました。後輩たちに良い形で「ほねつぎ」を伝承できればと改めて思いました。

学術大会長の（公社）日本柔道整復師会工藤鉄男会長は挨拶の中で、「柔道整復師一人ひとりの資質の向上が国民からも求められる中、学術研鑽の場として、当会が主催する全国11地区での学術大会は、益々重要な位置づけになって参ります。今大会は、浜田山病院理事長・院長小瀬忠男先生の特別講演がございます。加えて、会員代表から、臨床経験に基づく数々の研究発表が行われます。これらは臨床現場で有効に活用され、地域医療の発展に寄与するとともに、柔道整復学の構築にも大いに役立つことと思われまふ。」との挨拶がありました。

実行委員長の（公社）東京都柔道整復師会伊藤述史会長は特別講演の小瀬忠男先生について「小瀬先生は地域医療をめざし、こころの通う優しい医療として患者さん一人ひとりに合わせた『オーダーメイド治療』に取り組んでおられます。私ども柔道整復師も共感できる理念のもと、お話の内容は、これからの皆様の施術にも大変参考になるものと思います。また、この特別講演は、柔道整復師だけでなく、多くの市民の皆様にもお聞きいただきたいために『公開講

座』といたしました。ご参加の皆様には、是非、日常の健康管理に役立てていただきたいと思ひます。」と挨拶がありました。

そして特別講演の第2部として「公益法人日本柔道整復師会総務部長、（公社）東京都柔道整復師会副会長も務めている三橋裕之先生」に「日本柔道整復師会が確立した制度改革の概要」と題して、柔道整復師として永年にわたり取り組んできた「公的審査会の権限強化策」や「施術管理者の要件強化」などの概要を話された。これは参加されている柔道整復師の皆さんに次世代の先生方が、より良いバトンを引き継いでいくためにも、制度改革について理解を深めていただきたいとの趣旨からでありました。

さらに、研究発表として分科会方式で会員による発表や神奈川県学術交流発表会、日整保険部による介護支援事業講習会、またワークショップなども開催されました。

## 特別講演 I ・市民公開講座

「保存療法の限界と手術療法の決断—整形外科医の判断基準—」小瀬忠男（医療法人社団愛宝会 浜田山病院理事長・院長）

その概要は

『整形外科を中心とする浜田山病院では、平成22年頃より我々と同じく「運動器疾患」を取り扱われる東京都柔道整復師会の先生方と、お互いの得手不得手を補完しあう形で「医接連携」を展開して参りました。

活動を開始した当初は、年間に数十名程度のご紹介でしたが、現在は年間に四百名を超える患者様のご紹介をいただくまでに成長しております。

これはひとえに先生方が、各疾患における「保存か？手術か？」のグレーゾーンを、病院を活用して多角的に判断することが、患者様の利益につながるという信念をもってご紹介くださった結果ではないでしょうか。今回は、柔道整復師の先生方にご紹介いただいた症例を供覧させていただき形で「保存か？手術か？」の境界線をテーマに解説させていただき、今後の先生方と患者様の治療の一助となれますよう、精一杯お話をさせていただきます。』

## 特別講演Ⅱ・日本柔道整復師会が確立した制度 改革の概要

三橋裕之（公益社団日本柔道整復師会総務部長・公益社団法人東京都柔道整復師会副会長）

### 1. 教育改革として養成校のカリキュラム等を見直し

- ① 最低履修時間 1530時間 → 2750時間以上に拡充  
最低履修単位 85単位 → 99単位以上に拡充
- ② 新カリキュラム 社会保障（保険取り扱い）、介護予防（機能訓練）、医用画像の理解（超音波等）
- ③ 臨床実習単位増 1単位 → 4単位  
計 180時間
- ④ 臨床実習の実施場所を近隣の接骨院等に拡大（＝隣地実習）。「基本」養成校附属接骨院1単位＋隣地実習接骨院
- ⑤ 施術所での隣地実習の受入は、専科教員資格者又は臨床実習指導者講習会修了者を配置する施術所に限る。
- (6) 臨床実習指導者講習は学校協会所属養成校及び公益社団柔道整復師会が開催（2日間）

### 2. 不正対策として公的審査会（柔整審査会）の権限を強化

- ① 柔整審査会は、審査に当たり必要と認める場合、開設者、施術管理者及び勤務する

柔道整復師から報告を徴する事が出来る事。

- ② 柔整審査会は療養費の請求内容に不正又は著しい不当があるかどうかを確認するため施術の事実等を確認する必要がある場合には施術者に対して領収書の発行履歴や来院簿その他通院の履歴がわかる資料の提示及び閲覧を求める事が出来ること。 → 厚生局等へ情報提供
- ③ 全国に対して先駆け本年3月28日「東京国保連合会柔整審査委員会」で2名の柔道整復師に対して面接懇談（呼び出し調査）がスタート。

### 3. 開業者の資質向上策として施術管理者の要件見直し

- ① 新規開業、受領委任の取扱いをする場合に実務経験3年と研修受講（2日間）を義務づける。
- ② 実務経験の要件については急な改定のため段階実施  
ア 平成33年度までは一年以上  
イ 平成34年～35年度は二年以上（保険医療機関は一年までの加算）  
ウ 平成36年度以降は三年以上（保険医療機関は二年まで加算）※実務経験機関は就業証明を提出することとなるが、虚偽の報告をした際には直ちに受領委任の中止又は中止相当とする。

○研修試験財団主催により、7月7日・8日東京渋谷で220名の受講者での開催をかわきりに現在全国で開催されています。今年度は特例にて届け出後の年度内受講が認められています。

### 4. いわゆる「亜急性」の見直し

#### 留意事項通知第1の5の改正

旧) -療養費の支給対象となる負傷は、急性又は亜急性の外傷性の骨折、脱臼、打撲及び捻挫であり、内科的原因による疾患は含まれないこと。なお急性又は亜急性の介達外力による筋、腱の断裂（いわゆる肉はなれをい

い、挫傷を伴う場合もある。)については、第5の3の(5)により算定して差し支えないこと。

新) -療養費の支給対象となる負傷は、外傷性が明らかな骨折、脱臼、打撲及び捻挫であり、内科的原因による疾患は含まれないこと。なお、介達外力による筋、腱の断裂(いわゆる肉はなれをいい、挫傷を伴う場合もある。)については、第5の3の(5)により算定して差し支えないこと。また、外傷性とは、関節等の可動域を超えた捻じれや外力によって身体の組織が損傷を受けた状態を示すものであり、いずれの負傷も、身体の組織の損傷の状態が慢性に至っていないものであること。

#### 5. 柔道整復師の療養費料金改定について

「療養費」平成30年6月1日施術分より改定率0.32%

○骨折・不全骨折・脱臼に係る「柔道整復運動後療料」の新設

運動機能の回復を目的とした各種運動により、一回20分程度、柔道整復の一環としての運動による後療を実施した場合に算定。

#### 6. 保険者の不適切な患者調査の適正化について

○平成25年3月厚労4課長通知を逸脱した保険者の不適切な二次点検調査による受診抑制の回避が喫緊の課題であった。

○新たに厚労省から患者紹介の適正化文書を発出。

- ・民間委託による患者紹介については、月に一回、1部位の請求についてまで紹介を行っているが、本来、不正の疑いのある施術や多部位、長期、頻回傾向又は部位転がし等について確認するために実施するものとし、受診の抑制を目的とするような実施方法は厳に慎む。

- ・患者の記憶が薄れない時期に実施すること。

- ・申請書と患者照会の回答が一致しない場

合は、不正請求が明らかであるなどの場合をのぞき、施術所に照会を行うこと。

- ・施術所への照会は、疑義の解消に必要な範囲で行うこと。

- ・患者にわかりやすい内容で記述しやすい解答欄とすること。

- ・具体的には、実際に施術を受けているかや外傷によるものかを確認するものであることから「施術期間」「実日数」「負傷原因」「箇所」に限定して確認すること。

- ・領収書の提出がないことのみで不支給決定をすることは適切でないこと。

- ・外部委託先は施術団体や請求代行を行っている者の子会社等に委託することは適当ではないこと。

- ・不適切な照会等を把握し改善するため、相談窓口を厚労省に設置する。

※今後、不適切な患者照会等があれば証拠文書等を添えて都道府県柔道整復師会事務局に情報提供してください。(すべて取りまとめて厚労省相談窓口へ提出)

#### 7. 電子請求に係る「モデル事業」の実施

① 厚労省は昨年末「みずほ総研」に委託し、全国主要都市の公益社団柔整師会にヒアリングを実施。一方で検討専門委員会では東京都国保連合会と厚労省、公社東京都柔道整復師会での「モデル実施」が提案され現在進行している。

② 将来的に診療報酬支払基金に移行することを視野に入れる。

#### 8. 不適切な広告の是正

① 厚労省が昨年9月、全国の柔整・あはきの施術所と無資格業者の看板や広告の実態調査を実施。

② 本年5月10日「あはき柔整の広告に関する検討会」が厚労省で開催。

③ 医科の広告ガイドラインを参考とし、実態調査を基にガイドラインを作成しウェブサイトの広告についても「ネットパトロー

ル」による規制をかけることを検討する。

#### 9. (仮称) 機能訓練指導員協会設立

○各業態で機能訓練指導員として統一した基準を確立。

① 本年5月25日より日本医師会、日本看護協会、顧問議員、日本鍼灸師会、全日本鍼灸マッサージ師会、日本あん摩マッサージ指圧師会へ協力また参加いただくための説明に廻った。今後、理学療法士会、作業療法士会を廻る予定。

② 各業態で認定講習会を既に開催しており、日整では今年度より全整連等加盟の個

人契約柔整師にも幅広く受講出来るよう規定改正を行った。

#### 10. 柔整連絡協議会設立

○本年、3月29日、日整と全整連が発起人となり日整会館に個人契約29団体を集めた。

① 目的は大同団結ではなく「柔整業界平成の危機」を回避するべく実施される制度改革に向けての理解と協力を求める事。

② 今後、情報共有するべく「柔整連絡協議会設立」を呼びかける。

③ 本年8月1日第1回設立総会を開催し17団体（会員総数8千人）が加盟。

## 腰痛予防研修会の講演について

南信地区 諏訪ブロック 矢嶋 大輔

平成30年9月11日（火）13時より茅野市役所8階大ホールにて諏訪圏域介護保険指定事業者連絡協議会研修会が開催され、諏訪ブロック会員が腰痛予防について講演しました。



講演の経緯としては、諏訪ブロック会員を通じ上記の協議会より、介護の職場において腰痛予防対策の普及を図る目的で開催する「腰痛予防研修会」で講演の要請を頂き、諏訪圏域6市町村（岡谷市・諏訪市・茅野市・下諏訪町・富士見町・原村）の介護保険指定事業者を対象に講演する運びとなりました。

講師を受けるにあたり、介護現場で働く職員の方々は腰部にどのような負担がかかっているか、実際に現場の様子を知りたいと要望したところ施設見学の機会を頂き、8月9日に、介護老人福祉施設特別養護老人ホーム「ふれあいの里」（茅野市）を諏訪ブロック会員6名で訪問しました。電動ベッドや浴槽などの最新設備を拝見し、職員や入所者、利用者の方々の身体の負担を減らされていることを学びました。一方で現場の介護福祉士の方からは「職員の多くは腰痛持ちでコルセットを着用している」とのお話や、「トランス介助等の際は、入所者、利用者の方々や時間を優先して、自分の腰への配慮

が後回しになることが多い」というお話があったり、実際にトランス介助しているところを見学させて頂いて、想像以上に重労働のうえ、腰に負担のかかる作業が多い介護現場の一端を垣間見ました。

また腰痛は特定の作業より、ちょっと物を取ろうと屈むなど何気ない動作で発症するケースが多いとの話もありました。

研修会当日は、始めに原諏訪ブロック会長の挨拶に続き、講師と運営役員として協力した会員5名が自己紹介をしました。その後、野口邦治会員より「腰痛予防対策講習会—柔道整復師の視点より—」と題して講義を40分ほど行いました。



講義では施設見学で学んだことを参考に、日ごろ接骨院・整骨院にも介護関係の方が治療に来られることが多い「骨や筋肉の異常が原因となる腰痛」を主に取り上げ、介護現場において腰への負担を減らすための姿勢や動作等について発表がありました。

特にトランス介助で足に体重をかける際に、踵ではなく爪先（母趾球あたり）に重心を置くことで足首や股関節をスムーズに動かせることで腰の負担が減る説明がありましたが、これに

については介護センター花岡様（下諏訪町）にご協力頂いて、介護ベッド等をお借りしベッドサイドでの起き上がりの補助や車椅子への移乗時における足元、爪先への荷重のかけ方等を撮影した動画を参加者にご覧頂いたことで理解を深めて頂けたのではないかと思います。

講義の後は質疑応答、休憩をはさんで、原諏訪ブロック会長より、腰痛を抱えての介護業務で負担を減らすためのポイントについて、実技を交え25分ほど説明がありました。

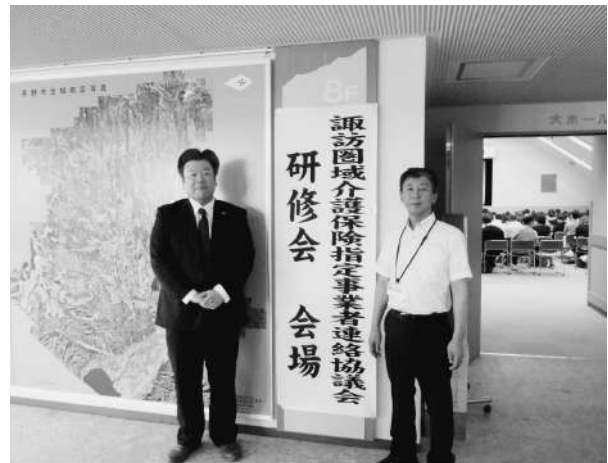


参加者の中からモデルとして2名の方にご協力をお願いし、①コルセット装着のポイント ②腰痛軽減また予防のストレッチ ③トランス介助の際、腰への負担を軽減する呼吸法 ④母趾球を意識することで重心を安定させられることを実際に行い、その効果や変化を参加者にご覧頂きました。

研修会には、諏訪圏域145の事業所から226名の参加者があり、熱心にご聴講頂き、質疑応答の時間には諏訪圏域介護保険指定事業者連絡協議会会長で医師でもある池田輝明様より「腰痛の際には接骨院や整骨院に行き、相談されるのも良い」と柔道整復師を評価するご発言を賜る

こともできました。

また参加者の皆様に講演の感想や、腰痛に関するアンケートを作成しましたが、後日主催者より集計結果と合わせ、御礼とともに「今後も介護保険事業に力を貸して頂きたいため、懇談の機会を考えています。」と次につながる嬉しいお話も頂くことができました。



アンケートにつきましては、講演自体に対して3割はやや不満、不満足と課題もありましたが、満足、とても満足が7割近かったことは苦勞が報われた思いになりました。その他についても今後のために分析し役立ててまいりたいと思いますが、参考までに掲載しますのでご覧下さい。

今回の講演を通して感じたことは、介護保険に携わる方々に腰痛予防のヒントや柔道整復師のことを理解して頂く良い機会になったと思います。

最後に、初めての講演依頼であり準備も短期間のなか無事に終わることが出来ましたことにつきまして、お力添えを頂きました全ての皆様に、心より感謝と御礼を申し上げます。

平成 30 年 9 月 11 日

参加者各位

諏訪ブロック柔道整復師会

諏訪圏介護保険指定事業者連絡協議会研修会

## ＜アンケートのお願い＞

本日は、ご聴講頂き誠にありがとうございます。

当会は今後も介護サービス事業所職員皆様の健康維持を目的に、より良い情報提供に努めて参りたいため、お手数をおかけいたしますがアンケートにご協力をお願いいたします。

＜該当するものに、○または✓をご記入下さい＞

性別 男性・女性

年代 10代・20代・30代・40代・50代・60代～

お住い 岡谷市・諏訪市・茅野市・下諏訪町・富士見町・原村・他の市町村( )

1.本日のテーマ「腰痛」について、ご回答ください。(複数回答可)

①経験したことがない ②以前に経験した ③現在、腰痛がある

2.1で①とご回答頂いた方に伺います。特に心がけていることがありましたらご記入ください。

3.1で②③とご回答頂いた方に伺います。(複数回答可)

業務に支障はない 業務に支障がある 腰痛は離職の動機になり得る

4.本日の講演内容はいかがでしたか？

とても満足 満足 どちらでもない やや不満 不満足

5.腰痛になったとき接骨院・整骨院の利用について、ご回答ください。

利用している 利用したことがある 利用してみたい どちらでもない 利用しない

6.柔道整復師(接骨院・整骨院)に望むことについて、ご回答ください(複数回答可)

腰痛を含め、けが予防のアドバイス 健康について地域で講習会の開催

医療や福祉との連携 疲労の回復方法の指導 筋力増加、健康維持の方法や体操指導

その他( )

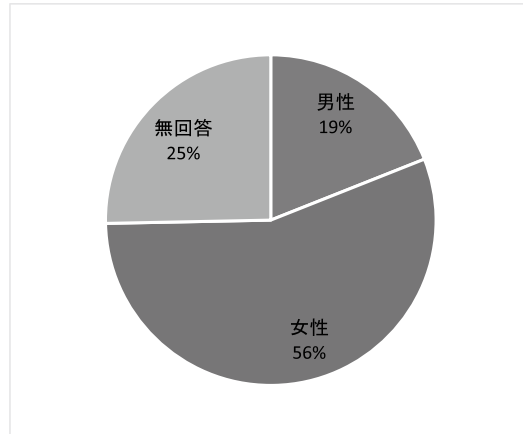
7.本日の感想や今後、希望する講座などあればご記入ください。

ご協力ありがとうございました。

諏訪圏域介護保険指定事業者連絡協議会研修会 アンケート集計

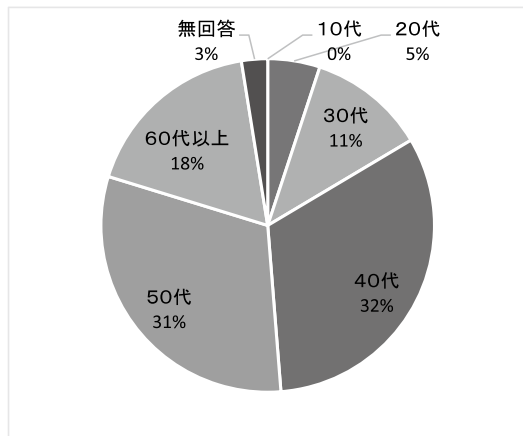
性別

年 代	人 数
男性	30
女性	88
無回答	40
計	158



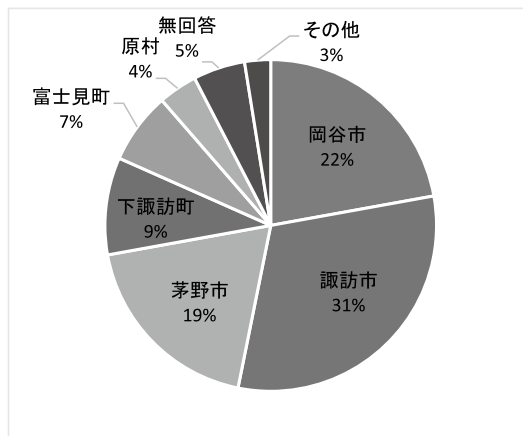
年代別

年 代	人 数
10代	0
20代	8
30代	18
40代	51
50代	49
60代以上	28
無回答	4
計	158



住所地

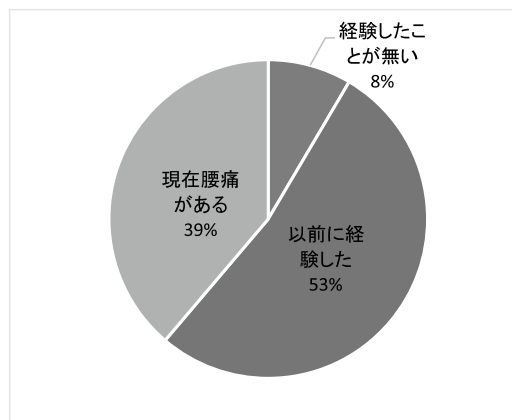
市町村名	人 数
岡谷市	35
諏訪市	49
茅野市	30
下諏訪町	15
富士見町	11
原村	6
無回答	8
その他	4
計	158





## 1. 「腰痛」について(複数回答)

	人 数
経験したことが無い	14
以前に経験した	87
現在腰痛がある	64
計	165

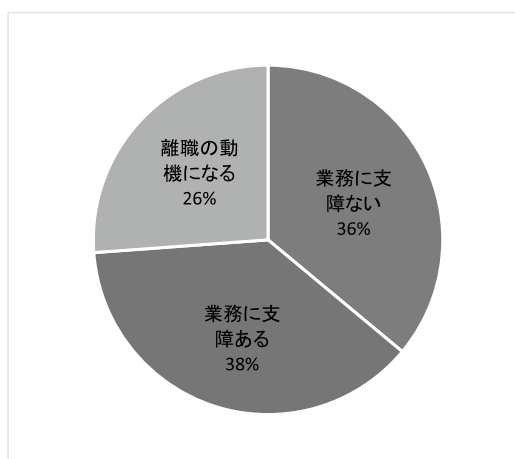


## 2. 腰痛経験のない方への質問、特に心掛けていることはありますか

- ・姿勢に気をつけている。
- ・長時間同じ姿勢をとらない。
- ・ストレッチやウォーキングを行っている。
- ・重い物を持ち上げる時位置に気をつけている。
- ・重心を安定させて移乗行為を行っている。
- ・ベルトを使用し膝を使って介護している。
- ・毎週整骨院に通ったり運動している。
- ・運動し、筋肉量を維持している。
- ・力を入れるときは全身を使うようにしている。
- ・無理をしない。適度に腰を動かす。
- ・急いだ動作を行わない。

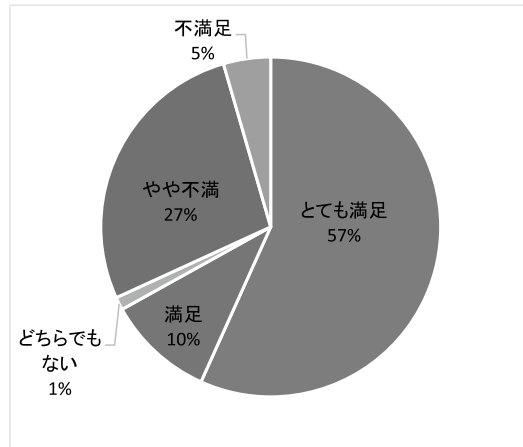
## 3. 腰痛経験のある方、または現在腰痛のある方への質問 (複数回答)

	人 数
業務に支障ない	62
業務に支障ある	65
離職の動機になる	45
計	172



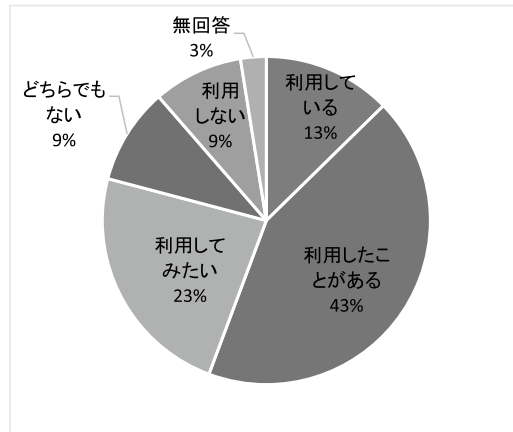
4. 講演内容について

	人 数
とても満足	139
満足	25
どちらでもない	3
やや不満	67
不満足	11
計	245



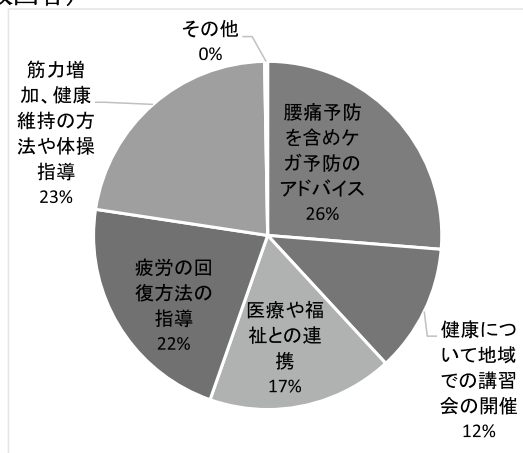
5. 接骨院・整骨院の利用について

	人 数
利用している	20
利用したことがある	68
利用してみたい	37
どちらでもない	15
利用しない	14
無回答	4
計	158



6. 柔道整復師に望むことについて（複数回答）

	人 数
腰痛予防を含めケガ予防のアドバイス	93
健康について地域での講習会の開催	42
医療や福祉との連携	61
疲労の回復方法の指導	78
筋力増加、健康維持の方法や体操指導	79
その他	1
計	354



※その他：料金の負担を考えると利用しにくいと思っている。

## 7. 感想、希望

- ・職種理解ができました。専門職の方からの講義は得るものが多い。
  - ・作業時のスペースにも問題があることがわかりました。
  - ・現状では、過労によるものも多いと思いますが、腰や膝、関節の運動等について教えていただきたい。
  - ・わかっているようでわかっていなかった。特に、母指球や呼吸法について理解しました。
  - ・呼吸法が移乗の助けになることは知らなかった。実践してみます。
  - ・腰痛は介護の仕事が続けていく中で仕方ないこととっていたので、楽にできる方法を教えていただきありがとうございました。
  - ・実技という案内だったので楽しみに参加しましたが、見るだけでストレッチのプリントもなく残念でした。柔道整復師の方が大勢いらしていたので、会場内分かれて実際に行うことができたならよかった。
  - ・コルセットの装着方法が良く理解出来ました。
  - ・まず医療機関に受診し、病気等のチェックを受けてから整骨院にかかる指導をしていただけたらありがたい。
  - ・移乗動作の動画は人間の立ち上がりの原則と少しかけ離れていると感じました。立ち上がりの原則を用いると腰に負担なく利用者の残存機能も活かせると思います。
  - ・私も柔道整復師だが、息を吸いながら等の指導は危険ではないかと感じた。
  - ・腰痛のあるスタッフばかりなので、研修会の内容を事業所で実践してみます。
- (以下、質問)
- ・腰痛予防の効果的な食生活や運動はどのようなものか。
  - ・医療保険適用と適用外で異なる施術があるのか。
  - ・つま先重心になるハイヒールは良いと聞きますがどうでしょうか。
  - ・体をひねる運動は行わない方がいいですか。
  - ・施設での施術は行っていますか。
  - ・接骨院・整骨院での具体的な治療とはどのようなものか。  
(電気をかける、マッサージ、牽引、整体というイメージがあります。)
  - ・高齢者の通院のポイントと治療の終了についてお聞きしたい。
  - ・腰痛のない者が予防のためにコルセットを利用してもよいのか。
  - ・接骨院に通っていると、次に予約を促されいつまでも治療が終わらないことがあるが、そういうものなのか。

# 第6回健康<sup>やわら</sup>柔体操指導者 養成講習会を受講して

南信地区 原 隆

平成30年8月12日（日）駒澤大学 駒澤キャンパス種月ホール（本年3月に落成した開校130周年記念棟：種月館4階）で、第6回健康柔（やわら）体操指導者養成講習会が開催されました。

当日は猛暑の覚悟もしていましたが、曇天で気温は32℃ぐらいだったものの会場まで歩いていると、湿度が高くて汗ばむのが止まぬ不快感に、あらためて長野との気候の違いを実感しました。熱中症の注意も必要かと思いながら会場へ入りましたが、落成間もない履き替え不要のフローリングで綺麗なうえにエアコンも効いていたため、快適に受講ができました。受講者は全国各地より44名が参加していました。

以下が、式次第です。

## 1. 開会

- ・財団挨拶

公益財団法人柔道研修試験財団  
代表理事 福島 統

- ・委員長挨拶

公益財団法人柔道研修試験財団  
健康柔体操推進委員会  
委員長 大藤 忠昭

## 2. オリエンテーション

公益財団法人柔道研修試験財団 事務局

## 3. 講習会

- ・実技指導

健康柔体操推進委員会 委員 粕谷 泰右

- ・グループ別実習

- ・グループ別発表

## 4. 閉会後に記念撮影

今回、受講した動機として、私は地元の諏訪市から委託頂き6名の会員で介護予防教室（健

康柔ら体操教室）を交代で担当していますが、同じ名称で親近感があったのと機能訓練のなかに取り入れられたらという単純な気持ちからでした。ただ健康柔体操については、名称の他には柔道の形をもとに考案されたということぐらいの認識しかありませんでしたが、実技では日頃から介護予防教室を担当され健康柔体操推進委員会の委員で粕谷泰右先生が考案された新しいバージョン中心の指導であったため、高齢者にも可能な構成で大変理解しやすい内容でした。

以下は当日配布されたイラスト入りの冊子から健康柔体操の説明を引用しました。

高齢化を迎えた今日、国民が健康で生きがいを持ち、安心して過ごせる活力のある長寿社会にするため、健康の維持増進を図ることが求められています。

平成3年度、柔道整復研修試験財団の事業として、柔道の創始者である嘉納治五郎先生が考案した『投げの形』『柔の形』『精力善用国民体育の形』をもとに『シルバー柔道体操』が誕生し、翌平成4年度に第1回指導者養成講習会が開催されました。平成10年に『シルバー柔道体操』を『健康柔体操』と名称を改め、指導者養成講習会を5年ごとに開催し今回で6回目の開催となりました。

柔道整復師が、従来の施術に加え予防医学の面でも国民の健康増進に寄与できるのがこの『健康柔体操』です。今回、健康柔体操推進委員会ではより多くの方に親しんでもらおうと、身体の軸（芯）を作ることを中心にアレンジした『健康柔体操2018』を取りまとめました。

今後も、指導者となられた柔道整復師の先生方とともに、国民の健康増進のため、全国へ普

及推進に努めていきたいと存じます。』

特に指導を受けた2018バージョンは、☆振り子体操Ⅰ・Ⅱ☆くゆらせ体操☆3ポーズ体操☆コアステップ体操☆ひねり当て☆呼吸法<みかえり美人体操>の6種類から構成されていますが、特にコアに焦点を当てた内容で柔道の形においても、体の軸（芯）を意識することが重要であることから、軸を作り姿勢を整えていく体操になっているため、説明通り高齢者や運動初心者にも簡易で効果のある体操になっていました。

財団からは、参加者全員に冊子の他に体操を収録したDVDが配布され、普及推進運動と活動報告書提出のお願いがありましたが、実際に受講して時間的にも10分程度で可能なため、介護予防教室のなかでも取り入れやすいかと感じました。

今後は今回の経験を活かせるよう私自身が先ず練習し、介護予防教室の担当時に一部でも取り入れられるよう取り組みながら、少しずつでも普及推進に努力してまいりたいと思いますので宜しくお願いいたします。





## 諏訪地区中体連救護講習会

南信地区 諏訪ブロック スポーツ支援部 伊藤 篤

平成30年9月1日（土）13：30～15：00まで茅野市立東部中学校視聴覚室にて、諏訪地区中体連各競技部活動指導教諭及び養護教諭に対しての救護講習会を諏訪ブロックとして初開催致しました。

今回の開催に至るまでの経緯として、「秋の新人戦には養護教諭が不在のため、各競技部での対応だと不安なため、応急手当の講習会を開いてほしい」と中体連側からの要望で行うことになりました。

当日は中体連側から12名の先生方が出席され、柔整師会側からも12名の会員が参加しました。次第は原隆諏訪ブロック柔整師会会長の挨拶に始まり、参加会員の紹介後に、先ずは座学を20分間行いました。



初開催ということもあり「外傷の応急手当について」「熱中症対策について」「脳振盪について」「ケガの予防について」などの基本的なことのみを、私が代表して講義を行いました。その後の質疑応答では、今年の暑さによる運動系部活動や大会開催等に影響が出ていることもあり、「熱中症について病院へ送る際の判断基準を教えてください」「起きてしまったら何を飲まずと良いか」などの質問が出ました。



続いて行われた実技では、中体連側の先生と会員がマンツーマンとなり持参して頂いた中体連各競技の備品としてある救護バッグの中にある、ウレタン付き金属副子を使用して足関節の固定法、割り箸などを使用した突き指の応急手当としての固定法、固定後椅子に座った状態での搬送法も行いました。その際に救護バッグの中身を意外と見ていないことが解り、養護の先生も中身を確認する良い機会になったと喜ばれておりました。また、「各競技に適した救急用品のリストを作成してほしい」と積極的な要望等も頂き、次回へとつながる手応えも感じられた講習会となりました。



最後にご挨拶頂いた諏訪地区中体連大会委員

長（岡谷北部中学校校長）の池田秀司先生からも、柔道整復師会に対し期待する御言葉を頂き、今後より関係強化をしていけるのではないかと思います。

以下は、参加された先生方から後日頂きました感想や要望等です。

**【内容について】**

- ・良い(2人)。予防のテーピング方法も教わりたい。
- ・医療機関に搬送するまでの応急手当の内容であり、実技の時間もありわかりやすかったです。
- ・シーネは一回も見たことがなかったので今回初めて扱ってみて、良い経験になりました。
- ・突き指のテーピングもやる機会が多そうなので、教えてもらえてよかったです。
- ・講師の先生方が一人一人について下さって、とても丁寧に教えていただきありがたかったです。道具の使い方の説明や実践が役に立ちそうです。
- ・実際の場面を想定して具体的な実習があってよかったですと思います。講師の方々が本当に丁寧にわかりやすくご指導していただき大変勉強

強になりました。

- ・サッカーは負傷者が多いので運び方や応急処置のやり方がわかり良かった。応急処置の知識が増えました。
- ・特に実際に救急バッグを使っただけの講習はとてもありがたかったです。

**【来年度へむけての改善点や意見】**

- ・養護教諭の先生方にも声をかけてもらいたいです。(応急処置としてのテーピングに自信がないという声もあり、このような機会が多くあればいいと思っていたので)
- ・期日の面で可能であれば変えてほしいです。
- ・教研集会の後の日程なら、場所が行きやすい所だとありがたいです。
- ・打撲や足がつったときの対処、足首のテーピングの仕方等教えていただけるとありがたいです。
- ・講師の方々の人数に対し教員が少ないので各競技2,3人集まると良いと思いました。申し訳ない気持ちになったので・・・。

**【その他】**

- ・救急バッグの中身について、大会時にあまり使用しない競技についても見ていただくことができよかったです。



# 『長野びんずる』 臨時救護活動の報告

事業部 松山 治

平成30年8月4日（土）日本赤十字社長野県支部と（公社）長野県柔道整復師会日本赤十字奉仕団が合同で、『長野びんずる』臨時救護活動を行いました。今年で3回目の救護活動となりました。

『長野びんずる』は昭和46年に「市民総和楽・総参加」の理念のもと、長野青年会議所が中心となり企画され、今年で48回を迎えました。今年の『長野びんずる』のスローガンは

「炎」～今集う！皆が燈す感動の大火～です。参加連数は236連、参加人数およそ1万1千人が中心市街地に集まり長野の街を盛り上げました。

救護活動は日本赤十字社長野支部に15：30に集合し打ち合わせを行い、各救護所まで移動し16：30から22：00まで（夜の部担当）行いました。割り振りは以下の通りです。

救護所番号	救護所名等	看護師	救護隊	柔道整復師会
①	本部(トイゴ駐車場)救護所	宮澤三恵子	○米村 久雄 赤塩 利和 荻原 みわ 伊藤 浩一	安藤 恒久 上原 哲
②	セントラルスクウェア駐車場救護所	大庭 貴子	○平賀 望美 久保さつき 古村 幹夫	松山 治
③	錦町通り救護所	島田 里美	○福島 昭彦 岩井 計夫	井出 和光 松本 毅
④	県信本店前救護所	吉澤 光音	○遠山 充 大澤 亘 小口 邦雄	小橋 義彦 塚田 剛
⑤	南千歳セブンイレブン救護所	大坪 千鶴	○堀 千草 岸田 友丈 中村ちはる	宮澤 敬介 久井 真
⑥	イトーヨーカドー前救護所	宮嶋 友香	○白田映三郎 松澤 啓 小林真一郎	丸山 桂 松田 和也
日本赤十字社長野県支部 ○須藤 晴彦 山崎 慎哉 小林 俊彦				

救護活動内容

	人数	症 状	手当内容
①	1	右中足部 擦り傷	カットバン
	2	左肩 火傷	カットバン、コールドパック
	3	意識消失、嘔吐、熱中症	救急車で搬送
	4	鼻出血	止血、安静、ウエットティッシュ
②	1	嘔吐、手足のしびれ	冷却、安静
	2	虫刺され	冷却、洗浄、塗り薬
	3	靴擦れ	消毒、絆創膏貼付
	4	靴擦れ	消毒、絆創膏貼付
	5	微熱	冷えピタ、安静
	6	微熱	冷えピタ
	7	左足擦り傷、出血	洗浄、消毒、絆創膏貼付
	8	左足靴擦れ	洗浄、絆創膏貼付
③	1	転倒し下顎、両膝擦過傷	既に消毒、絆創膏貼付済、冷却
	2	微熱	冷えピタ
④	1	意識消失、失禁、嘔吐	救急車で搬送
⑤		無し	無し
⑥	1	左指スズメバチに刺される	洗浄、圧迫 救急車で搬送
	2	熱中症 気分顔色不快、	冷却シート、アイスノン

今年も日本赤十字社の看護師・救護隊の皆様と協力して充実した救護活動が行われたと思います。

救護所の利用者は6救護所で計17名でした。

重度の症状は熱中症、スズメバチに刺される、アルコールによる意識消失で救急車搬送は3名でした。

皆様、夜遅くまで大変お疲れ様でした。



# 介護予防等推進研修会・報告

中信地区介護班 森本 健雅

平成30年9月3日、長野県総合教育センターにおいて、長野県主催による介護予防等推進研修会が開催されました。

フレイル予防等に関する知識や技術を習得し、高齢者の自立支援に資する効果的な介護予防事業の展開を図る目的で、我々柔道整復師の他、市町村・地域包括支援センター、保健福祉事務所の職員、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、歯科衛生士、管理栄養等の専門職を対象におこなわれ、約150名が参加しました。

長野県福祉部介護支援課課長の挨拶のあと、長野県健康福祉部保険・疾病対策課の永井明子保健推進医監より「オーラルフレイル対策について」と題して講演がありました。

オーラルフレイルとは、口腔機能の低下した状態を指し、虫歯、筋力の低下などの口の不調を放置すると、滑舌が低下して、むせや食べこぼし、栄養不足になり、ひいては社会性の低下、意欲の低下につながるというものです。そのため長野県では「しっかり噛んで食べられる県民を増やすために」と題して①歯科検診の充実、②フッ化物応用の機会の充実、③オーラルフレイル対策の充実に取り組んでいます。

次に東京大学高齢社会総合研究機構・飯島勝矢教授により「“フレイル”予防を通じた健康長寿のまちづくり」の講演がありました。

フレイルとは加齢に伴う予備能力の低下のため、ストレスに対する回復力が低下した状態を表すもので、“frailty（虚弱）”の日本語訳で、2014年から提唱された概念です。身体的脆弱性だけでなく、精神・心理的脆弱性や社会的脆弱性などの多面的な問題を抱えやすく健康障害を招きやすい状態を意味するが、一方で適切な介入や支援により、生活機能の向上可能（可逆

性）な状態象を指します。フレイルは健康と介護の中間の時期で、多面的であり、様々な機能に戻せる段階、可逆性を特徴とします。

具体的な方法としては「柏スタディ」という5万人のデータベースから様々なエビデンスを取っています。その中で自治体との協働による市民主体の活動をおこなっています。まず地域で専門職による「トレーナー」が、市民からなる「サポーター」を養成し、サポーターの指導の下で、栄養、運動、社会参加を軸とする包括的フレイルチェックを行い、そこに集うことから、気づきの場へ意識を変えていこうという活動をしています。

興味深いデータでは、サルコペニア（筋肉減弱症）では、不活発（廃用）は思ってる以上に筋肉を弱らせ、2週間寝たきりの生活をしていると、実に7年分の筋肉を失うそうです。サルコペニア予防に対して、運動、栄養、社会参加、それぞれを行った場合、3つすべてを行った群が当然一番リスクが低くなり、3つとも行わない群が高くなりますが、運動のみを行って、他の2つをおこなわなかった群と、栄養と社会参加を行って運動を行わなかった群は、ほぼ同じ数値となっていて、運動以外の2つがいかに大事かを表しています。（孤独は肥満より健康に悪い）このことはフレイル予防に対しても同じで、人とのつながりが重要だという事です。また〔BMIパラドックス〕と〔新型栄養失調・（タンパク質摂取量の低下）〕があり、中年ではBMIの数値が高いほど総死亡率のリスクは上がりますが、高齢者（65～79歳）では数値が高い人より、痩せ型（低BMI）の方が総死亡率が高くなるようです。

最後に講演出席者全員で「フレイルチェッ

ク」の実技を行いました。「一つは指輪っかテスト」で、両手の母指と示指で輪っかを作って自分のふくらはぎを囲む、という方法です。これはサルコペニアの指標となる、下腿筋の筋量を測るもので、1両手でつかめない、2ちょうどつかめる、3隙間ができる、の3つに分け、隙間ができるものは、筋肉量が減少している（サルコペニア）の可能性が高いというものです。もう一つは、「イレブンチェック」というチェックシートで、栄養、口腔、運動、社会性・こころ、について11問の問いに、(はい)には青いシールを貼り、(いいえ)には赤いシールを貼っていきます。赤いシールが多いほど、フレイルのリスクが高いこととなります。設問は本人の主観によるものが多く、自分のウイークポイントに気づき、意識を変えて行動するだけでマイナスをプラスにできるような内容

になっています。

飯島教授は全体を通して、フレイル対策の3つの柱を上げて1、栄養（食、口腔機能）2、身体活動3、社会参加（趣味、ボランティア）これらの三位一体の重要性を説かれています。行政やそれぞれの専門職が横のつながりを持って取組み、市民も参加して多面的に、継続性をもって取り組むことによって健康長寿の街づくりを進めることができると話されていました。

「フレイル」という言葉は、一般にはまだあまり認知されていませんが、古くは「メタボ」最近では「ロコモ」が広まったようにこれからは「フレイル」が一般に使われるようになるのではないかという事で、我々も介護予防に携わる中で取り組んでいく必要があると感じました。



# 災害復興支援チャリティー 第45回日整親善ゴルフ静岡大会

副会長 酒井 正彦

平成30年9月16日（日）静岡県柔道整復師会主管の第45回日整親善ゴルフ静岡大会が静岡県伊豆の国市の大熱海ゴルフクラブで全国から116名のゴルフ愛好家が参加し開催された。

長野県からは、西條春雄会員、峯村富子会員、西條賢治会員、野本真一会員、井出啓男会員、柏木久明会員、石坂秀司会員、柳原博史会員、酒井正彦会員の9名が参加した。

当日は、スタートから霧に悩まされる中、長野県選手団は、上位4名のネットで競う団体戦で、4名のグロス合計では1位だったもののハンディに泣き、栃木県に連覇を許すも準優勝と健闘しました。

また、60歳以上のグロスの部でも、酒井正彦会員が優勝、柳原博史会員が準優勝、野本真一会員が3位と表彰台を独占する活躍を見せた。

この大会は、災害復興支援チャリティーを兼ねた大会であり、チャリティー金120,500円は日本赤十字社静岡県支部に寄託することになり、(公社)静岡県柔道整復師会の小澤喜一会長に手渡されました。

参加者は、他県の会員と情報交換をしながら和気藹々のプレーを楽しみ、有意義な1日を過ごしました。





# JIMTEF災害医療研修 ベーシックコースに参加して

南信地区 尾曾 友美

平成30年9月22日・23日の2日間東京のJICA本部にて開催された、上記研修会に参加させて頂きました。

近年、甚大な被害のでる自然災害が続いて起きていますが、いざ自分の周りで起きた際に柔道整復師としてどのような貢献が出来るのか、どの様に関わっていけばいいのか、実際の活動内容などを知ることができたらと思い参加させて頂きました。

今回の研修は講義形式と8～9人の他職種混合のグループ演習で行われ、1日目の研修では、「東日本大震災・熊本地震におけるDMATの活動」「災害医療概論」の講義、「災害派遣～大規模災害発生から急性期の対応」「避難所運営ゲーム(HAG)」のグループ演習。2日目の研修では、「避難所アセスメントの基礎」「災害時のメンタルヘルスケア」「災害と栄養」「災害医療の実際～熊本地震～」の講義、「非常食の実際」「災害と生活機能」のグループ演習と盛りだくさんの内容で行われました。

研修が行われた日は、北海道胆振地震の発災から2週間程経った頃の研修であったこともあり、研修前日に救護活動から戻られ講義にあたって頂いていた講師の方々も多くいらっしゃり、生々しい被災地の情報なども織り交ぜてお話をしてくださいました。

また、グループの中にも実際に広島の高雨災害にて救護活動に参加された方や、岡山の豪雨災害にて、避難所の運営、救護活動に参加された方々がいらっしゃり、グループ演習の中で、実際に使用した資料や、現場の写真などを見せて頂く機会があり、災害現場の緊迫した様子を感ずる事が出来ました。

1日目の「災害派遣～大規模災害発生から急

性期の対応」の中で、「自分が災害地に派遣される事になった際の派遣形態にはどんなものがあるか」という演題のもと、グループ内で話し合い、さまざまな医療専門職による救護活動の団体がある事を知ることができましたが、柔整師会から派遣されるDJATなど、略語だけを言われただけではどんな事をしてくれる団体なのか直ぐに理解し、活動をお願いすることができないとの事でした。被災地では「各団体の相違やポリシーを配慮している余裕はない」というお話を講師の方がしてくださり、実際に被災地に向かうことになった際に柔道整復師とはどういう資格であるのか？何が出来るのか？を直ぐに理解してもらえるのか疑問に思い、もっと柔整師の中でも災害時に出来る事・できない事を把握してアピール出来る様にして行くべきだと感じました。

2日目の最後の「災害医療の実際～熊本地震～」の講義では各医療団体の先生方が、熊本地震の際の救護活動の様子や今後の課題などをお話してくださり、その中で日本柔道整復師会の特別諮問委員の隈本圭吾先生が実際に熊本地震の際救護活動をした時のお話をしてくださりました。以前、実際の救護活動の際に現場に行っても柔道整復師とは何が出来る団体なのか直ぐにわかってもらえず、スムーズに救護活動に参加出来なかった経験があったこと、その経験を踏まえて熊本地震の際には、「柔道整復師とはどんな団体？」がわかる自己紹介文と名刺を持参し、被災地の施設長や各医療団体への挨拶の際に渡したことで、スムーズに救護活動に参加出来た事や、余震が続く中、公民館のロビーでの鎖骨骨折の整復・固定の様子などをお話頂きました。

この2日間の研修を通して感じた事は1人で災害地に赴いたとしても、救護活動がスムーズに行えるわけではなく、組織的に救護活動に赴いた方が救護を受ける側の行政や他の組織との連携が取り易く、スムーズな救護活動が可能になるということです。また、救護活動に赴く組織がどのような支援が出来るのかを明らかにし、

日ごろからの準備をしていくことが必要であり、緊急時の連絡手段や、組織作り、救護技術の研鑽と自然災害への意識を高めていく事が重要であると感じました。ここで学んだ事を基に日頃より、救急法・応急処置方法等を復習する場に今後も積極的に参加していきたいと思えます。

# 南信地区学術大会・学術講演会 (市民公開講座)

南信地区飯伊ブロック 学術部 石原 尚幸

平成30年11月25日（日）飯田市「マリエール飯田」にて南信地区学術大会・学術講演会（市民公開講座）が開催された。先行して午前9時開会した学術大会の会員発表「自由テーマ」に対し3名の会員が発表を行った。

第1題「柔道整復師が介護事業に参入した一報告」では秋山友彦座長進行により諏訪ブロックの濱ひろみ会員が飯島地区ふれあいサロン及び清水四区いきいき体操教室の参入を報告。

昨今の高齢化社会に向けての観点で参入をきめた事業では初めに測定を行い、ストレッチ、体操、音楽、シナプソロジー、健康かるた、脳トレなど取り入れ飽きないように行われていた。

年々衰えていく身体能力を維持でき、アンケートを取り有効度を客観的に評価できたが、今後の課題に向けての検討もされていた発表であった。

第2題「膝蓋骨骨折の症例報告」では清水仁美座長進行により上伊那ブロック佐藤光洋会員が膝蓋骨骨折6例を超音波画像と共に検証し特徴、経過等を報告。

6症例での特徴は関節内血腫、膝蓋靭帯の肥厚及び新生血管、関節拘縮の発生がみられた。固定しながらでも早期に荷重させることが拘縮を残さないために必要だが完全骨折が転位を起こすと手術に移行するためレントゲン撮影等で骨折面の安定等、経過をみないと危険な骨折といえる。加えて超音波診断は病状判断に特に有用であったとの内容であった。

発表後、固定期間、荷重期間等の質問がとんだ。

第3題「腰痛の機能的分類方法と各種運動療法」では、田中兼次座長進行により飯伊ブロック小池輝宗会員が非特異的腰痛の病態を適切に評価し最適な治療方法を徒手により分類した。疼痛の出現する動作に徒手にて制動を加え分類及び治療に用いた。①椎間板性、②椎間関



濱ひろみ会員



佐藤光洋会員



小池輝宗会員



節性、③仙腸関節性、④筋性、⑤混合性腰痛の5種類の分類を報告。

腰痛に対して運動療法は非常に多くただ闇雲に、行うだけでは結果は出にくい。病態に合致運動療法を選択することが腰痛を軽減するカギであるとの内容で、会員にも試せる内容であった。発表後にアプローチの実演が行われた。

時間の遅延なく学会は終了し一般聴講者も参加した学術講演会が開かれ、泰阜村在住で飯能靖和病院（埼玉県）リハビリセンター長の本田哲三先生を講師役に、高次機能障害とその患者や家族を取り巻く環境について講演を行っていただき理解を深めた。

病気や交通事故などさまざまな原因で脳が損傷し知的な機能に障害がおこる「高次機能障害」について理解を深める機会にしようと公益活動の一環として実施した講演では一般の方23名、会員64名計87名が参加した。

講演では映像を交えて症例や患者さんの声を

紹介。本田先生は「外見からは分かりにくく、周囲の理解を得にくいため、患者さんと家族の負担は大きい」と指摘した。

また、社会のデジタル化の進行で文字でのコミュニケーションやPCを使った仕事ができないことから、患者さんの多くが就職できなかったり失業している現状を伝え「治療やリハビリだけでなく環境を整えることも大切だ」と呼びかけ一般の方にも判り易くご解説いただいた。

講演の中、患者さんを抱えたご家族の出席もあり、質問も多数とんだ。ご家族向けの対応方法、注意喚起等も丁寧ご解説いただき、大変勉強になった。

講演会終了後、講師の本田哲三先生にもご参加いただき懇親会が盛大に開かれた。

最後に今回講演会・学会を実行、ご協力いただいた先生方に尊敬の念と深い感謝を申し上げます。



本田哲三先生



## 第2回長野県柔道連盟理事会

スポーツ支援部部长 保尊 伸昭

行事名 長野県柔道国体予選・第2回長野県柔道連盟理事会 (公社) 長野県柔道整復師会から  
開催日 平成30年7月1日(日) 11時00分 6月24日 日整全国少年柔道大会長野県予選会  
開催場所 小諸市武道館 においてご協力を賜ったことのお礼と来年も引き続きお願いしたい旨の要望  
出席者 保尊伸昭 (柔整理事)

## 第3回長野県柔道連盟理事会

スポーツ支援部部长 保尊 伸昭

行事名 第3回長野県柔道連盟理事会 来年度年間計画策定  
開催日 平成30年12月1日(土) 14時30分～ 第28回(公社)長野県柔道整復師会柔道大会  
懇親会 15時30分～ 6/23(日)  
開催場所 メトロポリタン長野 県立武道館開館記念イベント(柔道教室)を平成32年3月に予定  
出席者 保尊伸昭(柔整理事)  
田中健一(評議員)  
内山富之(顧問)

# 第1回フレイル予防推進検討会・参加報告

保険部介護班長 伊藤 睦

平成30年11月9日（金）午後1時30分～3時頃まで、長野保健福祉事務所3階にて長野県健康福祉部・健康増進課主催による『第1回フレイル予防推進検討会』が開催されました。日頃の柔道整復師としての業務はもちろんですが会での介護予防事業を行っていることもあり健康増進課・健康づくり推進係りからの要請で参加致しました。

この検討会の目的は、高齢者の健康支援に関わる専門職等がフレイル予防の重要性を理解し実践活動に活かすためにより効果的な支援のあり方を検討していきます。

その検討内容は、①長野県の高齢者の実態について②地域の実態とフレイルの要因について③フレイル予防に関する関係者の役割と取組④フレイル予防に関する適切な介入と支援について⑤長野県におけるフレイル予防対策の推進について

予定では2回の会議で話し合っていきます。また、会議構成は医師会・歯科医師会・薬剤師会の三師会をはじめ①有識者②保健医療福祉関係者③高齢者支援関係者④市町村担当者⑤（公社）長野県柔道整復師会⑥その他となっております。今回は19団体19名、担当者9名の総勢28名での会議になりました。

今回の議題は①「長野県の高齢者の実態とフレイル予防について」②「関係機関等におけるフレイル予防の取り組みについて」③「フレイル予防に関する関係者の役割と取組について」④その他質問等について話し合いました。

①では高齢者の生活状況の報告で低栄養傾向の割合やたんぱく質不足者の割合が増加している事や、歩行数の平均値は全国値より低く要介護の比率は全国より高い事、また高齢者の社会参加の状況では6割以上の人が参加したいと思

っているが現状ではなかなか難しいと言う事などあらゆる高齢者のデータ報告がありました。

②と③の議題では各団体の現在の取り組みや課題、また今後の取り組みや要望等の報告がありました。長野県柔道整復師会としては、介護予防事業の現状と内容を報告しその中で「痛み」がわかっているからこそその指導をしていることや、運動器だけでなく認知予防や口腔体操の指導も行っている現状を報告いたしました。

また今後の取り組みや要望として、通所型・訪問型等の介護予防教室の推進と特にフレイル予防においては医療と介護が一体となることが重要なので、接骨院・整骨院の施術室の中で施術と機能訓練が一体となって出来るような体制になれば柔道整復師の職能がもっと発揮できるという事も要望致しました。

この会議では高齢者の健康支援に関わる専門職の人々が集まって行いましたが、我々の日々の業務も現在行っている介護予防事業活動もフレイル予防に大変役立っているという事は言うまでもありませんので、今後も我々の職能を社会にもっと認知していただき活躍できる場所を増やしていかなければいけないと思いました。

今回の検討会では私たちの活動を知って頂く事ができたと感じていますので更に今後につなげていきたいと思えます。会員の先生方のご理解・ご協力を今後とも宜しくお願い致します。

※フレイル

体がストレスに弱くなっている状態のことを指しますが、早く介入をすれば元に戻る可能性があります。高齢者のフレイルは、生活の質を落とすだけでなく、さまざまな合併症も引き起こす危険があります。（公益財団法人 長寿科学振興財団より）

# 第27回日本柔道整復接骨医学会学術大会

学術部長 西條 賢治

平成30年11月17日（土曜日）・18日（日曜日）の両日に、愛知県産業労働センター（ウインクあいち）において開催された。

大会テーマ：『佛手仏手』

一柔道整復師が患者様のためにできること一  
特別講演

『仏の心』と『柔（道）の心』に共通するもの  
一柔道はなぜ柔道整復師に欠かせないのか一

特定医療法人米田病院理事長・院長、  
学校法人米田学園学長 米田 實先生

温かい優しい手で包まれているような感覚が曇みの匂いと共に今も鮮明によみがえってきます。これは幼少期に祖父松三（柔道九段・柔道整復師）に柔道の手ほどきを受けた頃の記憶です。しかし近年、マスコミや世間では柔道は危険なものという捉え方が一般的になってきました。国内の柔道人口も減少の一途が続いています。しかし加納治五郎師範が創設された柔道は本当に危険なものなのでしょうか。もしそうならなぜ柔道は世界にこれだけ普及したのでしょうか。私はそれらの疑問を解いて行く過程の中にこそ、柔道整復師がこれからの日本社会で生き残っていく真のカギがあるのではないかと考えています。

父一平は、「仏手仏心」という標語を唱えていました。これは外科医の理想であると言われる仏語の「鬼手仏心」の鬼を仏と言い換えたものですが、外科医と違って手術も薬も使わない徒手空拳の保存療法を、慈悲深い「仏の心」で行うことが大切という意味に解釈できます。この6月に「柔道は柔（やさ）しい道である。」

という本（ベースボールマガジン社）を上梓しました。その中で、加納師範の「柔（道）の心」と、聖徳太子の「和の心」、そして、WHOの「ケアの概念」の共通性にも触れてみました。この3者に時代を超えて共通する精神の中にこそ、これからの柔道整復師が目指すべき道があるのではないかと考えております。日本各地にはその心を持つ優れた柔道整復師が存在して地域の方々の信頼を得ています。私の今の診療もそうした柔道整復師の方々に支えられています。

また、祖父松三、父一平に続く当院の保存療法重視の流れの中から、今回は、専門医学会でも一定の評価を頂いている、アキレス腱断裂に対する早期加速リハビリによる治療法と、早期の腰椎分離症に対する段階的スポーツ復帰についても触れてみます。

以上が特別講演の趣旨です。

毎回接骨医学会に参加して思うのは、自分が発表に興味があるのに会場が別で同時間の発表になっていると、聴講できないことが残念です。時間の都合ではないかと思います。学会誌において、もう少しフォローできればいいと思います。

さて今、「柔道整復師の柔整学が成立して修士課程も博士課程もあるというのに、どうして接骨医学会なんでしょう？」という会員の意見ももっともであります。『学会が柔整学の最先端の学問の場として存在するとするなら柔道整復学会であり、その独自性を主張すべきだが、業界として「柔道整復学」を重視していないというのを公言しているようなものだ。』という意見もあります。やはり独自性をどこに見

出すかが、これからの問題であると思います。外傷を扱うのは外科も整形外科もあるのです。でも患者さんは、柔道整復師を選んでくる。今回の接骨医学会の特別講演の米田實先生のお話の中にもヒントがあるように思います。

若い会員の発表を聞いていて思うことは、自分も年をしてきたなとつくづく思います。自分も38年前に開業して、骨折・脱臼も結構患者さんが負傷して来られ経験させていただきました。同意医師にも恵まれ、そして普通に対応ができたことを幸せに思うこの頃です。

どこの研究会・学会に参加しても、日頃自分

だけ苦勞していると思ったら結構他の先生方も苦勞していることを知る。あるいは若い先生方の発表を聞き大変に刺激になります。一人でも多くの会員の皆さんの参加を期待します。

名古屋方面に出かけるときにいつも思うのは、「特急しなの」に乗っている3時間がとても長く感じます。今や新幹線で名古屋から福岡まで3時間15分位でつくのだから。困るのは名古屋発の最終が19時なのが大変不便です。高田保会長毎月会議のあるごとにご苦勞様です。つくづく思います。

## 第23回醍醐敏郎杯全国少年柔道錬成大会

中信支部スポーツ支援部長 高原 祐樹

去る11月18日、松本総合体育館メインアリーナに於いて第23回醍醐敏郎杯全国少年柔道錬成大会が行われ、全国各地から日頃厳しい練習に明け暮れる選手達が松本に集結しました。これぞ全国大会！早朝から会場内は物凄い緊張感に包まれておりました。私は初めて小学生低学年の部において審判をやらせて頂きましたが、技の勢い、試合運びにとっても迫力があり驚かされた試合がたくさんありました。

小学生の部は男女混合で行なわれるわけです

が体格差はあったとしても、女子であっても大きな男子選手に向かっていく姿はとても輝いておりました。

今年の大会においては大きな怪我もなくスムーズな試合進行となり毎年レベルの向上を感じるものであります。

最後になりなしたが、連日の運営に携わった先生方、審判、補助員の皆様に心より感謝を申し上げます。

## 第28回柔整連合研究会学術大会に参加して

学術部長 西條 賢治

平成30年7月1日（日曜日）お茶の水・全電通労働会館において柔整連合研究会の主催により上記学術大会が開催されました。昨年に次いで2回目の参加であります。参加団体等については、昨年の報告書に挙げましたので省かせていただきますが、この会は団体登録の研究会であり、公認私的研究会をもとに、柔整連合研究会の設立主旨に賛同した研究会（団体）をもって組織されているものです。

『柔整連合研究会は、「学術の研鑽による資質の向上」を大会のスローガンに掲げ、更に自己意識改革に繋がるモラルの向上が重要と考えている。

今日、柔道整復師の資質が問われるなか、学術に特化した最良の技術実践を目標に活動し続けることが大切であり、特にモラルの向上においては、強い意志をもって、最良な術者としてふるまって頂きたいと切に願っている』と会長の志保井義忠氏は挨拶をされました。会長がモラルに触れたことを異例と思うとともに、全国で起こっている柔道整復師の質・モラルの低下を心配する切実なる会長の思いを感じました。

今回の大会は、足関節周辺損傷をテーマに開催され、特別講演は『足関節、足部の疾患に対する治療方針』と題して、国際医療福祉大学、臨床医学研究センター教授・医療法人財団順和会山王病院整形外科部長、青木孝文先生で足関節に大変に特化していて、足関節を取り巻く靭帯に焦点を絞った講演であり、青木先生は地域の柔道整復師に深いご理解とご指導を賜るとともに医接連携を推進されている方です。

その概要は・・・

『足関節から足部における疾患は、それが外傷性であるなしに関わらず起立歩行動作に支障

をもたらし日常生活障害に直結する。骨折・脱臼などに対する診断と、初期治療を的確に行うことが重要であることは当然だが、治療経過中においても問題点をいち早く見出して、対処を適切に変更してゆくことも大切である。例えば骨折なら、旧来であれば骨が癒合してしまえばそれでおしまいとも考えられがちなものであったが、しかし最近では、骨のみならず、筋肉・靭帯・神経などに支障が生じていて長期間治療を要する症例、交通事故絡みで後遺症の有無が問題になる症例など、一筋縄ではいかない経過をたどる症例も少なくない。症状の本質を見落とさないよう虚心坦懐に患者さんに接する事、経過が不良であるならどこにその要因があるのかを見出す事の重要性をいつも感じている。今回は、足関節と足部の障害をもたらす代表的疾患を復習し、合わせて解剖に目を向けながら、治療法の原則について解説、自分のまだまだ不足しているのではないかと感じられる点など』

そして例えば足関節の靭帯損傷に対して、原因となる靭帯を特定するために造影剤による画像診断まで行い対処しているとの事であり、この先生が身近にいれば幸せだと感じた。

会長講演として、『足関節捻挫の整復』（足部機能形態と解剖的特徴 超音波画像解析を基に）柔整連合研究会・志保井義忠会長が発表された。長年の経験を踏まえた発表でその概要は・・・

『足関節は日常診療で最も多くみられる足部外傷で、柔道整復師は特に注意することなく簡単にその外形上の形態を見過ごし全て同一な症例として固定のみの処置で内反、外反を残存のまま経過するものが多く見受けられる。しかし足関節にみられる多数の靭帯の中で、実際に損

傷している靭帯について正確に患部を観察し判断されているかどうか疑問である。足関節捻挫の治療後に疼痛が遺残する症例に屢々遭遇することを考えると受傷時により正確に判断し的確な施術の必要がある。そのためには各靭帯の解剖的な正確位置と機能についての理解が重要である。足関節は胎児期と乳児期では外反位にある。1歳位前後で歩行開始による荷重とともに順次自矯正されて4歳から5歳となれば中間位となってゆく機序については確認できない。日本人では少年期から青年期にむけて軽度内反位となることが判明している。日常生活動作における正座位や胡座が足部を内がえしとなりこの状態に体重荷重が加わりその肢位に体重が加算されて変化してくるものと考えられる。柔整領域における足関節の損傷の頻度は高い。日本では1日に約12000名がこの損傷（捻挫）を発生していることが推定される。スポーツ競技での発生は損傷全体の25%を占めるとされている。このなかで足関節外側靭帯損傷は、バスケットボール外傷が全体の45%、バレーボール外傷25%、サッカー外傷30%が重傷度の点では他の部位と比較すると軽傷の損傷が多く慎重に対応ができなかった結果として捻挫症状が残存し日常

生活に支障が生じ、さらにスポーツ活動が制限されることもある。また、長時間の運動や歩行により下腿筋群（特に、長腓骨筋）の疲労が蓄積されることで、足関節捻挫が誘発されやすくなることも重要な要因と考えられる。』

理学療法セミナーでは、協賛頂いている日本理学療法器材工業会に所属する伊藤超短波(株)の梶尾和恵様により『超音波の基礎と電流の組み合わせ治療について』と題して講演がありました。

会員発表は、若い会員の発表の場を与えることに意味があるように思えました。内容より発表すること自体が、発表者の経験になるとの考えがうかがえます。そして若い会員の熱心な態度に業界の未来を託すことができると思いましたが、日頃の学会・研究会に出席する長野県の会員の少なさには危機感を大いに感じます。

どんな勉強会に出席しても、無駄な勉強会はないとつくづく思い午前10時に始まり、全てが終わったら午後4時を回っていました。この研究会の運営は会員の自発的なボランティアに支えられているとの事に感銘を受けました。

この会に派遣していただき、公益法人長野県柔道整復師会に感謝いたします。



# 長野県競技力向上対策本部 合同専門委員会 報告

第1回 平成30年6月19日(火)  
第2回 平成30年7月3日(火)  
第3回 平成30年8月28日(火)  
第4回 平成30年10月18日(木)

スポーツ支援部 高原 義勝

2027年 第82回国民体育大会が長野県にて開催されることが決まった。

長野県では2017年12月準備委員会を設置し、基本方針として「長野県の地で選手が育ち、その選手が指導者となって次世代の選手を育成するなど、将来にわたり長野県のスポーツ振興を支える好循環を形成する」ことを目標に掲げ、9年後に迫る長野国体では、開催県としてふさわしい成績を収めるとともに、将来にわたり持続・定着できる競技スポーツの振興を目指し、総合的な対策を計画的に推進するため、県・市町村・教育委員会・競技団体・医科学関係団体の協力を得て、「長野県競技力向上対策本部」を設立した。

本部長は、県知事の阿部守一が務め、本部委員30名・強化対策委員23名・競技専門委員11名・医科学専門委員11名・アドバイザー4名にて構成する。

その中の医科学専門委員の一員として、(公社)長野県柔道整復師会を代表し、参加させていただくこととなった。9年後の長野国体を見据えた壮大な計画である。

5月に設立総会が開かれ、本部会議・強化対策委員会を実施、そこで決定された事業計画に沿って、6月19日に、競技専門委員と医科学専門委員が合同で第1回合同専門委員会が開催された。この中で、上記の設立の目的から概要の説明の後、各自の自己紹介が行われ、具体的な医科学専門委員としての役割の説明を受けた。主に我々医科学専門委員は、競技専門委員と連携し、資料で示された長野県内の各競技の競技

力の現状調査と分析、先催県が実施していた対策の具体的な調査と評価。そのうえで、競技力向上に関わる具体的な計画案の検討と事業の立案を行っていくことになる。

その後、年内に第2回～第4回までの合同委員会が開催されました。

第2回の合同専門委員会では、競技専門委員と医科学専門委員を4分野（組織体制の整備充実・指導體制の確立・選手の発掘育成強化・環境整備）に分け、グループワークにて、各競技団体の現状把握と医科学チームとしてどのようなサポート体制を構築していくか？基本骨子案策定に向けた情報共有が行われました。この中で私自身理解不足と感じたことは、各競技団体によって、選手の育成・指導體制がバラバラで、組織体制も確立されていない競技もあるという事実である。競技人口の少ない競技は、練習環境確保すら難しい競技も存在する。

これらの問題点の情報共有から、練習環境をはじめとする諸条件の整備、競技人口を増やすべく有能な選手の発掘・育成・強化、一貫した指導管理体制の構築など、様々な解決すべき課題が見えてきた。

第3回合同専門委員会では、前半は、競技専門委員・医科学専門委員に分かれ、医科学専門委員として、具体的な支援体制としての骨子案の検討をしていった。

その中で、各競技団体の医科学チームに対するニーズを把握したうえで、具体的なサポート体制を充実させるためにもマンパワーが必要と考え、長野県独自のアスレチックトレーナー認

定制度を創設してはどうか?? という意見が出されていました。

また、最近話題になることが多い指導者のパワハラを防止するためにも指導者自身の育成も急がれるのであるが、過去にも指導者を対象として講習会を開催しても、出席率が非常に低いという現状があり、指導者だけではなく、マネージャーにも医科学分野の知識を広めていき、指導者の補佐として選手と指導者の間に立ってコーディネートしていくことも重要なのでは??等、様々な意見が出されました。

後半は 前回同様 4分野に分かれ、高原が配属されている組織改革分野としては、各競技団体で、選手育成強化の活動拠点を構築、各競技団体に、医科学と連携を図るための担当者を配置してもらう等の意見が出されていました。

第3回合同専門委員会の終了後、懇親会が行われ、行政・競技団体・学校関係者・医療団体が一堂に会して、現場での本音の話を伺うことが出来、それぞれの立場を尊重したうえで、合同専門委員会として、一致団結して選手ファーストで活動していくことを誓った。

第4回合同専門委員会では、過去3回で取りまとめた課題をもとに、大まかな基本計画案が提示され、競技力向上に向けた具体的な取り組みとして、下記が挙げられた。

- 組織体制及び運営体制の整備確立
- 指導体制の確立
- 選手の発掘・育成・強化・確保
- 強化拠点の構築と強化環境の整備
- 各期間における、具体的な目標と取り組みの計画

今後は、基本計画案に沿って、さらに具体的な活動内容の策定と実現に向けて、年明け早々には第5回合同専門委員会が開催される。それ以降も少なくとも2か月に1回は開催される予定です。

今後も、(公社)長野県柔道整復師会の代表として、他の医科学団体と協力し、より良い強化体制を進めるべく、努力してまいります。

会員の皆様の中でも、ご意見やご要望がございましたら、遠慮なく高原までお知らせいただければと思います。

# 第3回日本赤十字社長野県支部・赤十字救護隊・ (公社)長野県柔道整復師会赤十字特殊奉仕団との懇談会

東信事業部長 小林 毅

平成30年7月7日(土)

於 犀北館

長野県 県総合防災訓練 10月に塩尻市

支部合同災害救護訓練 9月に佐久市

・「防災・減災」思想の普及啓発

・各種イベント・スポーツ大会等における  
臨時救護活動の実施

進行 次第  
(公社)長野県柔道整復師会  
北信事業部長 桧山 治

(2) 日本赤十字社長野県支部救護隊からの要望等

特に無し 現在の救護隊員数84名

1. 開会の辞 (公社)長野県柔道整復師会  
事業部副部長 倉科 正

(3) (公社)長野県柔道整復師会赤十字特殊  
奉仕団からの要望等

2. 会長挨拶 (公社)長野県柔道整復師会  
会 長 高田 保

・諏訪湖マラソンの救護復活を要望

・我々の仕事が活かせる救護内容を要望

3. 日本赤十字社長野県支部 事業推進課長挨拶  
須藤 晴彦 様

7. 閉会の辞 (公社)長野県柔道整復師会  
南信事業部長 上原 哲

4. 日本赤十字社長野県支部 救護隊  
北信方面隊長挨拶 米村 久義 様

日本赤十字社長野県支部 救護隊

(公社)長野県柔道整復師会赤十字特殊奉仕団

5. 出席者自己紹介(別紙の記載順で)

との懇談会出席者名簿

6. 議事内容

(1) 日本赤十字社長野県支部からの事業報  
告・要望等

・平成30年度

特殊赤十字奉仕団合同研修会

日時：平成30年4月22日(日)

場所：長野県消防学校

受講者アンケート結果の報告

受講者合計42名

(長野県赤十字救護隊22名、長野県柔道  
整復師会赤十字奉仕団20名)

・災害時緊急支援体制の強化

・主な訓練計画

日本赤十字社長野県支部

事業推進課長 須藤 晴彦 様

事業推進救護係長 山崎 慎哉 様

日本赤十字社長野県支部 救護隊

北信方面 隊長 米村 久義 様

隊員 久保さつき 様

平賀 望美 様

岸田 知丈 様

(公社)長野県柔道整復師会

会 長 高田 保

上松町 高田整骨院

副会長(県事業部長) 安藤 恒久

岡谷市 安藤整骨院

副会長	柏木 久明	中信事業部長	権藤 俊和
佐久市	かしわぎ整骨院	塩尻市	ごんどう整骨院
県理事（県事業副部長）	倉科 正	南信事業部長	上原 哲
安曇野市	倉科整骨院	富士見町	上原接骨院
東信事業部長	小林 毅	長野DJAT 隊長	渡邊 尋
上田市	こばやし整骨院	伊那市	みすず接骨院
北信事業部長	桧山 治	長野DJAT 副隊長	宮澤 敬介
長野市	桧山接骨院	長野市	つましな整骨院



# 北信越ブロック親善ゴルフ大会

IT広報部長 宮下 厚

平成30年7月29日、富山県主催で北信越ブロックゴルフコンペが、太閤山カントリークラブで55名の会員が出席して盛大に行われました。前日28日に富山第一ホテルで前夜祭が行われ、日整の工藤鉄男会長を迎えて行われました、工藤会長より、現在の状況などについて話がありました。29日大会当日は朝から暑く気温が上昇するなか1組目が3コースに分かれてスタートしました、日がたつにつれ気温が上昇しグリ

ーン上では40℃近くになり汗が滴り落ちてパターをすどころではありませんでした、冷たい物がこんなに欲しくなるとは思いませんでした、暑い中でしたが誰一人熱中症にかかることなく全員無事にプレイを終えることができました、我が長野県チームは13名の出席で、表彰式では、全員に何かの商品が配られました。午後4時頃終了して帰路につきました。



# 第42回 厚生労働大臣旗争奪 日整全国柔道大会 第27回 文部科学大臣杯争奪 日整全国少年柔道大会 第8回 文部科学大臣杯争奪 日整全国少年形競技会 平成30年 全国柔道整復師高段者大会

スポーツ支援部副部長 田中 健一

平成30年10月7日（日）上記の大会が東京講道館で開催された。今年は、週末になると台風が襲来し、金曜日から大型で強い勢力の台風25号が日本海側を北上して、遠方から上京したチームは大変な苦勞をされたと思われます。気温も32℃を超えて夏に逆戻りしてしまった。この日の講道館は、日整の大会がタイトに詰まっています、私が観戦できたものに関してレポートいたします。

今年、初めて開催された全国柔道整復師高段者大会は、昇段基準に加点できる、講道館が認めた業種で国内初の大会であったが、長野県会員の出場はありませんでした。

第27回 文部科学大臣杯争奪 日整全国少年柔道大会では、1回戦で四国香川県と対戦。

【結果】 長野県 0 - 4 香川県 1回戦敗退

【内容】 先鋒 鷹野 碧生 — □高木 幌平 次鋒 竹内 皓星 — ○亀山 蒼空  
中堅 高寺 碧生 — ○亀山 羽玖 副将 徳永 右京 — ○松本 晃季  
大将 山本 威吹 引き分け 福嶋 日向

第8回文部科学大臣杯争奪日整全国少年形競技会は、尾崎 準監督、【取】内山 樹選手、【受】柳橋 さよ選手の開示塾チームが出場し、得点64.1点で決勝に進めなかった。

第42回日整全国柔道大会は、1回戦、大阪と対戦

【結果】 北信越東部 1 - 0 大阪 ベスト8に勝ち上がる。

【内容】 先鋒 土屋 樹 引き分け 吉道 司  
次鋒 村山 洸介 引き分け 樋口 真臣  
中堅 岩下 貴士 引き分け 桂 剛  
副将 牛木 幹人（新潟県）○小外刈 平田 和義  
大将 松村 直行 引き分け 小池 正人

2回戦は講道館大道場に移動し、強豪北関東チームと対戦

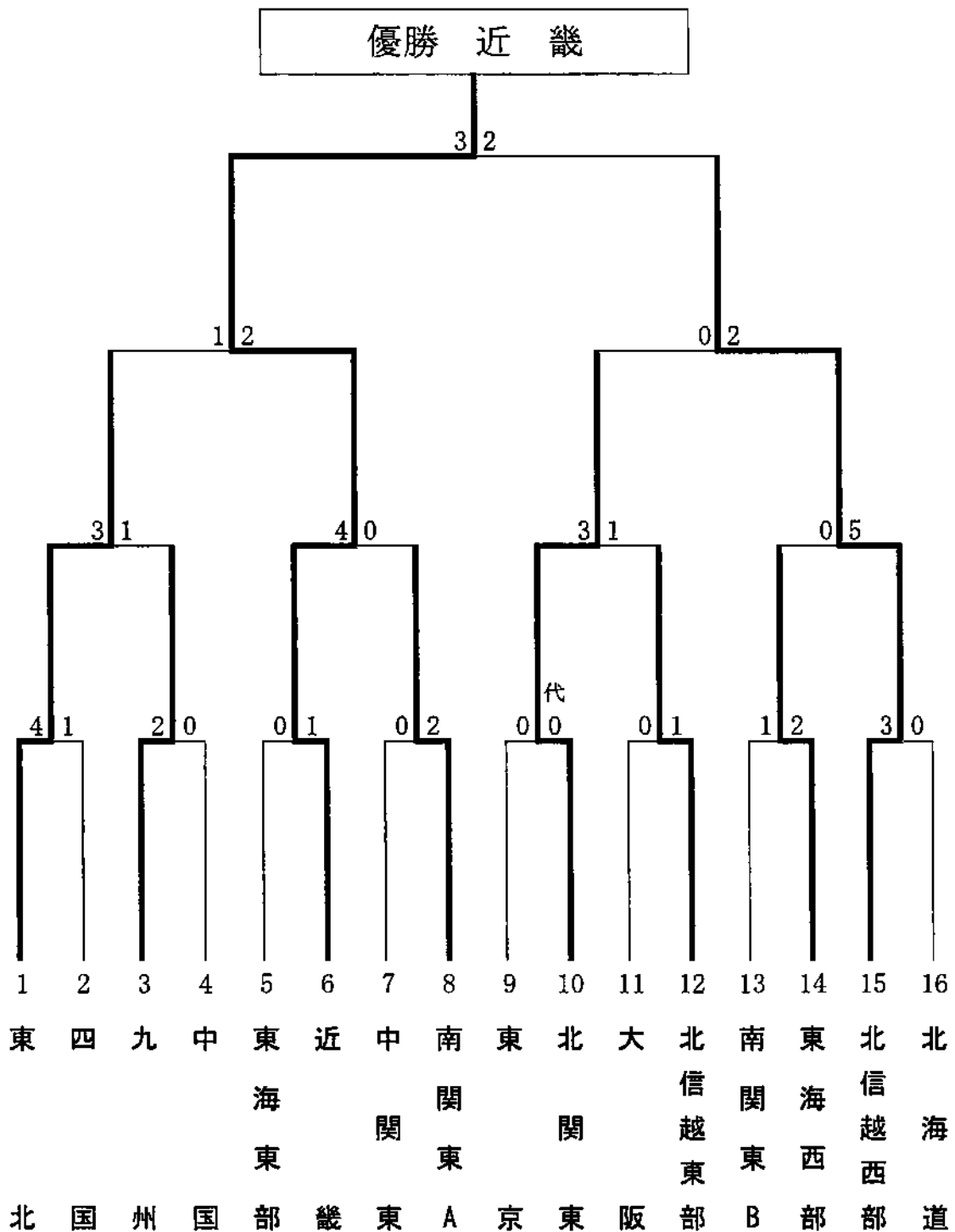
【結果】 北信越東部 1 - 3 北関東 残念ながら、ベスト8で敗退。

【内容】 先鋒 土屋 樹 横四方固め ○刈屋 遵  
次鋒 村山 洸介 引き分け 倉井 康雄

中堅 岩下 貴士 反則負け ○菅野 真貴  
 副将 牛木 幹人 (新潟県) ○合わせ技 根岸 誉和  
 大将 松村 直行 上四方固め ○嶋村 和彦

尚、北信越西部は決勝まで勝ち上がり、近畿チームに大将戦で大逆転負けを喫し、惜しくも準優勝に終わった。近畿3-2北信越西部

## 第42回日整全国柔道大会試合結果



## 第8回日整全国少年柔道形競技会 結果

### 予選

Aブロック 第1試合場

順序	チーム	得点
1	千葉県	68.4
2	静岡県	68.2
3	愛知県	70.9
4	鹿児島県	61.7
5	神奈川県	72.3
6	和歌山県	66.8
7	群馬県	65.9

Bブロック 第2試合場

順序	チーム	得点
1	東京都 B	64.3
2	栃木県	69.5
3	長野県	64.1
4	岡山県	76.1
5	香川県	70.0
6	滋賀県	58.0
7	兵庫県	76.6

Cブロック 第3試合場

順序	チーム	得点
1	石川県	64.1
2	宮崎県	66.4
3	山梨県	61.4
4	東京都 A	68.2
5	富山県	68.9
6	北海道 B	70.9
7	福島県	65.0

Dブロック 第4試合場

順序	チーム	得点
1	青森県	75.7
2	岐阜県	72.5
3	茨城県	67.7
4	秋田県	69.1
5	大阪府	71.4
6	北海道 A	70.5
7	大分県	70.0

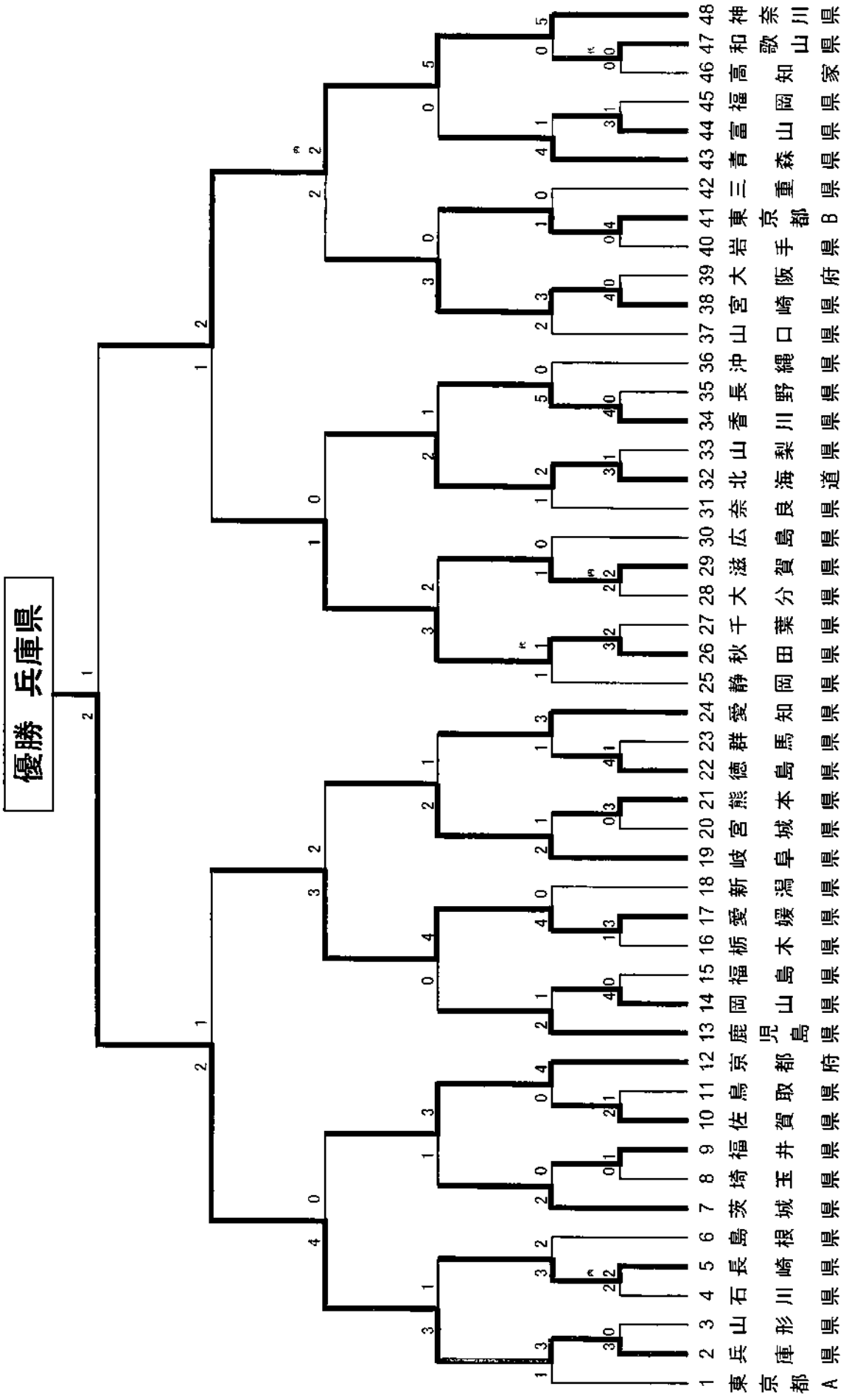
### 決勝

第1試合場

順序	チーム	得点	順位
1	神奈川県	72.7	3
2	北海道 B	71.1	4
3	青森県	75.3	2
4	兵庫県	76.5	1



# 第27回日整全国少年柔道大会試合結果



文部科学大臣杯争奪 第27回日整全国少年柔道大会

優勝	兵庫県
準優勝	神奈川県
3位	愛媛県
	秋田県
敢闘賞	京都府
	岐阜県
	北海道
	宮崎県
フェアプレー賞	石川県
	岡山県
	大分県
	和歌山県
優秀選手賞	山内 煌 (兵庫県)
	吉田 征矢 (兵庫県)
	鍋木 克優 (神奈川県)
	福原 丈一朗 (愛媛県)
	藤井 統司 (秋田県)

文部科学大臣杯争奪 第8回日整全国少年柔道形競技会

優勝	兵庫県
準優勝	青森県
3位	神奈川県
4位	北海道B

厚生労働大臣旗争奪 第42回日整全国柔道大会

優勝	近畿
準優勝	北信越西部
3位	東北
	北関東
優秀選手賞	木村 友慈 (近畿)
	湊谷 知幹 (近畿)
	窪田 和樹 (北信越西部)
	渡部 康光 (東北)
	菅野 真貴 (北関東)

平成30年全国柔道整復師高段者大会

優秀選手賞	
五段の部	山崎 昌司 (富山県)
	木下 正規 (山口県)
七段の部	奈須 開生 (宮崎県)
八段の部	倉井 洋治 (栃木県)



# 平成30年度 独立法人日本スポーツ振興センター学校 安全業務運営会議

保険部長 柏木 久明

標記会議が平成30年11月6日(火) 14時～16時まで長野市生涯学習センターにて開催されました。参加者は学校安全会関係者3名・歯科医師会1名・薬剤師会1名・柔道整復師会1名・県教育委員会2名・小学校校長会1名・中学校校長会1名・高等学校校長会1名・市町村教育委員会連絡協議会1名でした。

議事は次の通り

1. 報告 平成27・28年度運営会議、29年度学校安全会事業報告
2. 意見交換 災害共済給付制度、給付基準、セミナー、事故防止策・活用
3. その他

※会議では柔整整復師側としては福祉医療の給付、学校安全会の給付の可否確認は職務範疇ではありませんので提出書類を求められれば記載しているという事で現状を説明しました。薬剤師会、薬局でも同様との事でした。留意事項として、市町村により「日本スポーツ振興センター」と「福祉医療給付制度」の重複制度は認められない場合があり、その取扱い方法も市町村により異なります。又、負傷の治癒・中止の属する月の翌月11日から起算して2年間に請求を行わないときは、時効となります。

以上

# 平成30年度 中信柔道整復接骨学会

中信地区 吉澤 貴史

平成30年12月9日、松本市駅前会館（歯科医師会館）にて、中信柔道整復接骨学会が開催され、中信地区会員52名、他地区会員1名、一般聴講者6名が参加されました。本年度の会員研究発表は松本北ブロック・松本南ブロック・安曇南ブロックとなり、昨年に引き続き3ブロックの発表となりました。

第1席は松本南ブロック今村頌平会員による『腰痛の症例から医療連携とレッドフラッグサインを考える』の発表がありました。発表当日、今村会員は諸事情により欠席されたため、同ブロックの碓井裕平会員が代読されました。『レッドフラッグサイン』という言葉ですが、普段の施術に直接的に関係することで、とても重要なことであり、絶対に見逃してはならないことでした。今回の今村会員の発表では単なる腰痛だと来院された患者さんを精査したところ、仙骨の骨折があったという内容でした。仙骨部の叩打痛（レッドフラッグサイン）がキーポイントであり、それに疑問を感じ続けた結果、骨折の発見に至ったという内容でした。我々も『普段と違う何か』がある場合など、患者さんの訴えや症状を絶対に見逃さないことが『当たり前』であるということが重要だと改めて実感しました。今回は残念ながら今村会員が欠席であったので、質疑応答ではなく代読の碓井会員を交えて、各会員が体験談を発表するようなディスカッション形式となりました。このような形式は初めての試みでしたが、いつになく盛り上がった内容となりました。骨折・脳出血・ガンなどと様々な経験を個々にされ、決して他人事ではないと考えさせられた発表でした。

第2席は松本北ブロック中島孝之会員による

『寝違え・筋違えの原因と病態、有効な治療法を探る—セルフストレッチ法によるアプローチ—』の発表がありました。発表の中にあつたセルフストレッチ法には、医療系のマンガからの参照があり、以前読んでいたことを思い返したりしながら、アプローチの仕方において大変興味のある内容でした。寝違えに関しては、我々は普段の診療の中で診させて頂くことが多いものです。そのような中で、如何に早く痛みを取ることが出来るかは一つの大きな課題です。

多分、各先生方がそれぞれご自身のアプローチ法があると思います。しかし、それが本当に患者さんにとって良いことなのか？というの経験だけではなく、新しいことを学びながら取り入れ比較していくことによって答えが出るのではないかと思います。今回のような簡単なストレッチ法であれば、施術者だけでなく患者さん本人にもご自宅でやって頂けるものなので、もう少し違う段階や他のものと組み合わせるアプローチできるように今後研究を進めてもらえると良いのではないかと思います。

第3席は安曇南ブロック曾根直紀会員による『KT TAPEを使ってスポーツ障害をサポートする』の発表がありました。現在のスポーツ界で多用されるようになり、注目を浴びているテーピングの使用例報告と実技がありました。私も日頃の診療の中でテーピングは多く使用するので、大変参考になる発表だったと思います。選手や患者さんへの貼付法だけでなく、今まで使用していたテーピングとの撥水効果を比較し、我々が求める部分をしっかり表現され、それらをまとめて発表されていました。実技にもっと時間があれば、もう少し色々な方法を見ることが出来たら良かったと個人的には思いました。今回

のKTTAPEを含めて、キネシオテープの様なタイプはホワイトテープ（固定を目的としたタイプ）と違って効果の信憑性について様々な考え方があると思います。しかし、それらの判断は我々がするのではなく、最終的に使用する患者さんや選手が『良い』と判断するのであれば、それが良い物と考えてよいのではないかと思います。

会員研究発表後に休憩を挟んで市民公開講座が行われました。本年度は飯田市の菅沼病院より菅沼加奈子先生をお招きして『骨格の力』の演題で聞かせて頂きました。菅沼先生の専門は内科医でいらっしゃいますが、ご自身の経験（体調がすぐれない・頭が痛いなど）から骨格の重要性を知り、構造医学を学ばれているそうです。菅沼病院でも内科だけでなく、リハビリテーション科にも所属され、地域に貢献されているそうです。以前、打ち合わせでお会いしてお話を伺った際にもお聞きしたのですが、ご自身が痛い・辛い・苦しいなどの経験をされ『何故痛みが取れないのか？』『そもそも何故痛みが出ているのか？』医学生時代から大変葛藤されたそうです。その時に構造医学に巡り合い、

現在に至るそうです。骨格の在り方・効率の良い関節の動かし方・正しい姿勢の重要性など、我々柔道整復師だけでなく、来場された一般の方々にもわかりやすい講演内容でした。その結果、講師への質問時間は今までにないほどの方が挙手され、日頃の疑問や不安などを質問されていました。大変盛況な講演だったと感じました。

菅沼先生への謝辞の後、表彰・撮影と続き無事プログラムを終了し閉会となりました。

開催に当たって苦勞した部分もありましたが、毎年来場された会員の方々が少しでも何かを得て帰って頂けるよう試行錯誤しております。本年度の学会は、ディスカッション形式や実技など、一人当たりの持ち時間を増やしました。発表に関しては、長野県学会への選考などあるので一人当たりの時間変更はありませんでしたが。後日会員アンケートのまとめにて、今回のような形式は大変良かったといった意見が多くみられましたので、これらを参考に来年からも実のある学会が開催できるよう精進したいと思います。



顧問 小林博一先生 磯部研一先生



市民公開講座 講師 菅沼加奈子先生



表彰式



記念写真

## 第26回 日整学術・生涯学習講習会

学術部長 西條 賢治

平成30年10月6日（土曜日）13時より、日本柔整会館2F大会議室において第26回日整学術・生涯学習講習会が開催され、高田保会長、酒井正彦副会長、安藤恒久副会長、柏木久明副会長とともに参加いたしました。（公社）日本柔道整復師会松岡保副会長の開会の辞で始まり工藤鉄男会長の挨拶の後、講習会に移った。

特別講演公開講座  
『柔道整復師の歴史を探る』  
湯浅有希子 先生

### プロフィール

帝京平成大学ヒューマンケア学部柔道整復学科助教（2016年～）

早稲田大学スポーツ科学研究センター招聘研究員

専攻；スポーツ科学（武道論、柔道整復師、医学史）

2014年早稲田大学大学院スポーツ科学研究科博士後期課程修了、博士（スポーツ科学）

### 講演の概要

柔道整復師の歴史と歴史研究について考察していく。

1. 柔道整復師の歴史研究について研究動向及び位置づけ
2. 江戸時代における接骨の系譜  
柔道整復師は江戸以前には接骨・整骨などと呼ばれ、全国に存在していた。  
ここでは接骨の一つの系統である天神真楊流柔術を中心に流派の流れを概観する。
3. 明治・大正期における接骨から柔道整復への転換

1874（明治7）年の医制発足時の日本の衛生行政を概観するとともに、当時の柔道

整復師の法的・医学的立場を把握する。また1920（大正9）年「按摩術営業取締規則」の改正の経緯と柔道整復師養成への影響を考察する。

### 4. 戦後、柔道整復師養成の再編

戦後、日本の医療福祉政策の中心人物であったGHQのクロフォード・サムスに焦点をあて、占領期における医学教育制度改革を概観する。また当時の柔道整復師への評価を明らかにし、柔道整復師養成制度再編への影響を分析する。

### 5. 1970（昭和45）年の柔道整復師法の成立と柔道整復師養成への影響

1970（昭和45）年に成立した柔道整復師法に基づき、柔道整復師の養成も改められ

1972（昭和47）年には、柔道整復師学校養成施設指定規則が文部省・厚生省令として発せられた。同規則は従来のGHQにより制定された養成制度から柔道整復師による自発的な政治活動によって改められ、発令される運びとなった。同規則が当時の日本の医療政策の下で、政治的・医学的にどのような意図と養成のもとに構築されたのかを国会議事録、文献資料を用いて分析する。

### 6. 柔道整復師歴史研究の展望

国内の柔道整復師関連資料・史料の中には、研究者の不足や個人所蔵であるなどの理由で、所在情報や資料価値の把握がなされていないが、貴重な資料・史料が多く存在すると考えられる。これらはその時代の柔道整復（接骨）の文化医療水準を知る重要な情報であり、現時点では不明とされる史実を示す記述が発見されることもある。



こうした文章、実物資料を含む多様な資料・史料の発掘及び調査研究を進めることの意義を考える。

骨模型シミュレーター実演  
『骨折・脱臼整復シミュレーターを使った  
整復手技の伝承』

高須周平 会員 田邊美彦 会員  
北田秀司 元会員

磁石を応用したことにより、世界で初めて軟部組織の作用を再現、関節が動き、関節を正常位にも骨折・脱臼位にも骨を固定でき、整復しながら抵抗感や整復感を体験できる。これにより術者は生体と同じ力の加え方に伴う骨の動きを再現できる。整復手技の原理を分かりやすく伝えることができる。

部品の組み合わせで6部位に対応。

定価 400万円

興味ある先生は下記に問い合わせてください。

株式会社 フラディス

〒535-0013

大阪府大阪市旭区森小路2丁目10番57号

E-mail: info@fradis.co.jp

特別セミナー

柔道整復師の骨折・脱臼の施術

公益社団法人日本柔道整復師会

渉外部 部長 富永 敬二

スライド・動画により骨折の整復動作、脱臼の整復について説明を受けた。

学術・生涯学習報告

平成29年度生涯学習・ボランティア活動単位報告など

公益社団法人日本柔道整復師会

学術教育部 部長 長尾 敦彦

平成29年度生涯学習単位報告 35単位以上  
171名で長野県は、全国一位

平成29年度ボランティア単位報告 20単位以上  
91名で長野県は、全国4位

以上

# I Jゴルフコンペ

I T広報部部长 宮下 厚

2018年8月5日、豊科カントリー倶楽部に於いて、I Jゴルフコンペが開催されました。医師会からは、関健副会長先生、竹重王仁先生、野邑敏夫先生、飯塚康彦先生4名の先生をお招きしてI Jゴルフコンペが行われました。我々柔整師会からは会長を筆頭に精鋭なる選手が15名出席しました。当日は朝からうだるような暑さで冷たい物が欲しくなるぐらいでしたが、いざスタートとすると気温の暑さより対戦相手との戦いがヒートアップするぐらいの熱戦でし

た。

戦いが終了して懇親会の時には和気あいあいとして結果が気になっていました。結果は柏木久明県副会長が宣言通り優勝、ベストグロス賞はいつもの通り酒井正彦県副会長でした。医師会の関健副会長先生には豊科カントリー倶楽部の手配と商品の提供ありがとうございました。心より御礼申し上げます。懇親会が終了して皆さん暑さや疲れも見せずに帰路につきました。



## 第36回NJSゴルフコンペ

幹事 北信地区 宮本 義豊



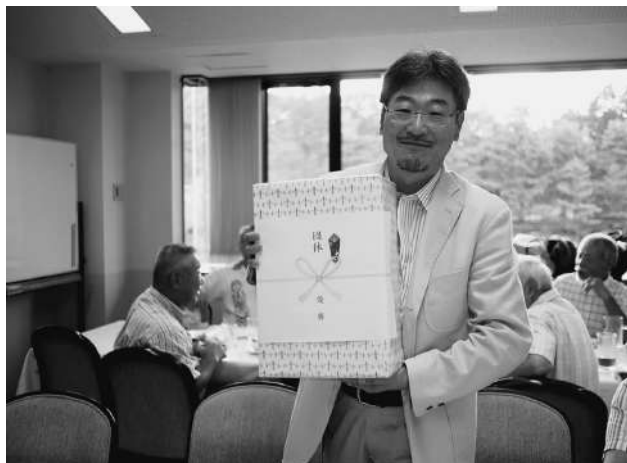
去る8月12日快晴の下、南長野ゴルフ倶楽部におきまして、第36回NJSゴルフコンペが開催されました。各地区より猛者が25名、協賛業者の参加が3名、合計28名にて優勝目指して奮闘いたしました。

春先に突然の会長からの電話、「今年のNJSゴルフコンペは北信が担当だから、宮本に幹事を任せる」と。いきなりの大役を仰せつかったものの、私一度も参加した事無く、ましてや段取り等見当もつきません。あたふたしても仕方ないので去年の幹事さんから様子を聞き、またいろんな先生方から情報を集め準備を進めていきました。「景品にありがちなタオルセットだと靴下等は喜ばないからやめなさい」と、な

らばデパートの商品券が無難かと思いきや「近くにデパートがない所もあるから」と貴重な御意見を頂きました。景品選択に四苦八苦の毎日。しかし、ここで助け船が登場しました。協賛業者から景品に提供が出るとのこと。事務局にお願いして募りましたところ思いがけなく、優勝賞品にできるくらいの景品が多く集まり一安心いたしました。そして次は組み合わせの問題。紆余曲折の末、なんとか当日を迎えることができました。参加されました先生方は思いっきりリラックスされ、スタート前から燃料補給3本もしている先生や、熱心にパットの練習に励む先生等多種多様でありました。



会長挨拶



団体優勝北信地区

一日熱戦の結果、見事北信地区が団体優勝を勝ち取る事ができました。個人の部では東信地区柏木会員が3位、南信地区井坪会員が2位、そして栄えある優勝は北信地区野本会員が見事手中に収めました。

幹事の段取りが悪く、当日はかなりお待たせしてしまったことを、この場をお借りしましてお詫び申し上げます。来年は南信地区が担当です。景品の内容が気になりました先生方はずいぶん来年度第37回NJSゴルフコンペに参加してください。



ベスグロ 井出会員

【成績表】

団体の部

優勝 北信地区  
 準優勝 東信地区  
 3位 南信地区  
 4位 中信地区

個人の部

優勝 野本 真一会員  
 準優勝 井坪 克人会員  
 3位 柏木 久明会員  
 4位 淵田 高章会員

尚、(株)トスコム様、(株)ニコエコ様、テイコクファルマケア様、さくら医薬品様、(株)エス・エス・ビー様、(株)トーク様(順不同)より、景品の提供がありました。厚く御礼申し上げます。

# 平成30年度 新入会員研修会・保険説明会・生涯学習講演会

事業部 桧山 治

9月9日（日）本会事業部主催で新入会員研修会を兼ねた保険説明会・生涯学習講演会が（公社）長野県柔道整復師会館で開催されました。新入会員研修会は本年度より、平成27年度以降に正会員となった会員が対象となりました。

出席者は、北信地区78名、東信地区33名、中信地区27名、南信地区15名の計153名、新入会員（賛助会員含む）は32名の出席者がありました。

## ＜保険説明会の概要報告＞

最初に柏木久明本会保険部長より、午前8時40分～9時50分まで講義をして頂きました。

保険説明会の概要を報告します。

### ① 施術録（カルテ）の意義

- ・施術録は柔整師の生命線であり全てである。
- ・負傷原因や症状等を必ずカルテに詳細に記載する。
- ・施術録の保管は5年間、焼却などしない。

### ② 支給申請書作成上の諸注意

- ・受領委任欄の署名間違えでの返戻が一番多いため注意する。
- ・負傷原因が簡単すぎる。負傷した場所や負傷の状況を必ず記載する。
- ・署名については月初めに患者書いて頂くことが厚労省で暗黙の了解としている。
- ・署名は保険証と同じとする。ローマ字やカタカナなど

### ③ 柔道整復師療養費等の改訂について

- ・6月1日からの柔整療養費の算定基準の一部改正について 金属副子等と運動後療料の算定方法

### ④ 福祉医療費給付事業の変更について

- ・8月1日から番号が変更になっているものもあるので確認をする。

### ⑤ 労災保険の柔道整復師施術料金算定基準一部改定について

- ・9月1日から算定が改訂になっているので施術料金表で確認する。

### ⑥ その他

- ・医接連携を大切にする。
- ・内科疾患など協定外の無傷請求について。
- ・協定の「亜急性」が除外された件の対応について。
- ・社会保険研究所発行の平成30年度版「療養費の支給基準」の本を読んで理解する。

柏木久明本会保険部長、大変お忙しい中、講義を頂き感謝申し上げます。

## ＜生涯学習講演会の開催報告＞

保険説明会に引き続き、午前10時～12時まで講師に安曇野赤十字病院第二脳神経外科部長の上條幸弘先生をお招きして『災害時の心のケア』をテーマに生涯学習講演会が開催されました。上條先生は、日本脳神経外科学会専門医、日本脳卒中学会専門医、日本救急医学会専門医で東日本大震災・熊本地震など現地にも派遣されました。

最初に東日本大震災の日本赤十字社の活動ビデオを視聴し、その後、赤十字とボランティア、災害医療の基本、災害時における心の健康管理などについての講演を頂き、そして本題の災害時の心のケアの講演となりました。日本赤十字社の心のケア、災害時のストレスとストレス反応、被災された方への接し方、防災ボラン

ティアの安全性と健康管理、災害時の心のケアなど学びの深い講演でした。

講演の中で、特に印象に残った「コミュニケーション技術」と「心のケア3T」についての概要を記載しました。被災された方に限らず、柔整師の日々の施術の中でも参考になる点が多々あると思います。

- 被災された方への接し方（コミュニケーション技術）
  - ・相手の顔を見る、目と目を合わせる、早口でハイテンションな声にならない。
  - ・話に耳を傾けているとわかるしぐさで表情に気をつける。
  - ・相手との適切な距離と位置関係に留意する。
  - ・傾聴（聞き役に徹する）相手の話を自然に引き出す。

- ・必要に応じて相槌を打ったり質問を向ける。
- ・体験を語りたくない被災者に対してはその気持ちを尊重する。

◦心のケア3T

Talk（話すこと）経験の整理、考えをまとめる。今後の計画や行動

Tear（涙を流す）感情を閉じ込めずに表に出す。悲しい時は泣く

Time（時間を待つ）心の傷が自然に癒えるのを待つ

上條幸弘先生には、大変お忙しい中、ご講演頂き感謝申し上げます。また、聴講者の皆様には早朝より長時間の講演会にご参加頂きありがとうございました。

# 平成30年度 スポーツ医科学サポート会議

## 主催：公益財団法人 長野県体育協会

スポーツ支援部 北信地区 高原 義勝

平成29年9月20日（木）長野県スポーツ会館2F 大会議室において平成30年度 スポーツ医科学サポート会議研修会が開催された。本年度の会議のテーマは「第73回国民体育大会 福井しあわせ国体に向けて！」今回は、「うっかりドーピング防止について」と題して一般社団法人長野県薬剤師会 副会長の長谷川優生先生にご講演をいただいた。

長谷川先生は、長野県競技力向上対策本部の医科学専門委員をされており、スポーツファーマシストでもある。

近年、オリンピック等の国際大会において、海外選手のみならず、日本選手にも、ドーピングに抵触する例が報告されている。

また、国内では昨年のおもてなし国体でも、ドーピング違反とはなっていないが、大会期間中に医療機関で禁止薬物を含む薬を投与された例が3件報告されている。

個人的に衝撃を受けたのは、2017年の実業団

女子駅伝にて優勝のユニバーサルエンターテイメントが取り消しの処分を受けたことと、カヌー競技の代表候補選手がライバル選手の飲み物に禁止薬物と分かっている薬物を意図的に混入させた事件である。

これらは、混入事件を除き、意図的なものではなく、選手個々の確認不足が大きな原因である。

しかしながら、禁止薬物は毎年1月1日に更新され、医薬品以外でも追加されることも多く、サプリメントなどは食品扱いのため禁止物質が入っていても表示義務が無いため、選手個人では対応に限界があり、また一般の医師でも把握できていない現実がある。

ドーピングは最終的には選手個人の責任となるため、日本の代表として出場する選手だけではなく、スポーツ界全体ですべての競技者に最低限の指導・教育が急務と思われる。

# 平成30年度 生活習慣病予防健診

事業部 桧山 治

(一財)全日本労働福祉協会のご協力によりまして、「平成30年度生活習慣病予防健診」が10月21日(日)に林友渚カナデアンホール(松本会場)で39名、10月28日(日)に本会会館(長野会場)で34名の申し込みにより行われました。

健診は超音波エコー検査、腫瘍マーカー検査を採り入れたAコース(ドック健診)と若年者層にお勧めのBコース(基本コース)があり、前立腺腫瘍マーカー検査、乳房超音波検査、アミノインデックス検査(新しいがん検診)などのオプション検査を希望された会員も多数いました。

近年、食生活や運動不足により、糖尿病、高

血圧症、高脂血症といった生活習慣病が問題になっています。これらの病気はなかなか自分では気づかないものです。体調が悪くなって病院に行った時には、症状がかなり進行しているケースも少なくありません。生活習慣病予防健診は自覚症状が現れる前に病気や体の状態をチェックする良い機会です。今まで難病とされてきた癌も、現在は早期発見、早期治療により治るケースが増えています。

健康のためには、病気の早期発見、早期治療が大切ですので、少なくとも年に一回の定期健診をお勧めします。日曜日に健診をして頂きますので、来年度も是非多くの会員のご参加をお願いします。





# (公社)長野県柔道整復師会 平成30年度保険講習会

中信保険部長 濱 敦

平成30年11月23日（金・祝）午前10時～11時半の日程で 松本歯科大学 講堂に於いて、中南信地区対象の保険講習会が開催されました。本講習会は、柔整療養費取扱い上の協定書第9条46に基づき開催し、東北信・中南信を交互に隔年開催としています。又、本会が、県内の本会会員以外の管理柔道整復師にも、本会ホームページに掲載し呼びかけ、開講しました。

関東信越厚生局長野事務所より、医療指導監視監査官の小平健一様と医療事務専門官の清水浩一様を講師にお招きし、「協定書、受療委任の取り扱い規定」「施術担当の指導監査」「受療委任に係る取り扱いについて」のご講義を頂きました。

当日の出席者数は、中信地区97名・南信地区95名・昨年度の未受講者等 東信地区3名・北

信地区9名・当会会員外23名の合計227名の施術管理者です。

尚、この参加者については関東信越厚生局及び長野県にも報告されます。

丁度この時期、二十四節気の小雪にあたり肌寒い中、講師の先生方はもちろんの事、参加された会員におかれましても、早くからお集まりいただき時間通りに運営できたことに感謝申し上げます。役員・担当部員の皆様、早朝からの準備大変お疲れ様でした。

終わりに、関東信越厚生局長野事務所、小平健一様ならびに清水浩一様におかれましては、休日にもかかわらず快く講師をお引き受けいただいた上、懇切丁寧な講演を賜り厚く御礼申し上げます。



清水様・小平様



松本歯科大学講堂

# 介護予防事業報告（平成30年1月～6月）

介護班長 伊藤 睦

日頃より介護予防事業にご理解・ご協力を賜り心より御礼を申し上げます。

平成30年1月～6月までの活動では、北信地区18教室・16名・125回、中信地区6教室・5名・52回、南信地区11教室・32名・188回、合計の全県は35教室・53名・365回の活動がありました事をご報告致します。

厚労省は健康寿命の延伸を図る目的で今後「保険事業と介護予防の一体化」をしていく方

向です。その取り組みの中で特に高齢者の「フレイル」対策が重要で、その対策を進めるために一般介護事業（総合事業）を活用することを検討しています。今後現在と少し違った介護予防事業の展開があるかもしれません。現在活動されていない会員も介護予防活動を通じて健康寿命延伸のお手伝いをしてみてはいかがでしょうか。今後ともご理解・ご協力のほどよろしくお願い致します

## ●北信地区 担当者 松本 毅

氏名	月日	会場	人数	地区（市町村）
代表者記載		中野市ひざ腰らくらく教室担当柔整師 松本・大塚・鶴田・布施谷・小林・松田・高橋（文）・高橋（和）・樋口・丸山・小橋		
小橋・大塚他	1/5	ひざ腰らくらく教室（豊田文化センター）	15	中野市
大塚・中島他	1/12	〃	15	〃
中島・松本他	1/19	〃	15	〃
松本・丸山他	1/26	〃	15	〃
丸山・小林他	2/2	〃	15	〃
小林・高橋（和）他	2/9	〃	15	〃
高橋（和）・鶴田他	2/16	〃	15	〃
鶴田・松田他	2/23	〃	15	〃
松田・樋口他	3/2	〃	15	〃
樋口・高橋（文）他	3/9	〃	15	〃
高橋（文）・布施谷他	3/16	〃	15	〃
布施谷・小橋他	3/23	〃	15	〃
大塚・小橋他	6/27	ひざ腰らくらく教室（中野市保健センター）	14	中野市
松本 毅	1/20	転倒予防教室I（老健センター湯の入）	11	飯山市
〃	1/27	〃	9	〃
〃	2/17	〃	9	〃
〃	2/24	〃	9	〃
〃	3/10	〃	10	〃
〃	3/17	〃	11	〃
藤巻雄太	4/4	〃	13	〃
〃	4/18	〃	14	〃
〃	5/2	〃	12	〃
〃	5/16	〃	14	〃

〃	5/30	〃	12	〃
〃	6/13	〃	12	〃
〃	6/27	〃	13	〃
松本 毅	4/6	転倒予防教室2班 (老健センター湯の入)	10	飯山市
山崎 裕	4/20	〃	5	〃
〃	5/11	〃	11	〃
〃	5/25	〃	10	〃
〃	6/8	〃	10	〃
〃	6/22	〃	11	〃
松本 毅	4/11	転倒予防教室3班 (老健センター湯の入)	17	飯山市
〃	4/25	〃	15	〃
〃	5/9	〃	17	〃
〃	5/23	〃	14	〃
〃	6/6	〃	14	〃
〃	6/20	〃	8	〃
沼田鉄平	4/13	転倒予防教室4班 (老健センター湯の入)	12	飯山市
〃	4/27	〃	12	〃
〃	5/18	〃	16	〃
〃	6/1	〃	14	〃
〃	6/15	〃	17	〃
〃	6/29	〃	16	〃
藤巻雄太	1/17	すこやか倶楽部1班 (老健センター湯の入)	14	飯山市
廣川さつき	1/30	〃	12	〃
山崎 裕	2/9	〃	14	〃
松本 毅	2/23	〃	14	〃
〃	3/7	〃	14	〃
廣川さつき	3/20	〃	14	〃
藤巻雄太	1/5	すこやか倶楽部2班 (老健センター湯の入)	10	飯山市
山崎 裕	1/19	〃	10	〃
沼田鉄平	1/31	〃	10	〃
藤巻雄太	2/14	〃	12	〃
松本 毅	2/27	〃	10	〃
山崎 裕	3/9	〃	12	〃
〃	3/23	〃	11	〃
藤巻雄太	1/10	すこやか倶楽部3班 (老健センター湯の入)	12	飯山市
廣川さつき	1/23	〃	10	〃
松本 毅	2/2	〃	12	〃
沼田鉄平	2/16	〃	10	〃
藤巻雄太	2/28	〃	12	〃
松本 毅	3/13	〃	12	〃
〃	3/27	〃	12	〃
山崎 裕	1/12	すこやか倶楽部4班 (老健センター湯の入)	13	飯山市
松本 毅	1/24	〃	8	〃
廣川さつき	2/6	〃	10	〃
〃	2/20	〃	10	〃
沼田鉄平	3/2	〃	10	〃

藤巻雄太	3/14	〃	12	〃
〃	3/28	〃	14	〃
廣川さつき	1/16	すこやか倶楽部5班（老健センター湯の入）	13	飯山市
山崎 裕	1/26	〃	12	〃
沼田鉄平	2/7	〃	12	〃
松本 毅	2/21	〃	12	〃
廣川さつき	3/6	〃	12	〃
沼田鉄平	3/16	〃	11	〃
松本 毅	3/30	〃	12	〃
松本 毅	1/22	はつらつ健康教室（月曜コース）	10	飯山市
〃	1/29	〃	10	〃
〃	2/19	〃	10	〃
〃	2/26	〃	12	〃
松本 毅	4/16	はつらつ健康教室（月曜コース）	14	飯山市
〃	4/23	〃	16	〃
〃	5/14	〃	15	〃
〃	5/21	〃	12	〃
〃	5/28	〃	13	〃
〃	6/11	〃	13	〃
〃	6/25	〃	13	〃
松本 毅	1/11	はつらつ健康教室（木曜コース）	11	飯山市
〃	1/18	〃	11	〃
〃	1/25	〃	11	〃
〃	2/1	〃	12	〃
〃	2/8	〃	12	〃
〃	2/15	〃	13	〃
〃	2/22	〃	13	〃
〃	3/1	〃	13	〃
松本 毅	4/12	はつらつ健康教室（木曜コース）	11	飯山市
〃	4/19	〃	10	〃
〃	4/26	〃	8	〃
〃	5/10	〃	13	〃
〃	5/17	〃	12	〃
〃	5/24	〃	10	〃
〃	5/31	〃	13	〃
〃	6/7	〃	12	〃
〃	6/21	〃	10	〃
廣川さつき	4/12	飯山市社協介護予防教室すこやか健口教室	6	飯山市
〃	4/19	〃	5	〃
〃	5/17	〃	6	〃
〃	5/24	〃	7	〃
〃	6/14	〃	6	〃
〃	6/21	〃	8	〃
山崎 裕	1/16	木島平村筋力アップ教室	14	木島平村
〃	1/23	〃	14	〃
〃	1/30	〃	14	〃

〃	2/6	〃	14	〃
〃	2/13	〃	14	〃
〃	2/20	〃	14	〃
〃	3/1	〃	14	〃
〃	3/6	〃	14	〃
山崎 裕	5/22	木島平村筋力アップ教室	14	木島平村
〃	6/5	〃	14	〃
〃	6/19	〃	14	〃
〃	7/3	〃	14	〃
〃	7/17	〃	14	〃

●中信地区 担当者 森本 健雅

氏名	月日	会場	人数	地区(市町村)
降旗秀徳・中村吉孝	1/5	足腰らくらく体操教室(三郷公民館,講堂)	22	安曇野市三郷
〃	1/12	〃	23	〃
〃	1/19	〃	26	〃
〃	1/26	〃	24	〃
〃	2/2	〃	26	〃
〃	2/9	〃	24	〃
〃	2/16	〃	26	〃
〃	2/23	〃	25	〃
〃	3/2	〃	28	〃
降旗秀徳・高原祐樹	6/7	足腰らくらく体操教室(明科公民館)	17	安曇野市明科
〃	6/14	〃	20	〃
〃	6/21	〃	18	〃
〃	6/28	〃	18	〃
降旗秀徳	1/22	地域自主グループ(堀金田多井区公民館)	19	安曇野市堀金
〃	2/26	〃	20	〃
森本健雅	3/12	〃	18	〃
降旗秀徳	3/26	〃	17	〃
森本健雅	4/9	〃	19	〃
降旗秀徳	4/23	〃	18	〃
森本健雅	5/14	〃	16	〃
降旗秀徳	5/28	〃	18	〃
森本健雅	6/11	〃	17	〃
降旗秀徳	6/25	〃	16	〃
高田 保	1/9	上松町運動機能向上事業(高田整骨院)	3	木曾郡上松町
〃	1/16	〃	3	〃
〃	1/23	〃	3	〃
〃	1/30	〃	3	〃
〃	2/6	〃	3	〃
〃	2/13	〃	2	〃
〃	2/20	〃	3	〃
〃	2/27	〃	4	〃
〃	3/6	〃	2	〃

〃	3/13	〃	3	〃
〃	3/20	〃	3	〃
〃	4/3	〃	4	〃
〃	4/10	〃	3	〃
〃	4/17	〃	5	〃
〃	4/24	〃	6	〃
〃	5/8	〃	3	〃
〃	5/17	〃	3	〃
〃	5/22	〃	4	〃
〃	5/29	〃	4	〃
〃	6/5	〃	5	〃
〃	6/13	〃	4	〃
〃	6/19	〃	3	〃
〃	6/27	〃	4	〃
高田 保	4/26	上松町健康教室事業（高田整骨院）	18	木曾郡上松町
〃	5/31	〃	20	〃
〃	6/29	〃	16	〃
高田 保	1/18	上松町転倒予防教室（いきいき広場こまくさ）	15	木曾郡上松町
〃	2/26	〃	18	〃
〃	3/22	〃	18	〃

●南信地区 担当者 田中 兼次

氏名	月日	会場	人数	地区（市町村）
田中兼次・古賀修平	1/4	下條村運動機能向上事業こけん塾 午前班・午後班	24	下條村
〃	1/11	〃	21	〃
〃	1/18	〃	25	〃
〃	1/25	〃	16	〃
〃	2/1	〃	32	〃
〃	2/8	〃	28	〃
〃	2/15	〃	30	〃
〃	2/22	〃	29	〃
〃	3/1	〃	32	〃
〃	3/8	〃	30	〃
〃	3/15	〃	30	〃
〃	3/22	〃	27	〃
〃	3/29	〃	33	〃
〃	5/10	〃	35	〃
〃	5/17	〃	24	〃
〃	5/24	〃	29	〃
〃	5/31	〃	35	〃
〃	6/7	〃	32	〃
〃	6/14	〃	28	〃
〃	6/21	〃	34	〃
〃	6/28	〃	38	〃

松村秀樹	1/6	ほいほい呼ぼう竜東デイ教室（通所型A）	9	飯田市
丸山申介	1/13	〃	10	〃
木下陽子	1/20	〃	11	〃
石原尚幸	1/27	〃	12	〃
関島康道	2/3	〃	12	〃
松村秀樹	2/10	〃	10	〃
丸山申介	2/17	〃	11	〃
松村秀樹	2/24	〃	10	〃
石原尚幸	3/3	〃	13	〃
関島康道	3/10	〃	14	〃
木下陽子	3/17	〃	13	〃
丸山申介	3/24	〃	14	〃
石原尚幸	3/31	〃	13	〃
木下陽子	4/7	〃	13	〃
松村秀樹	4/14	〃	15	〃
関島康道	4/21	〃	14	〃
丸山申介	4/28	〃	12	〃
木下陽子	5/12	〃	12	〃
石原尚幸	5/19	〃	10	〃
関島康道	5/26	〃	11	〃
松村秀樹	6/2	〃	15	〃
丸山申介	6/9	〃	17	〃
木下陽子	6/16	〃	14	〃
石原尚幸	6/23	〃	12	〃
関島康道	6/30	〃	14	〃
小島 誠	1/6	ほいほい呼ぼういいだデイ教室（通所型A）	13	飯田市
小嶋静人	1/13	〃	13	〃
原翔一郎	1/20	〃	11	〃
村松文次	1/27	〃	10	〃
馬場修平	2/3	〃	12	〃
木下芳郎	2/10	〃	17	〃
小島 誠	2/17	〃	13	〃
木下甲太郎	2/24	〃	13	〃
小嶋静人	3/3	〃	15	〃
原翔一郎	3/10	〃	16	〃
村松文次	3/17	〃	17	〃
馬場修平	3/24	〃	15	〃
木下芳郎	3/31	〃	13	〃
木下甲太郎	4/7	〃	12	〃
小島 誠	4/14	〃	15	〃
小嶋静人	4/21	〃	14	〃
原翔一郎	4/28	〃	14	〃
村松文次	5/5	〃	12	〃
木下芳郎	5/12	〃	12	〃
馬場修平	5/19	〃	11	〃
木下甲太郎	5/26	〃	13	〃

小島 誠	6/2	〃	15	〃
小嶋静人	6/9	〃	16	〃
原翔一郎	6/16	〃	17	〃
村松文次	6/23	〃	16	〃
馬場修平	6/30	〃	14	〃
伊藤浩兼	1/6	ほいほい呼ぼう北部デイ教室（通所型A）	17	飯田市
伊藤 睦	1/13	〃	16	〃
竹内敏弘	1/20	〃	16	〃
矢澤克浩	1/27	〃	13	〃
井坪克人	2/3	〃	13	〃
伊藤浩兼	2/10	〃	14	〃
矢澤克浩	2/17	〃	12	〃
伊藤 睦	2/24	〃	13	〃
竹内敏弘	3/3	〃	11	〃
東垣外竜	3/10	〃	15	〃
高木観志	3/17	〃	14	〃
井坪克人	3/24	〃	12	〃
伊藤浩兼	3/31	〃	14	〃
伊藤 睦	4/7	〃	15	〃
矢澤克浩	4/14	〃	15	〃
竹内敏弘	4/21	〃	14	〃
東垣外竜	4/28	〃	15	〃
高木観志	5/5	〃	11	〃
井坪克人	5/12	〃	13	〃
伊藤浩兼	5/19	〃	12	〃
伊藤 睦	5/26	〃	13	〃
矢澤克浩	6/2	〃	14	〃
竹内敏弘	6/9	〃	12	〃
東垣外竜	6/16	〃	15	〃
井坪克人	6/23	〃	13	〃
高木観志	6/30	〃	12	〃
木下甲太郎	4/5	JAめぐり介護予防教室	9	飯田市
木下芳郎	4/12	〃	7	〃
小嶋静人	4/18	〃	10	〃
奥村幸志	4/25	〃	12	〃
小嶋静人	6/6	〃	10	〃
木下芳郎	6/13	〃	10	〃
木下甲太郎	6/21	〃	9	〃
奥村幸志	6/28	〃	8	〃
尾曾元広	1/10	松川町水曜クラブひまわり荘老人福祉センター	8	松川町
小池輝宗	1/17	〃	8	〃
北林・尾曾・後藤・小池	1/24	〃	8	〃
後藤安成	1/31	〃	8	〃
北林武文	2/7	〃	8	〃
尾曾元広	2/14	〃	8	〃
北林・尾曾・後藤・小池	2/21	〃	8	〃



北林・尾曾・後藤・小池	2/28	〃	8	〃
北林・尾曾・後藤・小池	4/4	〃	8	〃
小池輝宗	4/11	〃	8	〃
後藤安成	4/18	〃	8	〃
北林武文	4/25	〃	8	〃
尾曾元広	5/9	〃	8	〃
北林・尾曾・後藤・小池	5/16	〃	8	〃
小池輝宗	5/23	〃	8	〃
後藤安成	5/30	〃	8	〃
北林武文	6/6	〃	8	〃
尾曾元広	6/13	〃	8	〃
北林・尾曾・後藤・小池	6/20	〃	8	〃
北林・尾曾・後藤・小池	6/27	〃	8	〃
北林・後藤・小池	1/23	生活機能維持向上事業 コスモス松川デイ	8	松川町
北林・後藤・小池	2/8	〃	5	〃
北林・後藤・小池	3/20	〃	5	〃
北林・後藤・小池	3/22	〃	5	〃
北林・後藤・小池	5/22	〃	4	〃
北林・後藤・小池	5/25	〃	4	〃
東垣外竜	1/26	豊丘村地域ミニデイ教室 村内各施設	13	豊丘村
東垣外竜	2/23	〃	20	〃
伊藤 睦	3/5	〃	15	〃
東垣外竜	3/22	〃	10	〃
伊藤 睦	6/14	〃	15	〃
伊藤 睦	1/5	豊丘村はつらつころばん塾（通所型A）	13	豊丘村
東垣外竜	1/12	〃	13	〃
東垣外竜	1/19	〃	14	〃
伊藤 睦	1/26	〃	14	〃
東垣外竜	2/2	〃	15	〃
伊藤 睦	2/9	〃	13	〃
東垣外竜	2/16	〃	11	〃
伊藤 睦	2/23	〃	10	〃
東垣外竜	3/2	〃	14	〃
伊藤 睦	3/9	〃	15	〃
東垣外竜	3/16	〃	14	〃
伊藤 睦	3/23	〃	16	〃
東垣外竜	3/30	〃	16	〃
伊藤 睦	4/6	〃	13	〃
東垣外竜	4/13	〃	11	〃
伊藤 睦	4/20	〃	13	〃
東垣外竜	4/27	〃	10	〃
伊藤 睦	5/11	〃	13	〃
東垣外竜	5/18	〃	14	〃
伊藤 睦	5/25	〃	13	〃
東垣外竜	6/1	〃	12	〃
伊藤 睦	6/8	〃	5	〃

東垣外竜	6/15	〃	11	〃
伊藤 睦	6/22	〃	13	〃
東垣外竜	6/29	〃	15	〃
秋山友彦・木村浩士	1/12	諏訪市健康柔ら体操教室 市内各施設	4	諏訪市
木村浩士・原 隆	1/16	〃	19	〃
原 隆・阿部光典	1/23	〃	1	〃
秋山友彦・原 隆	1/30	〃	16	〃
木村浩士・野口邦治	2/9	〃	3	〃
秋山友彦・原 隆	2/13	〃	23	〃
阿部光典・野口邦治	2/20	〃	6	〃
原 隆・秋山友彦	2/27	〃	21	〃
木村浩士・野口邦治	3/9	〃	11	〃
阿部光典・濱ひろみ	3/13	〃	27	〃
阿部光典・野口邦治	4/23	〃	8	〃
濱ひろみ・木村浩士	4/26	〃	18	〃
秋山友彦・原 隆	5/7	〃	17	〃
野口邦治・秋山友彦	5/14	〃	14	〃
木村浩士・阿部光典	5/15	〃	16	〃
原 隆・濱ひろみ	5/21	〃	9	〃
濱ひろみ・野口邦治	5/28	〃	12	〃
木村浩士・秋山友彦	6/4	〃	7	〃
原 隆・阿部光典	6/11	〃	13	〃
秋山友彦・濱ひろみ	6/12	〃	11	〃
阿部光典・木村浩士	6/18	〃	3	〃
野口邦治・原 隆	6/25	〃	16	〃
濱ひろみ・阿部光典	6/26	〃	10	〃
濱ひろみ	1/12	飯島ふれあいサロン	12	諏訪市
濱ひろみ	2/2	〃	13	〃
濱ひろみ	3/3	〃	13	〃

●東信地区の活動はありませんでした。担当者 金児 充

# 救護・トレーナー派遣状況報告

スポーツ支援部長 保尊 伸昭

平成30年7月から12月までにおける当会の重要公益事業である中体連や国体、各種スポーツ大会への救護・トレーナー派遣の状況を各地区ごと報告いたします。この活動は我々の職能を活かし、スポーツ現場で起こる骨折、捻挫の応急処置をはじめ、捻挫、肉離れ等の急性外傷の処置、様々なスポーツ傷害への対応を行っております。地域社会への貢献を目的とし（公社）長野県柔道整復師会そして社団会員と社団外の柔整師との区別を明確にする一面も持ち合わせるものであり、地域社会が社団会員柔整師（整骨院・接骨院）へのさらなる信用と理解が深ま

ることを期待いたします。現場での活動は多岐にわたり外傷の処置（アイシング、整復、固定）、テーピング、ストレッチ、手技、スポーツマッサージ、選手のケガやトレーニング指導等今後も施術所内外のノウハウを活かした救護・トレーナー活動を通し地域社会に貢献いたします。

県下各地で多種目にわたる活動に携わっていただいた会員の方々のご協力に感謝申し上げますとともに、これからも継続してゆきますので益々のご協力をお願いいたします。

以下 派遣者一覧

## 平成30年7月～12月活動分

東信地区（担当部員 横関康寿）

氏名	活動日	競技名	会場
飯田 秀男	10月20日	中体連新人戦東信柔道	小諸市武道館
石坂 秀司	10月6日	中体連新人戦上小地区柔道	上田城跡公園
井出 陽人	7月16日	県スポ少競技別交流大会ミニバス	浅間体育センター
	10月6日	中体連新人戦佐久地区ソフトテニス	臼田運動公園
	10月20日	中体連新人戦佐久地区女子バスケット	佐久穂中学校
	11月3日	中体連新人戦佐久地区女子バレー	佐久穂中学校
	11月17日	中体連新人戦東信男子バレーボール	芦原中学校
出田 雅士	10月20日	中体連新人戦東信サッカー	佐久市陸上競技場
内山 貴之	7月1日	国体予選柔道	小諸市武道館
	7月15日	長野県中学校総合体育大会柔道	上田市自然運動公園
	7月16日	県スポ少競技別交流大会ミニバス	臼田体育センター
	8月5日	信州爆水RUNin依田川	上田市丸子総合グラウンド
	10月7日	中体連新人戦上小地区サッカー	塩田中学校
	10月13日	東信高校新人体育大会柔道	小諸市武道館
	10月21日	中体連新人戦東信軟式野球	大栄小諸球場
荻原 誠	7月14・15日	長野県中学校総合体育大会剣道	茅野市総合体育館
	8月24～25日	北信越国体剣道	新潟県新潟市
	10月6日	中体連新人戦上小地区剣道	上田第一中学校
	10月20日	中体連新人戦東信剣道	上田第一中学校
	10月21日	中体連新人戦上小地区女子バスケット	東御東部中学校
	12月1日	県剣道ジュニア強化錬成大会	戸倉体育館

柏木 亮輔	10月6日	中体連新人戦佐久地区ソフトテニス	乙女湖公園
	10月21日	中体連新人戦東信サッカー	中込中学校
兼田 佑	7月16日	県スポ少競技別交流大会ミニバス	野沢体育センター
	8月5日	信州爆水RUNin依田川	上田市丸子総合グラウンド
	9月23日	烏帽子パーティカルキロメーター	上田市民の森公園
	10月7日	中体連新人戦上小地区軟式野球	上田城跡公園
	11月17日	中体連新人戦東信女子バレーボール	東御市ふれあい体育館
菊池 和哉	10月6日	中体連新人戦佐久地区サッカー	野沢中学校
	10月21日	中体連新人戦東信サッカー	佐久市陸上競技場
國友 康晴	8月5日	信州爆水RUNin依田川	上田市丸子総合グラウンド
	10月7日	上田古戦場ハーフマラソン	上田古戦場公園
黒岩 大輝	10月7日	中体連新人戦上小地区サッカー	上田第五中学校
小池 和良	11月23日	南佐久郡柔道大会	佐久穂しらかば体育館
小池 祐貴	10月13・14日	中体連新人戦上小地区男子バスケット	塩田中学校
	11月10・11日	中体連新人戦東信男子バスケット	塩田中学校
小嶋 国彦	10月7日	上田古戦場ハーフマラソン	上田古戦場公園
小平 一人	10月20日	中体連新人戦佐久地区男子バスケット	御代田中学校
斎藤 一也	10月6日	中体連新人戦上小地区サッカー	塩田中学校
桜井 秀信	9月2日	中体連新人戦東信水泳	佐久長聖中学校
	10月20日	中体連新人戦東信サッカー	中込中学校
	10月27日	中体連新人戦東信女子ソフトテニス	白田運動公園
田口 信宏	10月6・7日	中体連新人戦上小地区サッカー	丸子中学校
	10月20・21日	中体連新人戦東信サッカー	浅間中学校
	11月17・18日	中体連新人戦東信女子バレーボール	東御東部中学校
田中 敏浩	11月3日	中体連新人戦佐久地区男子バレー	小諸東中学校
	11月4日	中体連新人戦上小地区男子バレー	塩田中学校
	11月18日	中体連新人戦東信男子バレーボール	小諸東中学校
土屋 樹	10月6日	中体連新人戦佐久地区柔道	佐久市武道館
寺嶋 久程	7月16日	県スポ少競技別交流大会ミニバス	佐久市総合体育館
	10月6日	中体連新人戦佐久地区剣道	浅間中学校
	11月18日	佐久市小学生駅伝大会	佐久総合運動公園
中村 元	8月5日	信州爆水RUNin依田川	上田市丸子総合グラウンド
	10月6日	中体連新人戦上小地区軟式野球	染谷台多目的グラウンド
	10月7日	上田古戦場ハーフマラソン	上田古戦場公園
	10月20日	中体連新人戦東信軟式野球	大栄小諸球場
長谷川寛樹	10月20日	中体連新人戦東信サッカー	浅科中学校
原 真里奈	11月4日	中体連新人戦佐久地区男子バレー	小諸東中学校
	11月17日	中体連新人戦東信男子バレーボール	小諸東中学校
廣川 喜博	7月16日	県スポ少競技別交流大会ミニバス	東社会体育館
	10月6・7日	中体連新人戦佐久地区サッカー	佐久市陸上競技場
	10月20・21日	中体連新人戦佐久地区女子バスケット	佐久市総合体育館
	11月3・4日	中体連新人戦佐久地区女子バレー	佐久穂しらかば体育館
福田 晋也	10月6日	中体連新人戦上小地区軟式野球	上田城跡公園
	10月20日	中体連新人戦上小地区女子バスケット	東御東部中学校
	11月3日	中体連新人戦上小地区女子バレー	真田中学校
	11月10日	中体連新人戦東信女子バスケット	東御東部中学校

堀内 将之	10月6日	中体連新人戦上小地区サッカー	上田第六中学校
	10月14日	上田市総合体育大会柔道	上田城跡公園
	11月3日	中体連新人戦上小地区女子バレー	上田真田体育館
	11月4日	中体連新人戦上小地区女子バレー	真田中学校
	11月11日	中体連新人戦東信女子バスケット	東御東部中学校
母袋 直也	10月7日	上田古戦場ハーフマラソン	上田古戦場公園
	10月20・21日	中体連新人戦東信軟式野球	県営上田野球場
柳原 靖	9月30日	中体連新人戦佐久地区サッカー	佐久市陸上競技場
	10月21日	中体連新人戦東信サッカー	浅科中学校
弓田 和輝	10月7日	中体連新人戦上小地区軟式野球	染谷台多目的グラウンド
横関 康寿	8月17～19日	北信越国体ソフトテニス	新潟県燕市
	10月6日	中体連新人戦上小地区ソフトテニス	東御市中央公園
	10月29日	中体連新人戦東信男子ソフトテニス	丸子テニスコート
依田 篤志	10月20・21日	中体連新人戦佐久地区男子バスケット	軽井沢中学校

北信地区（担当部員 高原義勝）

氏名	活動日	競技名	会場
原 和正	7月20日～22日	ボウリング第39回 北信越国民体育大会	新潟県
小島 弘光	7月15日（日）	長野県中学校夏季大会 水泳	アクアウイング
小島 弘光	9月2日（日）	北信中学校新人 水泳	須高広域総合プール
柳澤 卓三	9月16日（日）	長野上水内中学校新人 サッカー	千曲川リバーフロント
柳澤 英翔	9月16日（日）	長野上水内中学校新人 サッカー	千曲川リバーフロント
田中 経義	9月16日（日）	長野上水内中学校新人 サッカー	千曲川リバーフロント
堀内健太郎	9月23日（日）	北信中学校新人 陸上競技	長野市宮陸上競技場
堀内健太郎	10月7日（日）	長野上水内中学校新人 ソフトテニス	長野運動公園庭球場
堀内健太郎	10月28日（日）	長野上水内中学校新人 バドミントン	長野運動公園体育館
宮寄 結衣	7月15日（日）	長野県中学校夏季大会 ソフトボール	県民須坂運動広場
宮寄 結衣	10月7日（日）	北信中学校新人 ソフトボール	若穂中央公園多目的広場
石田 拓未	10月14日（日）	北信中学校新人 軟式野球	長野県営球場
石田 拓未	11月3日（土・祝）	長野上水内中学校新人 バレーボール男子	篠ノ井西中学校
山内 明	10月14日（日）	長野上水内中学校新人 剣道	松代中学校
山内 明	10月21日（日）	長野上水内中学校新人 バスケットボール男子	市営豊野体育館
山内 明	11月11日（日）	北信中学校新人 バスケットボール男子	市営豊野体育館
吉澤 賢治	10月21日（日）	長野上水内中学校新人 バスケットボール女子	豊野中学校
吉澤 賢治	11月11日（日）	北信中学校新人 バスケットボール女子	豊野中学校
小林 尚生	10月21日（日）	北信中学校新人 サッカー	千曲川リバーフロント
湯本 駿人	10月21日（日）	北信中学校新人 サッカー	千曲川リバーフロント
古旗 賢史	10月21日（日）	北信中学校新人 サッカー	千曲川リバーフロント
三澤 勇斗	10月28日（日）	長野上水内中学校新人 柔道	長野運動公園柔剣道場
瀧澤 哲也	11月3日（土・祝）	長野上水内中学校新人 バレーボール男子	篠ノ井東中学校
高原 義勝	11月3日（土・祝）	長野上水内中学校新人 バレーボール女子	更北中学校
高原 義勝	11月18日（日）	北信中学校新人 バレーボール女子	東北中学校
高原 義勝	11月23日（金・祝）	北信中学校新人 卓球	長野運動公園体育館
高原 義勝	11月4日（日）	更埴中学校新人 バレーボール	坂城中学校
高原 義勝	9月23日（日）	北信州ハーフマラソン	飯山市
古岩井 裕之	11月3日（土・祝）	北信中学校新人 体操	ホワイトリング

武士 和哉	11月4日(日)	長野上水内中学校新人 バレーボール男子	篠ノ井西中学校
西澤 亘	7月15日(日)	長野県中学校夏季大会 バレーボール	須坂市民体育館
西澤 亘	11月4日(日)	長野上水内中学校新人 バレーボール男子	篠ノ井東中学校
小林 秀樹	11月4日(日)	長野上水内中学校新人 バレーボール女子	東北中学校
西條美由紀	11月11日(日)	長野上水内中学校新人 卓球	ホワイトリング
小林 克徳	11月18日(日)	北信中学校新人 バレーボール男子	篠ノ井西中学校
松田 和也	9月23日(日)	北信州ハーフマラソン	飯山市
松田 和也	11月18日(日)	北信中学校新人 柔道	長野運動公園柔剣道場
松田 和也	11月4日(日)	中野・下高井中学校新人 バレーボール女子	中野平中体育館
久井 真	7月15日(日)	長野県中学校夏季大会 ハンドボール	千曲市戸倉体育館
久井 真	7月16日(月・祝)	長野県中学校夏季大会 体操競技	ホワイトリンク
久井 真	9月16日(日)	更埴中学校新人 サッカー	千曲市サッカー場
久井 真	10月14日(日)	更埴中学校新人 バasketボール	千曲市戸倉体育館
久井 真	10月21日(日)	更埴中学校新人 ハンドボール	埴生中学校体育館
久井 真	11月3日(土・祝)	長野上水内中学校新人 バレーボール女子	東北中学校
久井 真	11月4日(日)	長野上水内中学校新人 バレーボール女子	更北中学校
樋口 知宏	9月16日(日)	上高井中学校新人 サッカー	中野市多目的サッカー場
樋口 知宏	9月23日(日)	北信州ハーフマラソン	飯山市
大口 友久	9月23日(日)	北信州ハーフマラソン	飯山市
大口 友久	10月14日(日)	上高井中学校新人 バasketボール	須坂市立相森中学校
大口 友久	11月4日(日)	上高井中学校新人 バレーボール女子	須坂市立東中学校
布施谷貴博	10月14日(日)	中野・下高井中学校新人 柔道	中野市武道館
田中 翔太	9月23日(日)	北信州ハーフマラソン	飯山市
田中 翔太	10月21日(日)	中野・下高井中学校新人 バasketボール	飯山市民体育館
篠崎 裕一	9月23日(日)	北信州ハーフマラソン	飯山市
宮本 義豊	9月23日(日)	北信州ハーフマラソン	飯山市
小橋 義彦	9月23日(日)	北信州ハーフマラソン	飯山市
小橋 茂之	9月23日(日)	北信州ハーフマラソン	飯山市
荻原 俊樹	9月23日(日)	北信州ハーフマラソン	飯山市
廣川さつき	9月23日(日)	北信州ハーフマラソン	飯山市
石坂 智毅	9月23日(日)	北信州ハーフマラソン	飯山市
窪田 勝	10月3日～9日	第73回国民体育大会 福井(陸上)	福井県福井市
窪田 勝	11月9日～12日	東日本女子駅伝 長野県チーム帯同	福島市信夫ヶ丘競技場
窪田 勝	11月23日(金・祝)	北信越中学校駅伝大会	松本スカイパーク
野竹 康之	11月23日(金・祝)	北信越中学校駅伝大会	松本スカイパーク
林 佑樹	11月23日(金・祝)	北信越中学校駅伝大会	松本スカイパーク

中信地区(担当部員 高原祐樹)

氏名	活動日	競技名	会場
今村勇治	7月8日(日)	県大会相撲	木曾町民相撲場
	9月23日(日)	中信大会相撲	木曾町民相撲場
荻上敦志	10月21日(日)	塩筑大会バasketボール男女	塩尻中学校体育館
太田 遵	10月7日(日)	安曇野市中サッカー	豊科南中学校
小澤成幸	7月15日(日)	県大会バasketボール	松本総合体育館
	7月16日(月)	県大会バasketボール	松本総合体育館
	10月7日(日)	松本市中大会軟式野球	寿運動広場

	10月7日(日)	松本市中大会軟式野球	県多目的広場
	10月14日(日)	松本市中大会卓球	ｽｶｲ°-ｸﾞ体育館
	10月21日(日)	中信大会軟式野球	塩尻市営球場
	10月28日(日)	松本市中大会バスケットボール	南部体育館
	11月4日(日)	松本市中大会バレーボール	清水中学校
	11月11日(日)	中信大会バスケットボール	穂高東中学校
		中信大会バレーボール	三郷文化公園体育館
	12月9日(日)	松本武道祭	松本総合体育館
忍田 行憲	7月15日(日)	県大会卓球	穂高総合体育館
川窪 武志	10月14日(日)	ぶどうの郷ロードレース	塩尻市
幸山 奈央	10月14日(日)	ぶどうの郷ロードレース	塩尻市
曾根 直紀	10月7日(日)	安曇野市中大会軟式野球	三郷文化公園体育館
征矢野勝利	10月7日(日)	松本市中大会ソフトテニス	南部屋内運動場
下里 泰伸	10月7日(日)	安曇野市中ソフトテニス	豊科南部公園
嶋崎 健一	7月15日(日)	県大会軟式野球	塩尻市営球場
	10月14日(日)	ぶどうの郷ロードレース	塩尻市
関崎 直樹	10月28日(日)	松本市中大会バスケットボール	筑摩野中学校
竹内 泰二	7月15日(日)	県大会バトミントン	ｽｶｲ°-ｸﾞ体育館
高原 祐樹	8月26日(日)	スポーツ少年団県交流大会柔道	豊科武道館
	10月14日(日)	松本市民祭柔道	松本柔剣道場
	10月21日(日)	安曇野市中大会柔道	豊科武道館
	10月28日(日)	実業団柔道大会	豊科武道館
	11月4日(日)	中信大会柔道	豊科武道館
	11月18日(日)	醍醐敏郎杯	松本総合体育館
千野 愛華	11月4日(日)	安曇野市中バレーボール女子	豊科北中学校
中條 昌信	11月4日(日)	松本市中大会バレーボール	梓川中学校
	11月4日(日)	松本市中大会バレーボール	鉢盛中学校
	11月4日(日)	松本市中大会バレーボール	松島中学校
	11月4日(日)	松本市中大会バレーボール	梓川体育館
	11月18日(日)	中信大会バレーボール	鉢盛中学校
降籬 秀徳	7月15日(日)	県大会ソフトテニス	浅間温泉庭球場
	10月21日(日)	安曇野市中大会バスケットボール	穂高西中学校
	10月28日(日)	松本市中大会バスケットボール	梓川体育館
	11月11日(日)	中信大会バスケットボール	穂高西中学校
松尾 雄太	7月15日(日)	県大会サッカー	松本平広域公園
	10月7日(日)	塩筑大会サッカー	中央スポーツ公園
	10月14日(日)	ぶどうの郷ロードレース	塩尻市
	11月4日(日)	塩筑大会バレーボール女子	塩尻西部中学校
矢口 一至	11月18日(日)	醍醐敏郎杯	松本総合体育館
矢口 日菜	11月18日(日)	醍醐敏郎杯	松本総合体育館

南信地区(担当部員 伊藤浩兼)

氏名	活動日	競技名	会場
諏訪ブロック			
伊藤 篤	9月3日	中体連水泳	すわっこランド屋外プール
赤羽 翔	10月8日	中体連サッカー	長峰中学校グラウンド

濱 ひろみ	10月8日	中体連野球	茅野市営野球場
野口 邦治	10月8日	中体連野球	茅野市運動公園野球場
伊藤 篤	10月22日	中体連バレーボール男子	岡谷南部中学校体育館
増澤 孝信	10月22日	中体連バレーボール女子	岡谷北部中学校体育館
宮坂 卓治	10月22日	中体連バスケットボール男子	茅野市運動公園総合体育館
原 隆	10月22日	中体連バスケットボール女子	富士見中学校体育館
藤田 良輔	11月12日	中体連バレーボール男子	茅野市運動公園総合体育館
大森 省吾	11月12日	中体連バレーボール女子	岡谷南部中学校体育館
大森 省吾	11月19日	中体連ハンドボール	岡谷北部中学校体育館
上伊那ブロック			
平沢 俊秀	10月7日	中体連サッカー	宮田中学校校庭
石田 国博	10月7日	〃	赤穂中学校校庭
清水 仁美	10月7日	中体連卓球	伊那市民体育館サブアリーナ
小口 幸一	10月21日	中体連バレーボール男子	辰野中学校体育館
熊谷 謙一	10月21日	中体連バレーボール女子	飯島中学校体育館
佐藤 光洋	10月21日	中体連バスケットボール男子	南箕輪村村民体育館
吉原 賢一	10月21日	中体連バスケットボール女子	伊那中学校体育館
伊東 功一	10月21日	中体連ソフトテニス	伊那センターテニスコート
片桐 宣洋	10月21日	中体連サッカー	伊那市陸上競技場
小野真理恵	10月21日	〃	伊那市陸上競技場
渡邊 尋	11月11日	中体連バドミントン	伊那市民体育館
尾曾 共春	11月18日	中体連バレーボール	伊那中学校体育館
酒井 肇	11月18日	〃	赤穂中学校体育館
飯伊ブロック			
後藤 安成	8月5日	飯田市中央道沿線親善剣道大会	飯田市武道館
北林 武文	9月9日	南信州まつかわハーフマラソン大会	松川町中央公民館
小澤 雄司	9月9日	〃	〃
矢澤 克浩	9月9日	〃	〃
木下甲太郎	9月9日	〃	〃
丸山 申介	9月9日	〃	〃
肥後 和樹	9月9日	〃	〃
木下甲太郎	10月6日	中体連柔道	飯田市武道館
関島 康道	10月6日	〃	〃
丸山 申介	10月7日	中体連サッカー	喬木中学校グラウンド
原 翔一郎	10月7日	〃	〃
後藤 安成	10月7日	〃	〃
奥村 幸志	10月7日	〃	高森中学校グラウンド
伊藤 浩兼	10月7日	中体連軟式野球	県営飯田球場
矢澤 克浩	10月7日	〃	県営飯田球場
馬場 修平	10月7日	〃	市営今宮球場
石原 尚幸	10月21日	中体連バスケットボール男子	豊丘中学校体育館
木下 陽子	10月21日	〃	〃
伊藤 睦	10月21日	中体連バスケットボール女子	豊丘村民体育館
肥後 和樹	10月21日	〃	〃
古賀 修平	10月21日	中体連バレーボール男子	旭ヶ丘中学校体育館
小池 輝宗	10月21日	〃	〃



竹内 敏弘	10月21日	中体連バレーボール女子	緑ヶ丘中学校体育館
羽生 優	10月21日	〃	〃
土屋 隆伍	10月21日	中体連卓球	高森町民体育館
田中 兼次	9月2日	中体連水泳	アクアパーク飯田
松村 秀樹	10月21日	中体連軟式野球	県営飯田球場
北林 武文	10月21日	〃	市営今宮球場
西森 六三	11月11日	中体連柔道	飯田市武道館
原 友仁	11月11日	〃	〃
木下甲太郎	11月11日	中体連卓球	高森町民体育館
竹内 敏弘	11月11日	中体連バスケットボール男子	高森中学校体育館
東垣外 竜	11月11日	〃	〃
原 幸夫	11月11日	中体連バスケットボール女子	豊丘村民体育館
原 翔一郎	11月11日	〃	〃

# 平成30年度 健康保険組合連合会長野連合会と (公社) 長野県柔道整復師会との懇談会

司会 保険部副部長 西條 賢治

平成30年12月14日（金曜日）午後4時より、ホテルメトロポリタン長野にて今年度の健康保険組合連合会長野連合会との懇談会が開催されました。

常務 霜村 巖

今回、健康保険組合連合会長野連合会で4名の方が入れ替わりました。（名前の前に※のある方々です。）

## 出席者名簿

### 【健康保険組合連合会長野連合会】

副会長 ※ 小川 憲一 様  
（長野県自動車販売店健康保険組合）  
保健医療分科会会長 ※ 中島 一志 様  
（長野銀行健康保険組合）  
保健医療分科会副会長 ※ 長谷川 裕 様  
（キッセイ健康保険組合）  
柔整師施術療養費審査委員 遠藤 進 様  
（元信濃毎日新聞健康保険組合）  
柔整師施術療養費審査委員 富澤 幸正 様  
（北野建設健康保険組合）  
柔整師施術療養費審査委員 小坂 征史 様  
（長野県自動車販売店健康保険組合）  
保健医療分科会委員 ※ 両角 孝徳 様  
（ミネベアミツミ健康保険組合）  
事務局長 中村 章 様  
（長野連合会）

（公社）長野県柔道整復師会高田保会長の挨拶

健康保険組合連合会 長野連合会 小川憲一副会長の挨拶

### 自己紹介

（公社）長野県柔道整復師会から座席順に自己紹介。

健康保険組合長野連合会は名簿の順に自己紹介を行いました。

### 議題について質疑応答

始めに健康保険組合長野連合会事務局長の中村様より要望事項の説明があり、それに対して（公社）長野県柔道整復師会副会長・柏木久明保険部長より要望について文章及び口頭で回答する形で進行しました。

その後、長野連合会・中村事務局長より質問事項について説明があり、柏木久明保険部長が質問に対し回答、酒井正彦副会長も補足の説明を行い終了。

その他について長野連合会より詳しい説明を求められ、高田保会長が説明等をする場面もあり、活発な意見交換が行われました。

次に、柏木久明保険部長より健康保険組合長野連合会に質問を申し上げ、回答及び情報をいただきました。そして要望として柏木保険部長

### 【(公社) 長野県柔道整復師会】

会 長 高田 保  
副会長 酒井 正彦  
副会長 安藤 恒久  
副会長 柏木 久明  
東信地区長 石坂 秀司  
北信地区長 西條 賢治  
中信地区長 保尊 伸昭  
南信地区長 宮下 厚

より、行き過ぎた患者調査について、必要以上の調査票により患者さんの柔道整復師への受診妨害に当たるような実情をお話した上で、患者調査にあたっては、厚労省からすでに各健保組

合に届いている患者調査に対する注意事項を、守っていただくことをお願いした。

今回も真剣な話し合いがなされ、予定時間をすっかり過ぎてしまった。



柏木保険部長の説明



健康保険組合連合会会長野連合会副会長 小川憲一様挨拶



高田会長の挨拶



# 日本柔道整復師会北信越ブロック会長会報告

会 長 高 田 保

平成30年8月9日（木）金沢市において日本柔道整復師会北信越ブロック会長会が開催されました。主な議題は以下の通りです。

## ○日整関係

1. 和歌山県・広島県・福岡県の災害に対する災害見舞金などの対応について
2. 岡山県・青森県・滋賀県・三重県の周年記念式典について
3. 柔道整復術公認100周年記念式典と全国会長会の日程について
4. 今後の広報活動について
5. 内閣府指摘事項（寄付講座）の対応について
6. 日整学術・生涯学習講習会タイムスケジュール等について
7. 公認私的研究会の新規登録について
8. 日整柔道大会について
9. 日整65周年記念式典に係る厚生労働大臣表彰の中央推薦基準について
10. 機能訓練指導員認定柔道整復師講習会の実

## 施承認について

11. 電子請求を進めるに当たっての実態調査について
12. その他の報告事項

## ○北信越ブロック関係

1. ブロック柔道大会・学術大会の日程確認
2. 役員名簿の修正
3. ブロック内規及び申し合わせ事項の変更
4. その他

会議後、金沢大学大学院医薬保健学総合研究科臨床研究開発補完代替医療学講座鈴木信孝先生とそのチームスタッフによる講演会が行われました。演題「未病と健康：地域健康サービス 体質判定と五大養生法」かかりつけ薬局からヒントを得た、かかりつけ柔整師の展望及び体質毎の健康管理についてのお話を拝聴しました。

# 日本柔道整復師会北信越ブロック会長会報告

---

会 長 高 田 保

平成30年10月24日（水）長野市において日本柔道整復師会北信越ブロック会長会を開催しました。主な議題は以下の通りです。

## ○日整関係

1. 平成30年7月豪雨対応についての報告
2. 被災会員に対する日整災害見舞金について  
\* 県外への災害見舞は各県対応とすることに決定
3. 日整常置機関設置規程の改正について  
①政策部の情報管理室を総務部に異動

②保険部の介護対策課を廃止して地域包括ケア推進室を置く

4. 福島県・千葉県・埼玉県・日本柔道整復師会周年記念式典における表彰申請についての報告
5. 全国会員の叙勲申請状況についての報告
6. その他
7. 本県からの報告事項  
当会の周年記念式典を平成31年7月7日（日）メルパルク長野で開催するに当たり北信越各県は正副会長を招待する。

# 平成30年度 日本柔道整復師会 北信越ブロック理事会（秋）報告

副会長 酒井 正彦

平成30年10月13.14日、平成30年度日本柔道整復師会北信越ブロック秋の理事会が石川県金沢市のホテル金沢で北信越ブロック5県の正副会長全員、ブロック監事2名、相談役2名、開催地石川県からのオブザーバー7名を加えた28名で開催された。

林豊輝北信越ブロック会長の日整の動向を含めた挨拶の後、以下の各県からの提出議題について活発な意見交換が行われた。

## 《各県からの提出議題》

### ・【福井県】

平成30年5月24日付で発出された「柔道整復師の施術に係る療養費の算定基準の留意事項（通知）」等の一部改正により各県において負傷原因の不備等で返戻されるなど、何か変化はあるか

### ・【石川県】

現在、「こども医療費助成制度」の取り組みについて、各県及び各市町村で温度差がある様に思われる。

そこで、各県の「こども医療費助成制度」現状をお聞かせ願いたい。また、現物給付を導入している場合は、導入に至った経過をご教示願いたい。

### ・【新潟県】

北信越ブロック理事会のあり方について

### ・【富山県】

「広告の制限」に関して、各県の対応は如何でしょうか

### ・【長野県】

本会と支部を一体化している新潟県、石川県にお尋ねします。

公益事業を円滑に行うために支部にも本会に準じた部を設置しているでしょうか。

設置している場合、部の名称と部員数と部会の回数及び部会の際の費用弁償はどのようにされているでしょうか。併せて支部役員（支部長、支部の部長等）に役員手当は支給しているでしょうか、支給されている場合はその額もご教示をお願い致します。

また、全県にお尋ねしますが会員への連絡の手段のご教示をお願い致します。

## 《日整保険部関係説明会の開催》

理事会終了後、昨年度まで日整会館に集結して行われていた日整全国保険部長会議に変わり日整保険部員が各ブロックに出向いて説明を行う日整保険部関係説明会が行われた。

今回は、日整保険部より森川保険部長、伊藤保険部理事、酒井部員が派遣され、今年度実施に移された多くの制度改革について詳細な説明がなされた。



## 北信地区柔道整復師会理事研修会開催

保険部 宮本 義豊

7月27日金曜日、会館にて長野市保健福祉部の各課長を講師としてお招きし、北信柔道整復師会理事研修会が行われました。これは円滑な保険業務の推進を図る事を目的とする研修会ではありますが、それより相互の信頼と交流を高める場として最適な研修会でもあります。

酒井名誉会長の挨拶として、この会が始まるきっかけとなった経緯を話されました。引き続き西條会長が保険者とこのような会を催している会は他ではほとんど見られないと、良好な関係を築き上げている旨を話されました。

長野市からは長野市保健福祉部、高齢者活躍支援課、課長海沼 充様、係長荒木 茂様、地域包括ケア推進課、課長下條 正雄様、介護保険課、課長北澤 正志様、医療連携推進課、課長小林 祐二様、国民健康保険課、課長飯島 康明様、係長宇都宮 庸雄様、総勢7名が出席され、北信柔道整復師会からは酒井名誉会長、西條会

長、田中副会長ら理事7名が受講致しました。各課より資料が用意され、そのテキストに則り議事を進めていきました。日頃の業務に関する事、各課の取り組み等の報告がなされ、それに対し疑問点を質問し、またこちらの要望をお伝えする非常に活発な意見交換が行われました。

今現在、長野市と当会は非常に友好的な関係を持ち、行政とはお互いによく連携がとれているように思われます。これも偏に先代理事の先生方や、このような研修会を開催することにより、お互いの歩み寄っていく、受け入れるべきところはしっかりと受け入れ、意見を述べるときには、根拠を示して述べていく関係が成り立っているからだと思います。

そんな良好な関係がいつまでも続きますように、この理事研修会はとても重要な位置を占めていると思います。







# ウィンターイルミネーション

中信地区 永澤 健志

雨がしとしと降る中、12月23日に国営アルプス安曇野公園（堀金・穂高地区）へ夜7時頃にイルミネーションを見るため、家族で出かけました。

自宅の塩尻北インターの付近から下道で約35分と意外に近いと感じました。また、最寄りである安曇野インターチェンジからも約20分ということで、車での移動は比較的に楽な位置にあるかと思います。電車ですと、JR大糸線の穂高駅からの周遊バスか、豊科駅からタクシーという経路となるそうです。車を運転していくと、駐車場に着く前からすでにイルミネーションが点灯しており、あ～きれいだな～などと思いつつ到着しました。

その日は、クリスマス前ということもあり、カップルのような方や、家族連れの方々、外国の方々など賑わっていました。今年のテーマは、「アルプス一千の煌（きら）めき」という事で、堀金・穂高地区での見どころは日本最長

500mの光のトンネルで、それがメインスポットでした。ちなみに、大町・松川地区では、日本最多（H30.9.30現在）である500個の光のハートが目玉だそうです。

いざ、駐車場から安曇野公園入口に行く間の木々までもが電球で装飾され、ぱ～っと明るいイルミネーションに圧倒されました。また、入り口も豪華に飾られ写真を撮っている方が多数おりました（私もその一人でした）。入場料を払い、公園に入ってみると様々なイルミネーションがあり、ついつい写真を撮りたくなる感じでした。そして、500mのトンネル！行ってみると、まあ、きれいなところでした。トンネルもそうでしたが、池の上に装飾された様々なものやお城みたいなものが、音楽に合わせて次々に点灯したり消灯したりと、とても幽玄な雰囲気でした。きれいだね～などと言いながらトンネルをくぐって、写真を撮っているとあっという間に一周してしまいました。当日は、花火の打ち上げが8時よりあり、イルミネーションとテンポのあった花火で、真近で見られて圧倒されました。

実質1時間半くらいでしたが、とても良い時間を過ごせました。また、夏にもサマーイルミネーションを行っているので、夏の夜の楽しみとなりそうです。



## 第4回 南信州まつかわハーフマラソン大会 救護活動報告

南信地区 飯伊ブロック 丸山 申介

9月9日(日)天竜川・南アルプスを望む「くだもの里まつかわ」高低差250mの段丘を駆け抜ける伊那谷屈指のアップダウンコースにてハーフマラソン大会が開催された。

種目はハーフ・5km・3km・3kmファミリーがあり、今年は全国25府県また海外香港から総勢2,049人が参加された。

松川町中央公民館えみりあ1階会議室に「ランナーケアコーナー」が設置され、北林武文会員・小澤雄司会員・矢澤克浩会員・肥後和樹会員・木下甲太郎会員(計6名)とともに参加した救護活動について報告する。



午前7時活動開始。天気曇り時々雨。ケア・処置を行ったのは延べ80名(男性46名・女性34名) 処置件数は162件(利用者が処置を希望された件数)

主な部位は足部43件/大腿部33件/下腿部30件/腰部21件/膝関節18件/肩関節6件/頸部2件/臀部2件/股関節2件/踵部2件/肘関節1件/足底部1件/足趾部1件であった。その他救急隊への引き渡し1件であった。午後1



時30分活動終了。

当日は雨が降ったりやんだりの天気で、毎年のような急激に気温が上昇することはなかった。来所時、全ての利用者に体調の確認、必要に応じてバイタルチェックを行った。レース前のコンディショニングで来所される方は少なく、レース後のケアで来所された方が圧倒的に多く、対応しきれないこともあった。

その中で無事にゴールを迎えたものの熱中症・脱水症状の疑いで下肢の筋痙攣になった方が1名おり、直ちに必要な応急処置を施したが症状が改善されないため、病院での処置が必要と判断し救急搬送を要請した。(下伊那赤十字病院へ搬送)

今回のような経験を通じて、日頃から自分たちでバイタルを確認できる知識と術をできるだけ多く用意しておく必要があると強く感じた。また体温計・血圧計・パルスオキシメーター(血液血中酸素濃度計)などの機器の準備・活用も必要である。日々の診療で施術前に患者様の状態を把握できる手段にもなりますし、我々自身の危機管理のためにも必要であると感じたので、次の救護活動に活かしていきたい。



## オルト会のご紹介

北信地区 窪田 勝

当会は、更埴市のころより10年以上に亘って年6回勉強会を開催する私的研究会です。

長野赤十字病院リハビリテーション科部長の加藤光朗先生に講師をお願いし現在15名の会員が参加しております。一度の休講もなく気がつけば干支が一回りしていました。

先生は、日本整形外科学会専門医・日本リハビリテーション、医学会専門医・日本体育協会公認スポーツドクターの資格を持ち、現在長野県体育協会医科学サポートドクターとしてスポーツ医科学サポート会議の講師、マルチサポート事業の帯同トレーナーとして国体帯同、長野オリンピック後の競技力向上のための人的物的環境資源を活用して子供たちに世界で活躍するアスリートとなる夢とチャンスを与えることを目的としたswanプロジェクト (Superb Winter Athlete NAGANO) のチームドクターおよびアイススレッジホッケーナショナルチームドクターを歴任されております。

また、(公社)長野県柔道整復師会の審査会審査委員もお願いしております。

当会はもともと更埴地区の医接連携がスムーズできるようにと現在の千曲市、坂城町の会員に声をかけ発足しました。現在は県副会長であります酒井先生の施術所をお借りして医科はもとより薬科、海外の話題など様々な時事情報を毎回多くの資料とともに講義していただいています。また普段の診療に役立つ情報を会員同士で共有し、時には先生も含め皆で実技やディスカッションをして和気あいあいとした雰囲気の中楽しく勉強会を開催しています。紹介患者の経過や今後の対応についてのご指導、ヒントを毎回丁寧にご説明頂き会員一同大変感謝しております。

最後になりますが、会の名称は、ドイツ語のorthopädie (オルトペディー) 整形外科学を基に加藤先生が命名してくださいました。



## 南部勉強会

南信地区 仲間 充基

飯田市より南に位置する山間で決して交通の便が良いとは言えない地域である阿南町、下條村、天龍村、飯田市南信濃地区にある5つの接骨院が吉澤勝喜先生のお声掛けで、長野県立阿南病院（以下阿南病院）と良い信頼関係を築く事を目的に、平成12年に南部勉強会として発足致しました。この活動を通じて医師と直接お話しさせて頂く事が地域の健康維持・増進の手助けに繋がると信じて活動をして参りました。その基本理念を崩す事無く、発足から現在に至るまでの18年間、計6名の医師の協力を得ながら継続して参りました。

今年度は飯能靖和病院リハビリセンター・センター長の本田哲三医師にお願いして高次脳機能障害について、シリーズで講義して頂きました。また、大雄会総合大雄会病院整形外科部長

である犬飼智雄医師に手の外科、特に人工神経について講義して頂きました。普段聞くことの出来ないお話しばかりで非常に興味深く聞かせて頂きました。

来年度は引き続き本田医師にお願いをし、そして犬飼医師の様な以前お世話になった先生方にも講義のお願いをして、阿南病院又、整形外科に囚われることなく様々な医師に協力を仰ぎ知識を深めていきたいと考えております。

また、今現在南部勉強会の会員は10名で構成されております。この10名で個々の知識や技術の向上を図りつつ更に、横の繋がりを強くする事を重点的に進めていきたいと考えております。そして、この活動がより強固な協力体制を阿南病院と結べると考えております。



## 中体連秋季新人戦佐久大会・東信大会スポーツ支援部報告書

東信地区 廣川 喜博

平成30年10月6日（土）から11月4日（日）までに行われた中学校体育連盟（以後・中体連）秋季新人戦佐久大会及び東信大会に、中体連事務局より本会スポーツ支援部に医務系の依頼があり参加いたしました。

私は、飯田市駄科の三聖接骨院の研修していたH14年から自院開業後の現在まで16年間中体連夏季・秋季大会の医務係・地域スポーツボランティアに参加しています。医務係・スポーツボランティアに参加し、選手の外傷・障害の処置だけでなく、以前より顧問や外部コーチからのけがの予防法やトレーニング方法・熱中症対策などの相談を受ける場面も増えてきたと感じます。中体連事務局・専門部も生徒の安全な医療やスポーツ環境を求めている事、また競技中だけでなく日常生活においても人間力の成長を目指しているためと感じます。

今回、柔道整復師を目指し上武大学に通学している女子学生（二年生）より、大学のカリキュラムの一環で外部実習の依頼があり、中体連秋季新人戦佐久大会・東信大会の医務系のサポートとして同行参加していただきました。大学の授業と実際のスポーツ大会の外傷現場との違いに緊張していましたが、処置後に質問したり、メモを取ったりしていました。H30年11月3・4日の女子バレーボール佐久大会の医務係の際は、選手やコーチも女性医務係がいることに安心したこと、同時に女性でも柔道整復師になれることに驚いていました。まだまだ柔道整復師には、男性のみ職種イメージが強いのだと感じました。大会中は、選手及び保護者に大きな外傷やアクシデントも少なく、大会を終える

ことが出来ました。教員の労働時間改善・部活動の在り方などにより、今後変更などあると思いますが、これからも未来ある子供の為に、中体連のサポートを行っていこうと思います。

平成30年11月17・18日に名古屋市で行われた第27回日本柔道整復接骨医学会学術大会にて米田病院院長・米田 實 先生はじめ早川 雅成 先生など講師より、柔道整復師科の学生時代に外傷現場の経験や技術伝承の重要性について言及されていました。今後の業界の課題でもあると思います。

後日、上武大学に通学している女子学生より外部実習報告書がありました。本人の了解を得てこの場に掲載し、H30年東信地区スポーツ支援部活動を無事終了したことをご報告いたします。

### 外部実習報告書

上武大学 ビジネス情報学部スポーツ健康マネジメント学科  
柔道整復師 コース 二年

今回は、学校カリキュラムである5日間の外部実習を長野県小諸市にある元喜接骨院で経験させていただきました。

5回の外部実習では、H30年10月6日から11月4日までに行われた中体連秋季新人戦サッカー・バスケットボール・バレーボールの佐久大会・東信大会の医務係を務める元喜接骨院の廣川 喜博 先生に帯同し、実際のスポーツ現場にて実習させていただくことで、たくさん学ぶことが見えました。医務係には、サッカーの選手やバレーボールの選手のOsgood-Schlatter-disease やバスケットボール選手の Sin-splints など予想していた怪我のケアだけでなく、試合中に相手選手と衝突・転倒し、TFCC 受傷した選手もいました。

また土曜日の試合後に、午前中に元喜接骨院に来院された中手骨捻転骨折の患者さんの骨折整復現場を見学させていただき、整復前後の骨折部の変化や整復後の患者さんの笑顔を体験させていただきました。外部実習を行わなければ、このような経験はできなかったと思います。私自身、今回の外部実習を行うまでは、大学の授業で学んでいる事と実際の怪我との関連性、競技種目ごとの外傷・受傷する経過など色々な部分で曖昧なイメージで実感できなかったです。しかし、今回の外部実習で体験したことで、今後の大学生活の中で実践をイメージしながら実習や勉強に取り組んでいこうと思います。

大学の授業だけでは、骨折や脱臼の整復を実際に現場で目にすることは少ないです。外部実習は、学生の間に柔道整復師とは、どのような検査判断方法を行い、整復法・問診法・固定法・施術後の患者さんの笑顔などを体験することで、大学卒業後の柔道整復師としての人生にとっても貴重で意義のある経験だと私は考えます。

今回の経験を大学に持ち帰り、大学生活の中で応用し、活かしていきたいと思っています。今回は、大変貴重な5日間の経験をさせていただいた長野県中体連東信地区の専門部の先生方と元喜接骨院の廣川先生に感謝申し上げます。



## 生涯野球でつながる

北信地区 石田 拓未

私は現在、「生涯野球」という野球チームで野球をさせて頂いています。このチームは上山田病院の整形外科医としてご活躍されております吉松俊一先生が立ち上げた軟式野球チームです。メンバーには、上山田病院の吉松俊紀先生を始め、千曲中央病院のスタッフや中学校の先生など様々な方が集まり、年齢層も20代～60代ととても幅広くなっています。

そもそも私がこのチームに入るきっかけになったのは専門学校の時です。専門学校でも野球をしていた私は全国大会へ出場し、大阪でプレーすることができました。スタンドには理事長と当時整形外科の特別講師をされていた吉松俊一先生が応援に来られていてびっくりしたのを今でも覚えています。その試合は惜しくも負けてしまいましたが、私のプレーが良かったのか吉松先生から生涯野球チームへと誘われることとなったのです。

チームは軟式野球連盟に加入しており毎年4～5回の大会に出場します。メンバーそれぞれ仕事が忙しく全体練習はありませんのでいつもぶっつけ本番になり、正直なところ試合に勝つことは難しいです。それでも皆野球が好きな人ばかりなので、エラーしても明るくプレーを楽しんでいます。そんなチームが私は好きです。学生の頃と大人になってからとでは野球に対する考え方が変わり、とにかく楽しくという考え方になりました。これは「生涯野球」という文字通り生涯続けていくためには、とても必要な要素で他のことでも言えることです。それは、いつも前向きにさせてくれる吉松俊一先生を見ていると納得できます。

軟式野球連盟とは別に、毎年東北信で行われる全日本生涯野球大会（通称お父さんの甲子園）があります。北は東北から南は九州まで野球好きのチームが集まります。生涯野球大会というだけあって最高年齢90歳という年もありました。40歳50歳でプレーすることも凄いことですが、70歳80歳で当たり前のように相手にボールを投げ、バットを振り、更にはヒットを打って走っていく姿は唯々感銘を受けるばかりです。

吉松俊一先生と野球をしていると元軟式野球連盟会長の方や元プロ野球監督の古葉さんなどいろいろな方とお会いすることがあります。患者様とも野球を通じてつながることは多々ありますが改めて野球でのつながりを実感しました。古葉さんは私が生まれる前にご活躍されていまして、もちろんプレーの内容などはわかりませんが立ち姿など姿勢もよく、凄い方だったんだなと個人的に感じるが多かったです。

ここ数年は、吉松俊紀先生の整形外科チームでプレーすることが多いですが、職業関係なくみんなで冗談を言い合いながら楽しくやらせて頂いております。

吉松俊一先生を始め大先輩方と一緒にプレーすることはとても良い経験ができ、試合の後は清々しい気持ちになり仕事に良いモチベーションで入ることができるのでこれからもできる限り参加していこうと思っています。

そして今度は、夢を追いかける子供たちに野球の楽しさを伝えていけるように頑張りたいです。





## 私と松本山雅FC

中信地区 竹内 泰二

私は松本山雅がJ2に上がった2012年の6月頃、娘の誘いで初めてアルウィン（松本広域公園球技場）で観戦をして、1試合を観て松本山雅の応援にはまってしまいました。最初は選手の名前も背番号も判らず、カラフルなシューズを観て、どの選手か見極めていました。その年から松本山雅の監督が反町康治さんとなり、反町監督といえは、北京オリンピックの日本代表監督であったことは、私も知っていました。今も世界で活躍している香川選手、長友選手を見出した監督です。必然と勝利を期待します。反町監督の戦略は全員攻撃、全員守備のスタイルで一人でもさぼっていると、その選手は次回から出場させてもらえません。センターバックの飯田真輝選手は普段はゴールキーパーの前にはいますが、コーナーキックなどのセットプレーのときは、相手キーパーの前においてヘディングシュートで時々点を取りますが、決めきれず、相手にボールが渡った場合には、全速力で戻って守備に就きます。FW（攻撃）の高崎寛之選手は相手のコーナーキックのときは、味方のゴールキーパーの前において守備に就き、味方がボールを持った時には、全速力で相手陣内に向かって走っていきます。このように全員攻撃、全員守備が徹底され観ている人を感動させられます。又応援の方は、ウルTRAS松本と言うグループが応援の先頭を切って誘導してくれます。太鼓が打ち鳴らされている時は続けて応援をして、太鼓が止まったら応援チャントが終わります。気持ちが良いほどピタット止まります。一万何千人もの声がピタット止まり静かになります。又応援していても、主審の判定に不満が起きることがあり時々ブーイングする事がありますが、ウルTRASの人からは、判定が覆されることはなくても、より一層声をあげて応援しようという層の奮起を促されま

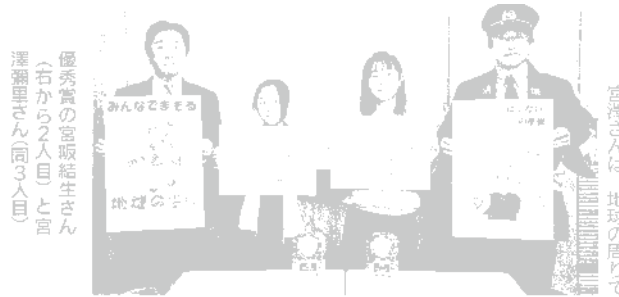
す。又、本年のアウェーの新潟戦は、松本山雅戦の後に山雅の応援席にゴミが一つもなく、試合前よりも試合後がきれいになったと新潟スワンスタジアムよりお礼の連絡があるほど、サポーターとして人のゴミであろうと持って帰ります。そんな松本山雅のサポーターが世界に誇れる存在となり、今では松本山雅の応援が大好きとなりました。

2012年はJ2で11位、2013年はJ2で7位、2014年はJ2で2位となりJ1に自動昇格となり始めて2015年はJ1のチームと戦う事となり、日本代表選手等をアルウィンで目の前で見ることができ、感動したことを今でも覚えています。しかし、その年はJ1で16位となりJ2に降格となりました。2016年はJ2で3位となりJ1昇格プレーオフに回り、後半のアディショナルタイムに点を入れられ、J1昇格はなりませんでした。2017年はJ2で8位となりJ1昇格は無理と思われましたが、本年2018年11月17日の徳島戦で引き分けとなったが、優勝争いをしている大分と町田が共に引き分けた為、松本山雅がJ2優勝とJ1再昇格を勝ち取る事ができました。本年は最高の一年となりました。来年はJ1残留を目指して、しっかりと応援したいと思っています。J1の神戸がヨーロッパで活躍している選手を補強するため、特に、神戸戦はアルウィンに観に行くのが楽しみです。また、J1のサポーターはアウェーでも沢山来てくれます。特に浦和レッズ、FC東京等はアウェー席が全部埋まり、人文字等を作って応援します。松本山雅も負けてはいられません。ホームアルウィンでは相手に負けないよう応援し、J1残留を果たしたいと思います。皆さんも是非応援して下さい。



# 「コンク 賞者表彰 組合連合会

「コンク」は非常用の備蓄品 担子木 を描き、災害への備えを表し 予防を た。「今年、虹の架け橋プロ になって ジェクトに参加し東北へ行っ とが あた。被災者から聞いた言葉を た人に 書いたので、見た人に伝わっ って描 てほしい」と願った。



優秀賞の宮坂結生さん (右から2人目)と宮 澤瀬里さん(同3人目)

# 「運動会」 児童支策しむ



茅野市の玉川少年野球連 盟は14日、玉川小学校グラ ウンドで行った秋季大会 で、長年続いた運動として の歴史に幕を下ろした。

「玉川少年野球連 盟」の歴史は、1951年(昭和26年)に玉川小学校で創設された。当時は、玉川小学校のグラウンドで行われていた。長年続いた歴史を持つ運動会として、今年で幕を下ろした。

# 高齢者の健康に柔軟体操 市が教室



諏訪市高齢者福祉課は22日、同市湖 南の多世代交流施設「なかよし広場」 で「健康柔ら体操教室」を開いた。7 人の市民が参加し、柔道整復師のアド バイスを受けながら、簡単にできる柔 軟体操や筋力アップのための運動をし た。

市内の65歳以上を対象に健康維持を 目的に開いている。講師 は諏訪ブロック柔道整復 師会のメンバーが務め、 この日は木村浩士さんと 原隆さんの2人が指導に 当たった。

参加者は2人から手ほ どきを受けながら、タオル やボールを使ったスト レッチや手軽にできる筋 力トレーニングをして、 心地良い汗を流した。

同教室は今後も週1、 2回の頻度で市内の公共 施設で開く。参加費は無 料。問い合わせは同市高 齢者福祉課(電話52・ 4141)へ。

多くの人が手をつなぐ絵で、 地域住民が子どもを守るよう 訴えた。一細かいところまで 頑張った。受賞で きてうれしい」と喜んだ。

市内の小中学生と一般から 356名の応募があった。9 月に審査し、最優秀賞1点、優 秀賞2点、防火管理協会長賞 1点を選んだ。佳作以上の40 点は11月27日、12月20日、諏 訪市役所ロビーに展示する。

▽ホルインワン 矢島勤、 130(高沢英夫(湖南) 13

【女子】①山口正男13、 ②小口富太郎13、③小口 富太郎13、④小口富太郎13、 ⑤小口富太郎13、⑥小口富 太郎13、⑦小口富太郎13、 ⑧小口富太郎13、⑨小口富 太郎13、⑩小口富太郎13

【男子】①山口正男13、 ②小口富太郎13、③小口 富太郎13、④小口富太郎13、 ⑤小口富太郎13、⑥小口富 太郎13、⑦小口富太郎13、 ⑧小口富太郎13、⑨小口富 太郎13、⑩小口富太郎13

【女子】①山口正男13、 ②小口富太郎13、③小口 富太郎13、④小口富太郎13、 ⑤小口富太郎13、⑥小口富 太郎13、⑦小口富太郎13、 ⑧小口富太郎13、⑨小口富 太郎13、⑩小口富太郎13



## 入会のご挨拶

東信地区 中曽根接骨院

中曽根 慧  
中曽根道子

この度、平成30年6月に（公社）長野県柔道整復師会に入会させて頂きました中曽根 慧（なかそね けい）です。私が、柔道整復師を目指すきっかけになったのは小学生時代からお世話になった接骨院の先生の存在でした。小学3年生からサッカーを始め、様々なケガをするたびに接骨院に通い治療していただきました。治療の中ではテーピングをして頂き、それは私にとってとても心強く心身両面で支えとなってくれました。この様な経験から、私も柔道整復師になり痛みを悩む方々に何かお手伝いをして支えになりたいと思い、千葉県の上徳寺大学に入学しました。卒業後は千葉県船橋市の早川接骨院にて約7年勤務し多くの事を学びました。その中で技術面では包帯やテーピング、超音波診断装置を用いた画像観察等様々なこと、精神面では「治す」ということ、「感謝」ということ

等丁寧に指導して頂き充実した日々を過ごすことができました。

そして早川接骨院退職後、職場の同僚であった柔道整復師の妻（道子）と婚約し、平成30年7月に東信地区上田市にて中曽根接骨院を開院することが出来ました。

開院して月日は浅いですが毎日感じることや考えることは様々あり、自分達の未熟さや至らなさを毎日痛感しております。以前より早川接骨院では「患者様は皆、師である」と指導を受けておりました。この気持ちを忘れず、超音波診断装置を用いた「痛みのみえる接骨院」をスローガンに掲げ、患者様の目線に立ち「今何が必要なのか」を常に考え柔道整復師として人として、夫婦で成長してまいりたいと考えております。まだまだ未熟な私たちですが、今後ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。





## ご挨拶

東信地区 いわむらだ鍼灸・整骨院 横井 秀就

初めまして、千葉県習志野市出身の横井ひでなりです。H30年4月に奥さんの実家がある長野県佐久市に引っ越し、6月より岩村田商店街の中に夫婦で「いわむらだ鍼灸・整骨院」を開業させて頂きました。

まず、私が柔道整復師に興味を持ったのは、小学6年生の時に股関節の怪我をして、痛みを我慢しながらサッカーをしていた時に出逢った先生がきっかけでした。

この痛みは3年間どこの整形外科・治療院に行っても変化はなく、常に痛みがある中でサッカーをしていたのですが、高校に進学し、先輩から勧められた鍼灸整骨院で、いままでとは違う新しい手技と鍼灸治療をしてもらいました。初めての治療はとても痛かったのですが、3回目の治療後の部活動では痛みが半減し、すごく嬉しく感動しました。また、その先生が「必ず治る」「あと3回」などの言葉をかけてくれたこともあり、凄く安心して治療を受けられました。自身が怪我を経験し、長い期間痛みを耐えながらの運動はとても辛く、もし痛みを早期に治していたら、より良いパフォーマンスが出来ていたら、技術の向上に時間をかけられたら、などと考えると悔しい気持ちです。

このような経験から、治療する・治すということに興味を持ち、身体だけでなく心のケアも出来る柔道整復師になると決めました。そして高校卒業後、まずは経営学を学ぶため亜細亜大学に進学、卒業後、東京の了徳寺学園医療専門学校にて、自身の怪我を治してくれた整骨院で研修をしながら柔道整復師と鍼灸師の資格を取得しました。

卒業後、もっと自分の知識・技術を増やしたい、もっと新しいことへチャレンジしたいと思い、リアルスタイルという会社に勤めることにしました。そこで、治療技術の他に、分院の新規開設にゼロから携わったり、分院の閉店に至るまでや、分院立ちなおしの為院長になったり……と、様々なことを経験させてもらい、気付けば6年が経過、自信が付き、そこでまた新たな一步を踏み出そうと、ここ佐久に開業となりました。

私のモットーは《早期回復・早期スポーツ復帰・怪我予防》です。ここでポイントとしているのは、痛みから安静にして休ませるのではないということです（症状によって休ませることもあります）。痛みが出る動作は制限して、痛みが出ない動作やコアの部分はしっかりとトレーニング、痛みが出る原因を理解させ、原因の修正をする事で今後の痛み・怪我を予防できる身体作りをするところまで行っています。

また、夫婦で柔道整復師・鍼灸師の資格を持っているので、幅広い疾患・年齢層に対応できることや、特に女性のデリケートな痛み・悩みのケアが強みです。院長・スタッフという立場関係も無く、それぞれ言いたいことがストレートに言えてしまい、度々ぶつかることはありますが、それも院をよくするため、より良い治療・より良い環境を患者さんに提供する為に必要な事と思い、毎日を精一杯歩いています。

まだまだ未熟な2人です。今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願ひ致します。



## ご挨拶

北信地区 ひびき接骨院南長池 **大川 泰裕**

南千歳にある「ひびき接骨院」は平成30年10月に南長池へ移転予定でしたが、患者さんへお伝えしたところ、「通えなくなってしまう」「南千歳に残ってほしい」といった多くの声が寄せられました。

「株式会社 響き」として二院目となる「ひびき接骨院南長池」を長野市南長池に開院させていただきました。二院目とはいえ、ひびき接骨院南長池はゼロからのスタートになります。

多くの方に支えられながら7年間積み上げてきたひびき接骨院南千歳の「思いやり」「優しさ」「創意工夫」の理念に新たに「チーム力」を加えていきます。

スタッフ同士での技術の確認・意見交換を行い南千歳に劣らない施術を行っていかれたらと思います。

二院体制になりスタッフは分かれますが、「南千歳が…」「南長池が…」ということなくひびき接骨院はチームで施術を行っていきます。ひびき接骨院長池は大川泰裕が管理柔道整復師とし施術を行っていきます。

まだ走り始めの接骨院になりますが、ご指導・お鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

ひびき接骨院の紹介となりますがご挨拶に代えさせていただきます。





## 自己紹介

北信地区 丸山整骨院 **丸山 隼輝**

はじめまして。この度、長野県柔道整師会に入会させていただきました丸山隼輝（まるやまとしき）です。

北信ブロック長水地区・飯綱町で丸山整骨院を開業させていただいております。

入会は平成30年の6月ですが、父の元、丸山整骨院で仕事を行うようになって6年程になります。

最初のころは患者さんへの対応の仕方、施術

の方法など戸惑うことが多く焦ることもありましたが、今は一人で施術を行うことが多くなり、何とか患者さんへの対応を焦らず行えるようになりました。昨今の整骨院、接骨院を取り巻く状況は大変厳しいと聞いており、私もそれを実感しております。これからも来院して下さる患者さんを大切にして少しでも地域に貢献できればと考えております。

これからも宜しくお願い致します。





## 自己紹介

北信地区 三木整骨院 **三木 一晃**

初めまして。私は三木一晃（みき かずあき）と申します。平成30年7月に須坂市で三木整骨院を開業させていただきました。開業する前は大町市の松下整骨院にて叔父の松下幸喜先生の下、研修させていただいておりました。

私は小さいころからいろいろなスポーツに親しみ、小学校のころの夢にはスポーツ選手などと書いていた覚えがあります。柔道整復師の先生には小学校の頃からお世話になっており、身近な存在ではありましたが、当時は将来目指す職業ではありませんでした。柔道整復師を目指すようになったきっかけは、大学で燻っていた私に松下先生が柔道整復師の素晴らしさを示してくれたこと、それから当時所属していたバレーのクラブチームでケガ人が出て適切な処置が行えずにいいパフォーマンスを発揮することができず、悔しい思いをしていたことです。

研修してきて気づいたことは、世の中には普段から痛みなどの不調を抱えたまま仕事をしたり生活を送っている人たちがたくさんいます。しかしながら、痛みを自覚しているのに大したことないと自己判断して重症化してから来院する患者さんが多いということです。そういった患者さんに施術して楽にしてあげるのは当然ですが、症状が繰り返さないように、そして重症化する前に医療機関にかかるように「指導」するのが大切だということです。平均寿命が延び80歳の高齢者なんて当たり前の時代、長く健康に生きていくためにはそういうところが大事なのではないかと思います。

まだまだ未熟なところはありますが、患者さんに信頼される柔道整復師になれるようにこれからも努力し学んでいきたいです。





## 自己紹介

中信地区 丸接骨院 太田 遵

平成30年8月に安曇野市豊科高家で【丸接骨院】を開業しました太田遵と申します。

私が柔道整復師を志したのは、私自身がけがの多いサッカー人生を過ごしてきた経験からです。親身にけがを治していただき、接骨院の先生にあこがれを抱いていた時に、ちょうど高校の先輩から「柔道整復師」という資格を教えてもらい、志すこととしました。

そして、長野県信州医療福祉専門学校で学び、国家資格を取り、長野市の『ひびき接骨院』で研修を積んでまいりました。

その中で「世の中にはこんなにも多く身体のことによって困っている人がいる」という現実を目の当たりにし、柔道整復師という仕事の大きさを知りました。

日常生活において怪我をしてしまう方、スポーツをしてけがをしてしまう方、そのような方に多く接する中で、一日でも早く「現場復帰さ

せてあげたい」「痛みがなく日常を送れるようにしてあげたい」「スポーツができるようにしてあげたい」といった思いが強くなっていきました。治療をさせていただき、お身体が良くなる方々を見て、「もっと困っている人を治療し、笑顔になってもらいたい」と切に願い、勉強を重ね、はれて自分の生まれ育ったこの安曇野で開業することができました。

これまで、技術、知識、患者さんに対する思いなど多くのことを学ばせていただきました。これまで学んだことをもとにさらに研鑽を重ね、患者さんと向き合い一人でも多くの方に笑顔になっていただける柔道整復師を目指していきたいと思います。

すべてが完璧な人間はいないと思っておりますが、完璧に少しでも近づけるように日々学び、一步一步歩んでまいりたいと思いますので、これからよろしくお願いたします。





## 自己紹介

中信地区 ホリウチ接骨院 堀内 光春

皆様、はじめまして平成30年8月7日より大町市大町にて「ホリウチ接骨院」を開業いたしました堀内光春と申します。

私は幼少期から体を動かす事が大好きで色々なスポーツをやってまいりましたが怪我とは無縁でした。軽度な打撲や捻挫はたまにありましたが一晩寝れば痛みは無くなり、すぐに走り回れるようなものばかりでした。そんな私にターニングポイントが来たのが24歳の時でした。スノーボードのアスリートとして全日本選手権へ、世界へと頑張っている最中、練習中のワンメイク（ジャンプ）で右前腕が右膝関節部屈曲位の中に入ってしまい固定されたまま着地、右肩関節に激痛が走り即病院へ。しかしレントゲンを撮って診断された結果は骨折無し、脱臼無しという診断で、湿布をもらいました。この時、私はいつものように一晩寝れば治るかな！と思ってしまいました。ですが何日経っても痛みが取れず、そのうち治るだろうと素人の自己判断をしたせいで肩関節が拘縮して動かす事が出来なくなり、無理して動かすと激痛に苛まれる負のスパイラルに陥りました。そんな中で柔道整復師の先生と出会い2ヵ月程の期間で治していただきました。自己流で色々試して回復の兆しが無かったのに、専門家に任せるとこんなに順調に可動域が広がっていくのに驚かされました。

その後、アスリートを続けながらスキー場パ

トロールの仕事をやるようになりました。ゲレンデで怪我をしたお客さんの簡易固定や三角巾で処置して病院へ送るという仕事でした。ある年から柔道整復師がスキー場に接骨院として入るようになりました。ゲレンデでは骨折や脱臼がとても多く、我々パトロールは施術する資格も知識も無く極小な疼痛緩和姿勢で固定するのはと違って、柔道整復師は怪我状態を観察し、整復できると判断したコーレス骨折や肩関節前方脱臼を整復して、今まで苦痛の表情を浮かべてチアノーゼで顔面蒼白だった人達がウソみたいに血色が良くなり笑顔で話し出したことを見て、自分もこの道へ進もう！そう思いました。

そこからは、岐阜保健短期大学の柔道整復師学科で学生をしながら接骨院で見習いをさせて頂き、国家試験合格後は埼玉県で接骨院と整形外科で修業させて頂き今日、地元である大町市で開業いたしました。

開業して数か月経ちましたが、患者様方の施術の前後でペインスケールが減り笑顔で帰られて行く姿はこの職種に就いてよかった！とつくづく思う瞬間です。この気持ちを忘れず、まい進していく所存です。

今後も経験豊富な会員の先生方からのご教授を頂戴しつつ精進して参りたいと思います。これからもご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。







## 生まれ育った地で

中信地区 寿まつもと整骨院 松本 一樹

初めまして。今年の3月、中信地区の松本市寿豊丘に『寿まつもと整骨院』を開業しました、松本一樹と申します。

北信越柔整専門学校を卒業後、金沢市の整形外科、接骨院で6年間の勤務を経て北信地区の長野市で開業しておりましたが、この度生まれ育った地元へ恩返しがしたく当地での開業となりました。

私は小学校の時からサッカーを続けていて、捻挫、腰痛、肉離れ（挫傷）など常に身体の痛みと向き合ってきました。そんな時に、いつも助けてくれた整骨院の柔道整復師の先輩方の姿を見て、私もこの道に進みたいと思うようになりました。

国家資格取得後もスポーツを続けており、現在はサッカー、マラソンを中心に身体を動かし

ています。中でも、マラソンは年々競技人口が増えており、以外と怪我の多いスポーツだと実感しました。また自ら走ることで、どこの怪我が多いのか、どこがどう痛いのか、などの競技者の目線で患者さんの気持ちを知ることができていると感じております。マラソンに限らず、多くの競技者が痛みを抱えること無く、全力でチャレンジできるようにサポートしていけたらと思います。

もちろん、痛みを抱えているのはスポーツをする方だけではありません。地域に暮らすより多くの方々の多種多様な痛みに関する悩みを解決するためには、まだまだ研鑽を積み重ねなければならないと思っています。

今後とも、ご指導ご鞭撻のほどを、よろしくお願い致します。





## 自己紹介

南信地区 はにゅう接骨院 **羽生 優**

はじめまして。平成30年7月2日に飯田市上郷黒田で「はにゅう接骨院」を開業しました羽生優（はにゅう ゆう）と申します。

私は幼少期に始めた柔道がきっかけで将来は怪我をした人の治療がしたいと思うようになり柔道整復師の道に進むことを決意しました。

高校卒業後、地元を離れ愛知県にある米田柔整専門学校に進学し、学生時代は柔道部のマネージャとして選手のサポートやテーピングなど多くの事を勉強し、国家資格を取得しました。資格取得後は学校母体である米田病院・よねだクリニックで5年間勤務し、医師や先輩の指導のもと骨折や脱臼の整復・固定について学び、捻挫やアキレス腱断裂など軟部組織損傷の治療にも多く携わってきました。また、骨折の手術治療や人工関節・靭帯再建術の手術も見学させ

て頂き、術後リハビリの基礎を学びました。大相撲名古屋場所の救護活動にも5年間参加させて頂いたことは貴重な経験となっています。

その後は新規開業した整形外科鳴子クリニックでオープニングスタッフとして約2年間勤務し、更にMRIなどの精密機器を完備しているふく田整形外科で約6年間、数多くの問診や医師の診断をもとに外傷の整復・固定等の治療を経験してまいりました。

免許取得後約13年整形外科で外傷の治療中心に勉強してきた経験を活かし、「はにゅう接骨院」なら安心して治療が出来る、外傷なら「はにゅう接骨院」に任せておけば安心と皆様に思ってもらえるように日々精進してまいりたいと思います。まだまだ未熟ではありますが宜しくお願いいたします。





## 自己紹介

南信地区 一色接骨院 肥後 和樹

初めまして。平成30年2月より飯田市鼎一色にて「一色接骨院」を開業させていただきました肥後和樹と申します。

私は小学生の頃より柔道をやってきました。怪我の度、接骨院や整形外科の先生に痛みや不安のケアをしていただき、いつか自分も痛みを抱えている人の力になりたいと思うようになり柔道整復師を目指す決意を致しました。

高校卒業後、信州医療福祉専門学校へ進学し卒業後は中野市の整骨院にて8年半研修させていただきました。その中で、実際に様々な痛みを悩んでいる患者さんと接しどんな治療をする

べきか、その方が何を望んでいるのかなど一人一人に向き合い日々学ばせていただきました。

地元、飯田で開業してもうすぐ一年が経ちますが自分の未熟さや経営することの難しさを日々、痛感しております。同時に自分がどれだけ周りの方々に恵まれ助けられているのかということも実感いたしました。まだまだ未熟者の私ですが、地域の皆様のお力になれるよう日々精進してまいります。

今後もしもご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。



## 第2回 保険部会報告書

日 時 9月8日(土) 午後3時30分～午後5時35分 会館2階会議室

参加者 県保険部長 柏木久明先生 県保険副部長 西條賢治先生  
 県介護保険班長 伊藤 陸先生  
 東信保険部長 西村公紀先生 中信保険部長 濱 敦先生  
 南信保険部長 田中兼次先生 北信保険部長 宮本義豊

以上 7名

司会進行 柏木久明県保険部長

議題 (1) 福祉医療給付事業に係わる事務処理の改正について

柔整関係は変化なし

医科との差別化 … 療養費との違い

患者さんに分かりやすく説明できるようにポスターを掲示

→ 今後の検討課題

用紙の関係 … 年齢等の記入、カルテ枠の拡大

受給者証の番号確認 … 変更有と既存の番号

後日連絡網にて確認、連絡済

(2) 30年度療養費改定について(労災保険含む)

料金改定の一覧表送付済

副子固定後のあと2回算定可について … なぜ必要なのかをカルテに記入

運動療法の算定の仕方

その他、今月内報トピック参照との旨

(3) レセプト点検会社による理不尽な返戻・照会について

協会健保の調査について … 金額確認後に署名 → これは不可

平成24年3月12日四課長通達 … 照会の仕方について通知済

各地区より上がった照会をまとめて厚労省に送付予定

調査会社に丸投げの事例が多く見受けられる

(4) 保険関係Q&A

医師への患者紹介の仕方についての注意 … 診察後の患者紹介

診療中の疾患は不可

不支給だけは避けるように対応する事  
返戻のなった場合の回答の仕方 … 具体例は後日通知

(5) その他

明日（9月9日）の保険講習会の連絡  
次回の部会のお知らせ … 年内に開催予定

以上  
文責 書記 宮本義豊

## 学 術 部

### 平成30年度第1回学術部会

開催日時 平成30年7月21日 16:00～

開催場所 ホテルモンターニュ松本

参加者 西條賢治（県学術部長） 石坂秀司（県学術副部長）

宮崎剛（北信学術部長） 菊池和哉（東信学術部長） 三間慎一郎（中信学術部長）

原隆（南信学術部長）

#### 議事

1. 開会の辞 三間慎一郎中信学術部長

2. 部長挨拶 西條賢治県学術部長

3. 議事

#### ①平成30年度学術部事業計画及び予算書確認

- ・地区学会開催予算が今年度は65万円となった。昨年度決算を確認し効率よく予算配分する。今年度は、どの予算を削減できるか考えながら活動する。一提案としては部会・事前準備会費用削減のためメール会議等上手に利用していく等。また今後は支部部員数についても統一となり、部員数を少なく出来れば部会費用が削減できる。

#### ②学会の在り方、方向性、目指すもの

- ・昨年度の地区学会、県学会の反省、決算書、アンケート結果等の再確認し、今後の学会の在り方について、より良い学会となるように学術部で変えていく。
- ・昨年度県学会では特別講演に基調講演と講演会を2つ開催した。一般向けと会員向けに講演を分けられ、特別講演には一般聴講者に関心のあるものを企画できるようになったのはよかった。今年度も同様に進める。
- ・昨年度県学会では一般聴講者が138名、特に主管東信地区から87名と東信の先生方にはご尽力いただき感謝。一般聴講者を100名は来場させたいので特別講演、県民公開講座には県内外を問わず、話題性や魅力ある内容、講師を呼びたい。
- ・会員論文について、県学会までは症例報告や治験報告のような論文で構わないので、どんどん積極的に発表いただき積み上げていきたい。
- ・前夜祭について、予算削減の面からも考え直してみる必要がある。
- ・地区学会の日程・スケジュール確認。

南信 H30.11.25（日）（交流会同日開催）

中信 H30.12.09（日）（忘年会同日開催）

東信 H31.01.19（土）（新年会同日開催）

北信 H31.01.20（日）（新年会、政治連盟報告会同日開催）

③日接医学会からの情報について

④その他

- ・講演料の源泉徴収の方法について 参考資料の確認 事務局対応

4. 閉会の辞 石坂秀司県学術副部長

## 平成30年度第2回学術部会

開催日時 平成30年9月22日 15:00～

開催場所 (公社)長野県柔道整復師会会館 会議室

参加者 西條賢治(県学術部長) 石坂秀司(県学術副部長) 西條義明(県学術副部長)  
宮崎剛(北信学術部長) 菊池和哉(東信学術部長) 三間慎一郎(中信学術部長)  
原隆(南信学術部長)

議事

1. 閉会の辞 西條義明県学術副部長
2. 部長挨拶 西條賢治県学術部長
3. 議事

①今年度における各地区学会経費について地区部長説明

②現時点における各地区予算削減見直しについて

- ・各地区部長より今年度の削減予算に対して取り組む学会経費削減案について、またその見直しについて説明。各地区の現在状況の確認。それぞれに部会回数・人件費等の削減に取り組みながらの活動をしている。
- ・今年度は各地区65万円予算があるので、学会開催に支障をきたすほど無理をして削減する必要はないが、来年度を見越して学会経費を見直していく。
- ・地区学術部員というもののあり方について考える。

③各地区からの要望

- ・各地区部長より学会経費について要望、提言、問題点等の説明。
- ・従来通りの各地区学会開催を維持していきたいが、不可能であれば2地区共同開催などを検討してはどうか。
- ・各地区で講師謝金、部員手当、実行委員手当等、統一すべきものは統一する。
- ・予算額がはっきりと決まってくれば、その中で出来るだけやっていきたい。
- ・地区別と考えずに全体でひとつの県との考えで予算を考えてはどうか。
- ・各地区学術部の独自性は大事にして認めていきたいと考える。

④その他

- ・ 県学会講演講師選定について現在の状況説明。JAXA、信原克哉先生依頼について。
- ・ 沖縄ブルーゾーンの会会長 鈴木信（スズキマコト）先生  
世界一ブルーゾーンとはなにか、長寿長野県のこれからについて  
長野県と沖縄県との今後の関係、関わりについて
- ・ 九州大学名誉教授 平田雅人（ヒラタマサト）教授  
著書：『“骨ホルモン”で健康寿命を延ばす！1日1分「かかと落とし」健康法』  
NHKためしてガッテン『脳を活性化！血糖値ダウン！新発見「骨ホルモン」SP』

⑤その他

- ・ 今後の県学術部会の日程予定の確認

4. 閉会の辞 石坂秀司県学術副部長

---

## 平成30年度第3回学術部会

---

開催日時 平成30年12月8日 17:00～

開催場所 諏訪市 『ひなた』 諏訪市大手1丁目14-11

参加者 西條賢治（県学術部長） 石坂秀司（県学術副部長） 西條義明（県学術副部長）  
宮崎剛（北信学術部長） 菊池和哉（東信学術部長） 三間慎一郎（中信学術部長）  
原隆（南信学術部長）

### 議事

1. 開会の辞 石坂秀司県学術副部長
2. 部長挨拶 西條賢治県学術部長
3. 議事

①支部移管後の学術部について

来年度各支部学術部予算を計上し12月中に部長へ提出すること  
各支部とも部員は各支部部長を含め6名、講師謝金他、統一していく

②本年度各地区学会・特別講演の進展状況について

各地区の学会誌は共有する

南信11/25開催済：飯能靖和病院リハビリテーションセンター センター長 本田哲三先生

中信12/9開催：歩クリニック院長・菅沼病院 総合内科専門医 菅沼加奈子先生

東信1/19開催：東京有明大学 久米信好先生

北信1/20開催：長野赤十字病院 整形外科リウマチ科部長 林 真利先生

③第45回長野県接骨学会について



- 1) 一般への案内方法：患者を中心に案内する、親子で聴講していただけるようにしたい
- 2) ポスター作製：1種類作製する  
講演関係のデータ提供を受けて急ぎデザインし12月中には印刷依頼
- 3) 夕食会への参加範囲：正副会長、學術部員までとし食事会形式とする  
会場について二次会も含めて再検討
- 4) 特別講演演題等：特別講演・基調講演・ランチョンミナ-講師、演題の確認
- 5) タイムスケジュール予定：前日夕食会・学会当日のタイムスケジュール確認、会場確認
- 6) アンケート調査 前回の調査は良いものだった、今回も同様に行う

#### ④内報及び県会報への投稿について

投稿者の決定確認、写真・ビデオについてはIT広報に依頼

#### ⑤今後の予定

- 1) 第4回學術部会 1/5 (土) 長野市 ホテル国際21 18:00～ 会場視察予定
- 2) 第5回學術部会 3/2 (土) 長野市 ホテル国際21
- 3) 第6回學術部会 3/3 (日) 長野市 ホテル国際21

#### ⑥その他

- ・2019年度県学会（南信）日時について
- ・解剖学講演実習の今後について
- ・各地区基幹病院との連携について

#### 4. 閉会の辞 西條義明県學術副部長

## IT広報部

### 平成30年度 第3回IT広報部会会議録

東信地区IT広報部 内堀 泰明

日 時：平成30年11月24日16時～19時

場 所：(公社)長野県柔道整復師会 会館(会議室)

出席者：宮下 厚 宮沢康信 内堀泰明 永澤健志 飯塚康弘 篠崎裕一

議題

- (1) 平成30年度信州整骨会報ほねつぎ107号の目次・記事について  
各項目の挨拶文・行われた行事・報告・地区の記事など細かに選定する。  
巻頭挨拶文依頼選定、グラビア一四地区親睦交流会、特集一県内で行われた防災訓練(4か所)を編集、レポート一各行事の中から選定、事業報告一行事を選定
- (2) 原稿の依頼について  
各ページの原稿の依頼者を選定する。  
載せられる写真があるかのチェック。
- (3) Wi-Fi機器設置  
宮沢会員が主な作業をする。  
2F天井裏配線、機器天井設置、壁に配線設置  
1F壁に配線設置  
回線確認作業(以前の家庭用機器と違い業務用なので同時アクセス数が理論上250になる)  
他部委員が会報編集会議後に掃除の手伝い

以上

# 会 務 報 告

## 新入会員

平成30年12月末現在

地区	氏 名	郵便番号	住 所	会員種別	入会年月日	備考
東信	中曾根 慧	386-0005	上田市古里174-20	正	H30. 7. 18	
中信	堀内 光春	398-0002	大町市大町6995-77	正	H30. 8. 7	
東信	中曾根道子	386-0005	上田市古里174-20	賛	H30. 7. 18	
東信	齋藤 一也	386-0407	上田市長瀬2614-1	賛	H30.10. 1	
北信	酒井奈津子	388-8011	長野市篠ノ井布施五明428-10	賛	H30. 4. 1	
北信	関 真莉奈	380-0816	長野市三輪1313-13	賛	H30. 4. 3	
北信	高島 美咲	383-0042	中野市西条564	賛	H30. 5. 8	
北信	西澤 嶺	387-0016	千曲市寂蒔954-8	賛	H30. 6. 1	
北信	林 佑樹	383-0013	中野市中野331-7	賛	H30.10. 1	
中信	中島 紫帆	399-8204	安曇野市豊科高家5266-8	賛	H30. 4. 2	
中信	太田愉美子	399-0745	塩尻市大門桔梗町2-3	賛	H30. 9. 13	
南信	宮下 大介	399-4114	駒ヶ根市上穂南1-1	賛	H30.11. 1	

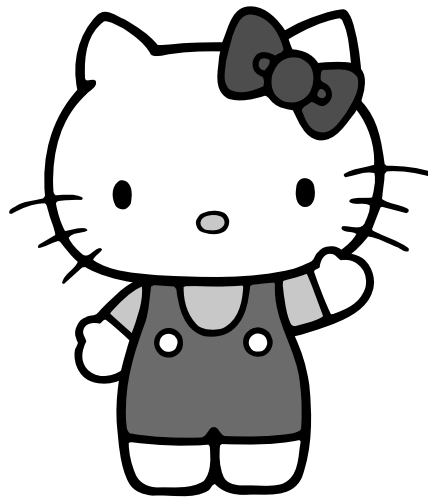
## 会員の異動

地区	氏 名	郵便番号	住 所	会員種別	入退会年月日	備考
東信	小林 武夫	384-0025	小諸市大手1-1-8	正	H30. 8. 30	退会
北信	三木 一晃	382-0828	須坂市大字相之島466	正	H30. 7. 10	賛→正
北信	佐藤 晃次	389-2232	飯山市大字下木島357-1	正	H30. 9. 6	賛→正
北信	大川 泰裕	381-0024	長野市大字南長池440-9	正	H30.10. 4	賛→正
中信	吉澤 公平	399-8201	安曇野市豊科南穂高955-15	正	H30. 5. 7	賛→正
中信	太田 遵	399-8204	安曇野市豊科高家5186-6	正	H30. 8. 15	賛→正
中信	水野 孝道	399-8205	安曇野市豊科4492-29	正	H30. 9. 7	退会
南信	林 則之	392-0016	諏訪市大字豊田1058-8	正	H30. 6. 20	賛→正

南信	小林 昭平	391-0013	茅野市宮川4736-1	正	H30. 7.13	死亡
南信	田代 富彦	393-0035	諏訪郡下諏訪町西豊6124-1	正	H30. 9.30	退会
南信	小沢 雄二	395-0072	飯田市曙町188	正	H30. 9.30	退会
南信	原 翔一郎	395-0015	飯田市羽場町1-11-8	正	H30.11. 1	移転
北信	湯本 駿人	381-0024	長野市大字南長池440-9	賛	H30.10. 4	移転
北信	古旗 賢史	381-0024	長野市大字南長池440-9	賛	H30.10. 4	移転
北信	荻原 優樹	383-0015	中野市大字吉田952-1	賛	H30.11.19	退会
北信	田中 経義	380-0816	長野市三輪田町1338-6	賛	H30.12.31	退会
中信	北澤 誠也	399-0745	塩尻市大門桔梗町2-3	賛	H30. 4. 1	退会
中信	竹下 真悟	399-0744	塩尻市大門1080-1	賛	H30. 4.23	退会
中信	田村 淳	390-0828	松本市庄内3-7-1	賛	H30. 8.20	退会
中信	大日方直樹	399-8304	安曇野市穂高柏原4632-4	賛	H30.11. 6	退会
中信	太田愉美子	399-0745	塩尻市大門桔梗町2-3	賛	H30.12. 7	退会
中信	平澤 有希	399-0035	松本市村井町北1-4-28	賛	H30.12.18	退会
南信	酒井 洋樹	399-4112	駒ヶ根市中央2-13	賛	H30.10. 1	退会



フコク生命は、「ハローキティ」とともに  
夢と安心をあなたにお届けします!!



**HelloKitty**

©1976, 1999, 2017 SANRIO CO., LTD. APPROVAL No. G572850  
「ハローキティ」は、フコク生命のイメージキャラクターです。

富国生命保険相互会社 松本支社 〒390-0874 松本市大手 2-3-18 松本フコク生命ビル 6F TEL : 0263-32-1963

☎広-045-2262 (H29.6.23)

すてきな未来応援します

**フコク生命**



接骨院経営支援基本システム

# HONET.

ホネット

## インターネット対応の 新時代 レセコンソフト

- ☑ ソフトは自動更新で常に最新バージョン
- ☑ オンラインサポートで迅速対応
- ☑ 近年増加傾向の自費会計にも対応
- ☑ 返戻を未然に防ぐ、レセプトチェック機能



接骨院経営支援システム ホネットプロ

## HONET. PRO

経営分析、業務支援に役立つ  
基本システム「HONET.」の上位版  
「HONET.PRO」提供開始

姿勢計測システム [シセイカム]

## ShiseiCam

体のゆがみ、ねじれをわずか1分で計測。  
2枚のレポートで体験者にアピール!!



サービス向上  
売上・集客  
アップに!!

### 体験者が装着する機材一切なしの簡単計測

難しい操作は不要で、ソフトのガイドに従って操作するだけで姿勢評価のレポートが出力できます。簡単かつ迅速にできるので、スタッフの方でも操作できます。

### マーキング不要でレポート表示までわずか1分

4つのポーズ(正面、屈位、側面、背面)を撮影するだけで約1分でレポート表示できます。導入者にとって短時間かつ手間がかからない優秀なツールになります。

### 分かりやすい2枚のレポート

体の「ゆがみ」や「バランス」を分かりやすく2枚のレポートで表示します。体験者自身の画像をはじめ、様々な指標をもとに説明や運動指導ができます。コミュニケーションツールとして、自費メニューの付加価値UPなど効果絶大です。

## FAMUBO

超音波画像計測はここまで進化した!  
リーズナブル価格で自分だけの1台!



いつでも  
どこでも  
誰でも

### コンパクトサイズで「いつでも」「どこでも」

高額機種の画質に劣ることなく、画像も見やすく可動性に優れ、屋内外を問わず様々な環境でご使用が可能です。

### 簡単アプリ操作で「誰でも」

お手持ちのタブレット、スマートフォンと繋ぐだけで超音波画像計測器に早変わりします。スピーディーに取扱うことができます。

デモの依頼や  
お問合せはこちらまで



MEDICAL SYSTEM

株式会社 メディカルシステム  
本社 / 〒921-8064 金沢市八日市5丁目439  
E-mail info@medicalseystem.co.jp

# 0120-00-1552

http://www.medicalseystem.co.jp

メディカルシステム 検索

ラスパーエース・エムシー

# Lasper-A・MC

## 発売記念セール

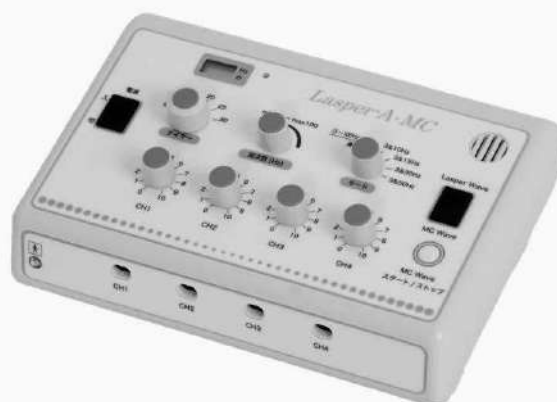
鍼電極低周波治療器 ラスパーエース・エムシー **新発売**

Lasper Wave + MC Wave 2つの波による鍼通電

本器は鍼専用の通電器です。

MC通電はバイオシリーズで実績  
のデュアルクロス通電法使用

通常のパルス通電後にマイクロカ  
レント（微弱通電）を流すことに  
よって相乗効果が期待できます。



※電極の鍼は別売品になっております。  
指定の鍼をご利用ください。

KE-600 65,000円+消費税

平成30年12月3日～

平成31年1月31日迄

**特典：電極用ディスポ鍼 1箱  
(100本入) プレゼント！**

65,000円 → **49,800円** +税

指定する電極 以下から好きなタイプをお選びください。

認証番号 220AGBZX00234000

- ・カナケンディスポ鍼・カナケンディスポ鍼【はり皿付】
- ・ディスポ中国鍼・ディスポ鍼光彩



認証番号 220AGBZX00166000

- ・カナケンディスポ鍼輝 OP・TAB・4P

※太さ (0.20) 3番針以上をご利用ください。

web ショップ <http://e-kenkou.jp/> mail: [info@kanaken.co.jp](mailto:info@kanaken.co.jp)

株式会社 **カナケン**

【電話】  
・本社：045-901-5471  
・大阪：06-6935-3016  
・新潟：025-286-0521  
・福島：024-961-7211  
・仙台：022-287-6273

# 人にも環境にもやさしい 植物性天然酵素の環境対応商品 ニコエコシリーズ全十種類

ニコエコは未来に向けて自然との共生で地球環境保全に貢献することを目的に「安全・安心・環境改善」の企業理念のもと、松田松二先生（農学博士・信州大学名誉教授）ら産学協同商品開発研究会の協力により、研究と実験を重ねバイオの力で汚れを落とすだけでなく、人にも環境にもやさしい画期的な商品の製造に成功しました。

これまでに「風呂用」・「スパ・モイストウォーター」他、計十種類の製品を開発。

全身のニオイや汚れを取り去り流した水が、川や土壌を汚染しないとたくさんのの方々によるこぼれております。



農学博士・  
信州大学名誉教授  
松田 松二先生

今回環境を汚さず人にやさしい画期的な酵素洗剤の研究開発にたずさわりました。使い続けるうちに環境にやさしいものこそ体によいことがわかるでしょう。自然に学びスローライフに組するみなさんも酵素洗剤を使用して健康な美肌と環境を手に入れて下さい。

## ニコエコをお使いいただいているお客様の声

- 夫の体が不自由で、お風呂に入るのが苦労していました。ニコエコは、いつもより長くお湯に浸かるだけで、汚れが落ちて、介護される者も介護する者も助ってます。長野県 A様
- 石鹸も、シャンプーも使わず、ニコエコのお湯だけで洗っています。ニコエコは節約にもなるので、こどものおフロが面倒ではない。ラクチン！ 埼玉県 酒井様
- 5人家族のうちでも、何番目に入ってもニオイがないのが気に入っています。それに、お湯がまるやかで、肌に優しい感じがしますね。北海道 山田様
- 風呂場のタイルにつくピンクのカビがつかなくなりました！！風呂のあと、洗たくにも使っていますが、洗たく物の汚れ落ちも良くなり、仕上がりが、やわらかくなったようです！洗濯槽の中もキレイ！！ 兵庫県 カナ様
- 子供の皮膚が弱いので洗剤には気を使っています。いろいろ試しましたがニコエコが一番よかったです！これからも使っていきたいと思えます。東京都 奥田様
- セーターを洗うのに重宝しています。柔軟剤を使わなくてもふわふわ！さすがに1回でいいというのが水道代の節約でいいです。東京都 松尾様

・・・この他多数の実感の声が寄せられています！

## 代理店募集中



時代のニーズにこたえる  
株式会社ニコエコ

TEL 0268-27-2121  
FAX 0268-27-2124  
ホームページ <http://www.nicoeco.com>  
〒386-0033 長野県上田市御所 206-19



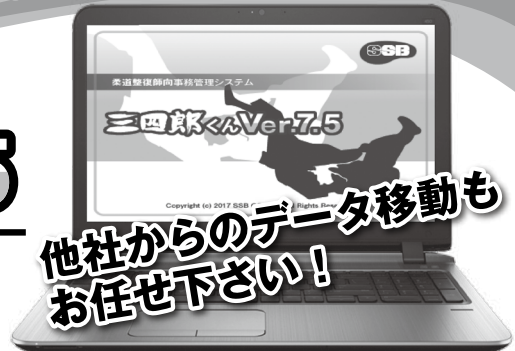


「三四郎くん」は、日本全国で最も多く使われている  
接骨院・整骨院専用のレセコンです!

柔道整復師向 事務管理システム

# 三四郎くんVer.7.5

使い勝手の良い操作性はもちろん、療養費改正等の  
保険改正にすばやく対応。迅速サポートでご好評を  
頂いている『三四郎くん』は、常に進化を続ける信頼  
と実績の事務管理ソフトです。



他社からのデータ移動も  
お任せ下さい!

※一部ご希望に添えない場合があります。



保険証入力画面 ▲  
傷病通院入力画面 ▶

## HS-2200 ライトプラン

キャンペーン中

特別価格にて  
ご提供致します!

詳しくは担当営業にお尋ね下さい。

医療機器認証番号:  
225AHBZX00034  
製造販売元:  
本多電子株式会社



【東京ショールーム・SSB研修センター】  
東京都千代田区神田三崎町2-7-10  
帝都三崎町ビル 7F

超音波画像ファイリングシステム

### ウルトラ三四郎 Next

大切な超音波画像をUSBメモリで  
簡単取り込み・保存できます!

## 超音波画像観察装置 ラインナップ

骨・軟骨・筋・腱・靭帯などがリアルタイムに観察できます。

デモンストレーション  
好評受付中!

### Xario100 S Edition

医療機器認証番号:  
225ACBZX00068000  
製造販売元:  
キヤノンメディカルシステムズ株式会社

※その他、様々な機種を  
取り揃えております。

### Viamo c100

医療機器認証番号:  
228ACBZX00020000  
製造販売元:  
キヤノンメディカルシステムズ株式会社

### Xario100 Platinum Series

医療機器認証番号:  
225ACBZX00065000  
製造販売元:  
キヤノンメディカルシステムズ株式会社

SSB 株式会社 エス・エス・ビー

<https://www.sanshiro-net.co.jp/>

【北信越営業所】 ☎381-0037  
長野市西和田1-13-6 レジデンス西和田102号  
TEL 026-256-9020 / FAX 026-256-9021

最新柔整情報が読める!! 柔整ホットニュース  
▶▶ <http://www.jusei-news.com/>

詳しくはこちら



# ボディメンテ ゼリー

コンディショニング栄養食



日常的に摂ることで体調を整え、本番に向けた  
コンディションをサポートする栄養補給食品です。



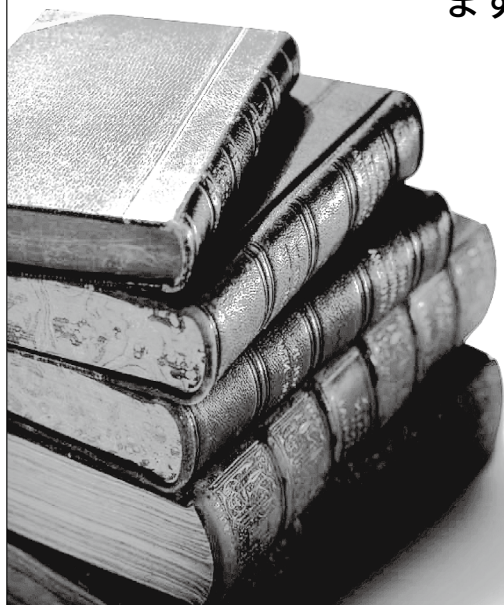
(公財)日本アンチ・ドーピング機構の公式認定商品です。



私たちが育てられたもの  
いつまでも「本」の明和でありたい

**出版・印刷のご相談はお気軽に当社へ！**

本づくり一筋に！  
100%まかせられるプロ集団が  
あなたの本づくりを強力にバックアップ！  
まずはご相談ください。



 **明和印刷株式会社**

本 社 〒380-0943 長野県長野市安茂里 2161-2  
TEL.026-226-5311 FAX.026-228-0799  
E-mail info@meiwa-ms.co.jp  
URL <http://www.meiwa-ms.co.jp>  
東京支社 〒175-0081 東京都板橋区新河岸 2-9-12  
TEL.03-3976-1801 FAX.03-3976-1802

## ほねつぎ第108号（夏季号）発行予定日と締切予定日

### ▶投稿される方へのお願い◀

1. Wordで作成された原稿・写真はUSBメモリーに書き込みお送りいただくか、E-mailの貼付ファイルで送信してください。
2. 原稿にテーマ・タイトル・地区名・氏名など記載していただき、指示書と共に提出してください。
3. 寄稿者の顔写真も貼付してください。
4. 投稿用写真には必ず説明文を記載してください。

業界の年鑑となるよう様々な情報・事業報告・ご提言等多くお寄せください。

原稿締切	◆2019年6月10日◆
宛先	(公社)長野県柔道整復師会 IT広報部宛
電話番号	026-224-6800      ファックス      026-224-7575
Mail address	chousei@orion.ocn.ne.jp
発行予定日	2019年7月

### ▶編集後記◀

7月には集中豪雨、8月には度重なる台風の上陸、9月の北海道胆振東部地震など自然災害の多い半年でした。被害に遭われた皆様に謹んでお見舞い申し上げます。また、被災地において救援や復興支援に尽力されている方々に深く敬意を表します。皆様のご無事と、一日も早い復興をお祈り致します。

一方、長野県のスポーツでの活躍も目覚ましく、木曾郡上松町出身の御嶽海関が名古屋場所での初優勝や、松本山雅FCの初優勝・J1昇格、松商学園の直江大輔選手の巨人軍入団など、今後も活躍を期待し応援していきたいと思っております。救護・トレーナー活動を行う中で大変励みとなります。また、今期で部員の任期を終えますが、今後とも自己研鑽し、患者様が笑顔になって頂けるよう努める所存です。

最後に、お忙しい中、原稿を寄稿下さった顧問の先生方、会員の皆様方、広告を掲載して頂いた企業様には感謝と御礼を申し上げます。

中信地区広報 永澤健志



### 表紙写真説明

「1月1日元旦、駒ヶ根市西駒ヶ岳(2,612m)」

写真提供：駒ヶ根市役所

千畳敷カールより、富士山の真ん中から出る初日の出

